

予算科目	5 款	労働費	事業名	中小企業勤労者総合福祉事業																																															
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																														
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																														
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る																																														
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 66																																															
目的及び事業内容	<p>(一財)石巻地区勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付して運営を支援することにより、中小企業が単独では実施できない労働福祉事業の共同化を促進し、勤労者の労働福祉向上と中小企業の振興を図る。</p>																																																		
取組実績	<p>1 石巻地区勤労者福祉サービスセンター運営費補助金 15,000,000円 2 事業実績</p> <p>(1) 在職中の生活安定に係る事業 (共済給付事業・生活資金融資あっせん事業)</p> <p>(2) 健康の維持増進に係る事業 (健康管理事業・スポーツ大会等事業・体育施設利用助成事業)</p> <p>(3) 老後生活の安定に係る事業及び財産形成に係る事業 (中退共制度等普及事業)</p> <p>(4) 自己啓発及び余暇活動に係る事業 (自己啓発事業・割引事業)</p> <p>(5) その他法人の目的を達成するために必要な事業 (加入促進事業及び情報提供事業、会議等開催、研修等)</p>																																																		
成果	<p>入会事業所・会員数は前年度からわずかに減少した。 催物等事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、割引事業に内容を変更して実施し、労働福祉向上と中小企業の振興を図った。</p> <p>会員入会状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>262事業所</td> <td>2,564人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>258事業所</td> <td>2,525人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>257事業所</td> <td>2,505人</td> </tr> </tbody> </table> <p>共済給付・行事参加延べ人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生活安定事業</th> <th>健康維持事業</th> <th>老後生活安定事業</th> <th>自己啓発事業</th> <th>催物等事業</th> <th>割引事業</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>494人</td> <td>6,007人</td> <td>10人</td> <td>50人</td> <td>0人</td> <td>3,102人</td> <td>9,663人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>598人</td> <td>903人</td> <td>10人</td> <td>123人</td> <td>0人</td> <td>3,489人</td> <td>5,123人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>512人</td> <td>889人</td> <td>24人</td> <td>133人</td> <td>0人</td> <td>5,602人</td> <td>7,160人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業所数	会員数	R2	262事業所	2,564人	R3	258事業所	2,525人	R4	257事業所	2,505人	年度	生活安定事業	健康維持事業	老後生活安定事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計	R2	494人	6,007人	10人	50人	0人	3,102人	9,663人	R3	598人	903人	10人	123人	0人	3,489人	5,123人	R4	512人	889人	24人	133人	0人	5,602人	7,160人
年度	事業所数	会員数																																																	
R2	262事業所	2,564人																																																	
R3	258事業所	2,525人																																																	
R4	257事業所	2,505人																																																	
年度	生活安定事業	健康維持事業	老後生活安定事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計																																												
R2	494人	6,007人	10人	50人	0人	3,102人	9,663人																																												
R3	598人	903人	10人	123人	0人	3,489人	5,123人																																												
R4	512人	889人	24人	133人	0人	5,602人	7,160人																																												
成果に係る評価	<p>事業所の廃業や従業員の退職等により、会員数は減少しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした例年人気のツアー事業を割引事業に変更して実施したことなどにより、共済給付・行事参加延べ人数を増加させることができた。今後も会員のニーズを的確に捉えて事業を展開し、会員拡大と福利厚生事業の充実に取り組む必要がある。</p>																																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																																		
予算額	15,000,000	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
		15,000,000			2,835,000	12,165,000																																													

予算科目	5 款	労働費	事業名	高齢者就業支援事業																																																																			
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																		
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																																		
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る																																																																		
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 65																																																																			
目的及び事業内容	<p>(公社)石巻市シルバー人材センターへ補助金を交付して運営を支援することにより、地域に密着した仕事を提供し、高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加の促進を図るとともに、企業の人手不足の解消、地域社会の維持・発展等を推進する。</p>																																																																						
取組実績	<p>1 シルバー人材センター運営費補助金 23,750,000円 2 事業実績</p> <p>(1) 高齢者の福祉の増進と生きがい対策として、臨時的かつ短期的な業務のあっせん (あっせん業務：技能、事務、管理、折衝外交、一般作業、サービス)</p> <p>(2) 高齢者の就業機会確保のための一般労働者派遣事業の実施</p>																																																																						
成果	<p>下記のとおり、会員に対し就業機会を創出することにより、高齢者の生きがい対策、地域社会への貢献が図られた。</p> <p>令和4年度の受注実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職群</th> <th>区分</th> <th>受託件数</th> <th>就業延実人員</th> <th>就業延人員</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技能</td> <td></td> <td>1,211件</td> <td>3,189人</td> <td>4,401人</td> <td>39,416,095円</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td></td> <td>36件</td> <td>57人</td> <td>191人</td> <td>393,363円</td> </tr> <tr> <td>管理</td> <td></td> <td>21件</td> <td>476人</td> <td>4,071人</td> <td>17,434,274円</td> </tr> <tr> <td>折衝外交</td> <td></td> <td>5件</td> <td>82人</td> <td>291人</td> <td>1,877,193円</td> </tr> <tr> <td>一般作業</td> <td></td> <td>2,568件</td> <td>10,239人</td> <td>24,929人</td> <td>162,144,471円</td> </tr> <tr> <td>サービス</td> <td></td> <td>181件</td> <td>191人</td> <td>310人</td> <td>557,600円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>4,022件</td> <td>14,234人</td> <td>34,193人</td> <td>221,822,996円</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年度の派遣事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>契約件数</th> <th>派遣登録会員数</th> <th>就業延人数</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18件</td> <td>43人</td> <td>7,053人</td> <td>37,826,916円</td> </tr> </tbody> </table> <p>会員数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>454人</td> <td>483人</td> <td>474人</td> </tr> </tbody> </table>							職群	区分	受託件数	就業延実人員	就業延人員	契約金額	技能		1,211件	3,189人	4,401人	39,416,095円	事務		36件	57人	191人	393,363円	管理		21件	476人	4,071人	17,434,274円	折衝外交		5件	82人	291人	1,877,193円	一般作業		2,568件	10,239人	24,929人	162,144,471円	サービス		181件	191人	310人	557,600円	計		4,022件	14,234人	34,193人	221,822,996円	契約件数	派遣登録会員数	就業延人数	契約金額	18件	43人	7,053人	37,826,916円	年度	R2	R3	R4	人数	454人	483人	474人
職群	区分	受託件数	就業延実人員	就業延人員	契約金額																																																																		
技能		1,211件	3,189人	4,401人	39,416,095円																																																																		
事務		36件	57人	191人	393,363円																																																																		
管理		21件	476人	4,071人	17,434,274円																																																																		
折衝外交		5件	82人	291人	1,877,193円																																																																		
一般作業		2,568件	10,239人	24,929人	162,144,471円																																																																		
サービス		181件	191人	310人	557,600円																																																																		
計		4,022件	14,234人	34,193人	221,822,996円																																																																		
契約件数	派遣登録会員数	就業延人数	契約金額																																																																				
18件	43人	7,053人	37,826,916円																																																																				
年度	R2	R3	R4																																																																				
人数	454人	483人	474人																																																																				
成果に係る評価	<p>令和3年度と比較して、会員数が9人減の474人、就業延人員が761人減の34,193人となっているが、受託件数が124件増加し、契約金額については7,311,666円増額となった。 今後は、企業の定年延長等により、会員数の大幅な増加は難しいことが予測されるが、新規の業務獲得により受注件数を増加させることで、更なる高齢者の社会参加の促進と地域社会の維持・発展を推進する必要がある。</p>																																																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																																																						
予算額	23,750,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																	
		23,750,000				23,750,000																																																																	

予算科目	5 款	労働費	事業名		勤労者生活安定資金融資あっせん事業																																																															
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																															
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																															
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る																																																															
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 66																																																																
目的及び事業内容		中小企業勤労者の生活の安定を図るとともに、勤労意欲の向上及び中小企業の振興と雇用の安定に寄与するため、東北労働金庫において市が預託した金額の2倍の融資額を設定し、融資を行う。																																																																		
取組実績		<p>1 預託額 10,000,000円</p> <p>2 勤労者向け生活安定資金の融資あっせん制度の実施 市内中小企業従業員に対する低利での生活資金、教育資金および自動車資金の融資</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途区分</th> <th>融資額</th> <th>貸付期間</th> <th>貸付利率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般生活資金</td> <td>100万円以内</td> <td>7年以内</td> <td>2.75%</td> </tr> <tr> <td>教育資金</td> <td>300万円以内</td> <td>10年以内 (5年以内の据置期間含む)</td> <td>1.55%</td> </tr> <tr> <td>自動車資金</td> <td>200万円以内</td> <td>7年以内</td> <td>1.55%</td> </tr> </tbody> </table>							用途区分	融資額	貸付期間	貸付利率	一般生活資金	100万円以内	7年以内	2.75%	教育資金	300万円以内	10年以内 (5年以内の据置期間含む)	1.55%	自動車資金	200万円以内	7年以内	1.55%																																												
用途区分	融資額	貸付期間	貸付利率																																																																	
一般生活資金	100万円以内	7年以内	2.75%																																																																	
教育資金	300万円以内	10年以内 (5年以内の据置期間含む)	1.55%																																																																	
自動車資金	200万円以内	7年以内	1.55%																																																																	
成果		<p>直近5年間の融資実績等は下記のとおりであり、勤労者の安定した生活確保の一助となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">前年度末債務残高</th> <th colspan="2">融資（貸付実行）</th> <th rowspan="2">完済件数</th> <th rowspan="2">償還金額</th> <th colspan="2">年度末債務残高</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>3件</td> <td>4,870,456円</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>0件</td> <td>677,940円</td> <td>3件</td> <td>4,192,516円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3件</td> <td>4,192,516円</td> <td>7件</td> <td>6,842,113円</td> <td>0件</td> <td>1,351,785円</td> <td>10件</td> <td>9,682,844円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>10件</td> <td>9,682,844円</td> <td>3件</td> <td>3,920,000円</td> <td>2件</td> <td>2,083,694円</td> <td>11件</td> <td>11,519,150円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>11件</td> <td>11,519,150円</td> <td>1件</td> <td>1,500,000円</td> <td>2件</td> <td>3,020,723円</td> <td>10件</td> <td>9,998,427円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>10件</td> <td>9,998,427円</td> <td>1件</td> <td>1,000,000円</td> <td>2件</td> <td>3,739,994円</td> <td>9件</td> <td>7,258,433円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	前年度末債務残高		融資（貸付実行）		完済件数	償還金額	年度末債務残高		件数	金額	件数	金額	件数	金額	H30	3件	4,870,456円	0件	0円	0件	677,940円	3件	4,192,516円	R1	3件	4,192,516円	7件	6,842,113円	0件	1,351,785円	10件	9,682,844円	R2	10件	9,682,844円	3件	3,920,000円	2件	2,083,694円	11件	11,519,150円	R3	11件	11,519,150円	1件	1,500,000円	2件	3,020,723円	10件	9,998,427円	R4	10件	9,998,427円	1件	1,000,000円	2件	3,739,994円	9件	7,258,433円
年度	前年度末債務残高		融資（貸付実行）		完済件数	償還金額	年度末債務残高																																																													
	件数	金額	件数	金額			件数	金額																																																												
H30	3件	4,870,456円	0件	0円	0件	677,940円	3件	4,192,516円																																																												
R1	3件	4,192,516円	7件	6,842,113円	0件	1,351,785円	10件	9,682,844円																																																												
R2	10件	9,682,844円	3件	3,920,000円	2件	2,083,694円	11件	11,519,150円																																																												
R3	11件	11,519,150円	1件	1,500,000円	2件	3,020,723円	10件	9,998,427円																																																												
R4	10件	9,998,427円	1件	1,000,000円	2件	3,739,994円	9件	7,258,433円																																																												
成果に係る評価		<p>令和4年度の新規貸付は前年度と同じく1件のみであったが、中小企業勤労者に対し、低金利で融資を行い、大企業との福利厚生面での格差を是正するために重要な事業であることから、引き続き、利用促進のため制度周知に取り組んでいく。 なお、令和5年度から教育資金及び自動車資金の貸付利率を引き下げた。今後も利用しやすい事業内容を検討していく必要がある。</p>																																																																		
予算の執行状況		(単位：円)																																																																		
予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
10,000,000	10,000,000						10,000,000																																																													

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		みやぎの水田農業改革支援事業																																											
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																											
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																											
	事業	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する																																											
担当部課	産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 73																																												
目的及び事業内容		米の需給調整に係る集団転作に取り組み農業法人や集落営農組織等を対象とし、作業の効率化及び適期作業による品質向上を図るための作業機械導入経費の軽減を目的に、宮城県と本市が補助金を交付するもの。																																														
取組実績		<p>転作用機械を導入する補助対象事業者（7組織）に対し、県補助金（4/10）に市が5%嵩上げた補助金を交付し、作業機械導入経費の負担軽減を図った。</p> <p>1 事業実施主体数 : 7組織</p> <p>2 導入施設及び機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>事業実施主体名</th> <th>作作品目</th> <th>地区</th> <th>導入機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>(農) アスターファーム</td> <td>麦・大豆</td> <td>石巻</td> <td>ハイクリブーム、ハイパーカルチ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(農) 舟形アグリ</td> <td>麦・大豆</td> <td>河北</td> <td>ドローン一式</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>(農) 相野谷</td> <td>麦・大豆</td> <td>河北</td> <td>ハイクリブーム</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>(農) じょうぼん</td> <td>麦・大豆・WCS</td> <td>河北</td> <td>ジャイロテッダ、ディスクモア</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>(株) ヒロふあーむ</td> <td>水稻・麦・大豆</td> <td>河南</td> <td>真空播種機一式他</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>(農) 大地大沢</td> <td>水稻・大豆</td> <td>河南</td> <td>ハイクリブーム</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>(有) アグリサービス高勝</td> <td>麦・大豆</td> <td>桃生</td> <td>ロータリーカルチ他</td> </tr> </tbody> </table>							No	事業実施主体名	作作品目	地区	導入機械	1	(農) アスターファーム	麦・大豆	石巻	ハイクリブーム、ハイパーカルチ	2	(農) 舟形アグリ	麦・大豆	河北	ドローン一式	3	(農) 相野谷	麦・大豆	河北	ハイクリブーム	4	(農) じょうぼん	麦・大豆・WCS	河北	ジャイロテッダ、ディスクモア	5	(株) ヒロふあーむ	水稻・麦・大豆	河南	真空播種機一式他	6	(農) 大地大沢	水稻・大豆	河南	ハイクリブーム	7	(有) アグリサービス高勝	麦・大豆	桃生	ロータリーカルチ他
No	事業実施主体名	作作品目	地区	導入機械																																												
1	(農) アスターファーム	麦・大豆	石巻	ハイクリブーム、ハイパーカルチ																																												
2	(農) 舟形アグリ	麦・大豆	河北	ドローン一式																																												
3	(農) 相野谷	麦・大豆	河北	ハイクリブーム																																												
4	(農) じょうぼん	麦・大豆・WCS	河北	ジャイロテッダ、ディスクモア																																												
5	(株) ヒロふあーむ	水稻・麦・大豆	河南	真空播種機一式他																																												
6	(農) 大地大沢	水稻・大豆	河南	ハイクリブーム																																												
7	(有) アグリサービス高勝	麦・大豆	桃生	ロータリーカルチ他																																												
成果		<p>7組織において転作用機械を導入し、麦・大豆等の栽培における経営効率向上及び生産規模拡大が図られた。</p> <p>支援組織数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12組織</td> <td>10組織</td> <td>7組織</td> <td>11組織</td> <td>7組織</td> </tr> </tbody> </table> <p>転作面積の推移（※二毛作含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麦</td> <td>708ha</td> <td>721ha</td> <td>744ha</td> <td>718ha</td> <td>779ha</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>1,470ha</td> <td>1,560ha</td> <td>1,540ha</td> <td>1,580ha</td> <td>1,650ha</td> </tr> </tbody> </table>							H30	R1	R2	R3	R4	12組織	10組織	7組織	11組織	7組織	作物名	H30	R1	R2	R3	R4	麦	708ha	721ha	744ha	718ha	779ha	大豆	1,470ha	1,560ha	1,540ha	1,580ha	1,650ha												
H30	R1	R2	R3	R4																																												
12組織	10組織	7組織	11組織	7組織																																												
作物名	H30	R1	R2	R3	R4																																											
麦	708ha	721ha	744ha	718ha	779ha																																											
大豆	1,470ha	1,560ha	1,540ha	1,580ha	1,650ha																																											
成果に係る評価		<p>本市では、農産物の安定的な生産供給推進のため、主に農業基盤整備完了後に、水田におけるブロックローテーションを促進し、水稻、麦、大豆等の土地利用型作物の作付けによる、水田の高度利用を推進している。 単位面積当たりの生産量向上を目指すとともに、米の需給環境に対応した穀類の生産体制の強化を図り、不作付地の発生防止に努めている。 本事業の活用により、麦・大豆生産団体の負担軽減を図るとともに、経営及び生産性の向上に寄与することから、事業継続が必要である。</p>																																														
予算の執行状況		(単位：円)																																														
予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
15,572,000	15,572,000	13,844,000						1,728,000																																								

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	環境保全型農業支援事業																																																																																						
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																																					
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																																																																					
	事業	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する																																																																																					
担当部課	産産部農林課	実施計画掲載ページ		P74																																																																																						
目的及び事業内容	<p>農業者の組織する団体等が実施する化学肥料・化学合成農業を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動等に取り組む場合に支援を実施する。対象となる農業生産活動は、有機農業、堆肥の施用、カバークロープ、リビングマルチ、草生栽培、不耕起播種、長期中干し、秋耕である。</p>																																																																																									
取組実績	<p>令和4年度については、10団体68人を対象に12,876,480円の交付を行った。補助金の負担割合は、国1/2、県1/4、市1/4である。</p> <p style="text-align: center;">(単位：人、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>組織名</th> <th>取組内容</th> <th>人数</th> <th>補助金合計</th> <th>国(1/2)</th> <th>県(1/4)</th> <th>市(1/4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広瀬沼有機の友</td> <td>有機農業</td> <td>2</td> <td>721,200</td> <td>360,600</td> <td>180,300</td> <td>180,300</td> </tr> <tr> <td>K O S</td> <td>有機/堆肥/緑肥</td> <td>1</td> <td>3,155,360</td> <td>1,577,680</td> <td>788,840</td> <td>788,840</td> </tr> <tr> <td>陽光ライス</td> <td>有機農業</td> <td>5</td> <td>3,116,400</td> <td>1,558,200</td> <td>779,100</td> <td>779,100</td> </tr> <tr> <td>種人会</td> <td>有機農業</td> <td>4</td> <td>1,066,800</td> <td>533,400</td> <td>266,700</td> <td>266,700</td> </tr> <tr> <td>河南ネクスト農場</td> <td>有機農業</td> <td>2</td> <td>656,400</td> <td>328,200</td> <td>164,100</td> <td>164,100</td> </tr> <tr> <td>ひたかみ有機の会</td> <td>有機農業</td> <td>2</td> <td>1,395,600</td> <td>697,800</td> <td>348,900</td> <td>348,900</td> </tr> <tr> <td>J A 新みやぎ南郷地域環境保全型農業推進部会</td> <td>有機農業</td> <td>1</td> <td>58,800</td> <td>29,400</td> <td>14,700</td> <td>14,700</td> </tr> <tr> <td>J A 新みやぎ涌谷稲作生産部会</td> <td>有機/堆肥</td> <td>2</td> <td>50,740</td> <td>25,370</td> <td>12,685</td> <td>12,685</td> </tr> <tr> <td>カリオン環境部会</td> <td>堆肥の施用</td> <td>1</td> <td>14,080</td> <td>7,040</td> <td>3,520</td> <td>3,520</td> </tr> <tr> <td>J A いしのまき稲作部会</td> <td>堆肥の施用</td> <td>48</td> <td>2,641,100</td> <td>1,320,550</td> <td>660,275</td> <td>660,275</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>68</td> <td>12,876,480</td> <td>6,438,240</td> <td>3,219,120</td> <td>3,219,120</td> </tr> </tbody> </table>						組織名	取組内容	人数	補助金合計	国(1/2)	県(1/4)	市(1/4)	広瀬沼有機の友	有機農業	2	721,200	360,600	180,300	180,300	K O S	有機/堆肥/緑肥	1	3,155,360	1,577,680	788,840	788,840	陽光ライス	有機農業	5	3,116,400	1,558,200	779,100	779,100	種人会	有機農業	4	1,066,800	533,400	266,700	266,700	河南ネクスト農場	有機農業	2	656,400	328,200	164,100	164,100	ひたかみ有機の会	有機農業	2	1,395,600	697,800	348,900	348,900	J A 新みやぎ南郷地域環境保全型農業推進部会	有機農業	1	58,800	29,400	14,700	14,700	J A 新みやぎ涌谷稲作生産部会	有機/堆肥	2	50,740	25,370	12,685	12,685	カリオン環境部会	堆肥の施用	1	14,080	7,040	3,520	3,520	J A いしのまき稲作部会	堆肥の施用	48	2,641,100	1,320,550	660,275	660,275	計		68	12,876,480	6,438,240	3,219,120	3,219,120
組織名	取組内容	人数	補助金合計	国(1/2)	県(1/4)	市(1/4)																																																																																				
広瀬沼有機の友	有機農業	2	721,200	360,600	180,300	180,300																																																																																				
K O S	有機/堆肥/緑肥	1	3,155,360	1,577,680	788,840	788,840																																																																																				
陽光ライス	有機農業	5	3,116,400	1,558,200	779,100	779,100																																																																																				
種人会	有機農業	4	1,066,800	533,400	266,700	266,700																																																																																				
河南ネクスト農場	有機農業	2	656,400	328,200	164,100	164,100																																																																																				
ひたかみ有機の会	有機農業	2	1,395,600	697,800	348,900	348,900																																																																																				
J A 新みやぎ南郷地域環境保全型農業推進部会	有機農業	1	58,800	29,400	14,700	14,700																																																																																				
J A 新みやぎ涌谷稲作生産部会	有機/堆肥	2	50,740	25,370	12,685	12,685																																																																																				
カリオン環境部会	堆肥の施用	1	14,080	7,040	3,520	3,520																																																																																				
J A いしのまき稲作部会	堆肥の施用	48	2,641,100	1,320,550	660,275	660,275																																																																																				
計		68	12,876,480	6,438,240	3,219,120	3,219,120																																																																																				
成果	<p>農業や化学合成肥料の使用低減により、輸送時や生成時に発生する温室効果ガスの削減や生物多様性の保全に貢献した。</p> <p>取組面積の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有機農業</td> <td>89.81ha</td> <td>105.24ha</td> <td>80.17ha</td> <td>76.84ha</td> </tr> <tr> <td>堆肥の施用</td> <td>8.86ha</td> <td>9.56ha</td> <td>102.04ha</td> <td>142.44ha</td> </tr> <tr> <td>カバークロープ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>7.68ha</td> </tr> </tbody> </table>						取組内容	R1	R2	R3	R4	有機農業	89.81ha	105.24ha	80.17ha	76.84ha	堆肥の施用	8.86ha	9.56ha	102.04ha	142.44ha	カバークロープ	-	-	-	7.68ha																																																																
取組内容	R1	R2	R3	R4																																																																																						
有機農業	89.81ha	105.24ha	80.17ha	76.84ha																																																																																						
堆肥の施用	8.86ha	9.56ha	102.04ha	142.44ha																																																																																						
カバークロープ	-	-	-	7.68ha																																																																																						
成果に係る評価	<p>国際的な動きとして地球温暖化防止や生物多様性保全への対応が急務となる中、これらに効果の高い農業生産活動等に取り組む農業者の組織する団体等へ支援を実施した。本事業の活用により、農業者が農業を継続できる環境を整え、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進し、地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的且つ効果の高い営農活動に対して支援を行うため、今後も事業を継続していく必要があると考える。</p>																																																																																									
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																									
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																								
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																					
13,020,000	12,876,480	9,657,360			3,219,120																																																																																					

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	園芸特産重点強化整備事業																																
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																															
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																															
	事業	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する																															
担当部課	産産部農林課	実施計画掲載ページ		P74																																
目的及び事業内容	<p>園芸生産用施設・機械の導入等により、園芸特産物の安定的な供給を支える担い手の育成・確保を図りながら、組織化による集落農業の実践を進め、高品質で収益性の高い作物の計画的な生産出荷を可能とする産地を育成することを目的とする。</p>																																			
取組実績	<p>園芸作物栽培に係る施設・機械を導入する補助対象事業者(2組織)に対し、県補助金(1/3)に市が5%嵩上げた補助金を交付し、施設・機械等の整備費の負担軽減を図った。</p> <p>1 事業実施主体数 : 2組織 2 導入施設及び機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>事業実施主体名</th> <th>作付品目</th> <th>地区</th> <th>導入機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>(株)アグリ・バレット</td> <td>いちご</td> <td>石巻</td> <td>いちご栽培設備(栽培ベンチ外)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>桃生町園芸生産者連絡協議会</td> <td>ガーベラ</td> <td>桃生</td> <td>高断熱外張フィルム</td> </tr> </tbody> </table>						No	事業実施主体名	作付品目	地区	導入機械	1	(株)アグリ・バレット	いちご	石巻	いちご栽培設備(栽培ベンチ外)	2	桃生町園芸生産者連絡協議会	ガーベラ	桃生	高断熱外張フィルム															
No	事業実施主体名	作付品目	地区	導入機械																																
1	(株)アグリ・バレット	いちご	石巻	いちご栽培設備(栽培ベンチ外)																																
2	桃生町園芸生産者連絡協議会	ガーベラ	桃生	高断熱外張フィルム																																
成果	<p>導入機械により、省力化や秀品率が向上し、作付品目の市場価値を高めることができた。2組織において、園芸施設を導入し、省力化秀品率、経営効率の向上が図られ、作付品目の市場価値を高めることができた。</p> <p>重点振興品目毎の生産面積等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>組織数</th> <th>生産面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いちご</td> <td>34組織</td> <td>11.8ha</td> </tr> <tr> <td>きゅうり</td> <td>36組織</td> <td>6.2ha</td> </tr> <tr> <td>トマト</td> <td>41組織</td> <td>11.4ha</td> </tr> <tr> <td>ほうれんそう</td> <td>39組織</td> <td>3.9ha</td> </tr> <tr> <td>パプリカ</td> <td>1組織</td> <td>2.4ha</td> </tr> <tr> <td>えだまめ</td> <td>5組織</td> <td>6.7ha</td> </tr> <tr> <td>せり</td> <td>12組織</td> <td>3.0ha</td> </tr> <tr> <td>菊</td> <td>2組織</td> <td>1.2ha</td> </tr> <tr> <td>ガーベラ</td> <td>6組織</td> <td>1.1ha</td> </tr> </tbody> </table>						作物名	組織数	生産面積	いちご	34組織	11.8ha	きゅうり	36組織	6.2ha	トマト	41組織	11.4ha	ほうれんそう	39組織	3.9ha	パプリカ	1組織	2.4ha	えだまめ	5組織	6.7ha	せり	12組織	3.0ha	菊	2組織	1.2ha	ガーベラ	6組織	1.1ha
作物名	組織数	生産面積																																		
いちご	34組織	11.8ha																																		
きゅうり	36組織	6.2ha																																		
トマト	41組織	11.4ha																																		
ほうれんそう	39組織	3.9ha																																		
パプリカ	1組織	2.4ha																																		
えだまめ	5組織	6.7ha																																		
せり	12組織	3.0ha																																		
菊	2組織	1.2ha																																		
ガーベラ	6組織	1.1ha																																		
成果に係る評価	<p>機械導入や施設整備により、生産力向上及び省力化を推進して収益性を高め、産地間競争に勝ち残るとともに、強い農業経営体を育成するため、継続した事業推進が必要である。</p>																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
15,325,000	12,507,000	10,876,000			1,631,000																															

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	担い手育成総合支援事業（農業）																																					
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																				
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																				
	事業	農業振興費		(6)	持続可能な農業経営体を育成する																																				
担当部課	産産部農林課	実施計画掲載ページ		P76																																					
目的及び事業内容	本市の第一次産業においては、後継者不足等の理由により就業者の減少が続いている。新たな担い手を確保するために、支援拠点となる施設整備等や管理運営を実施する。																																								
取組実績	1 オンラインとオフラインによる定期的な就農相談会を毎月各1回、計24回実施。 ・オンライン就農相談会（毎月第2土曜日）※各回3組限定 ・対面式就農相談会（毎月第4土曜日）※各回3組限定																																								
	2 農業の現場を知識として知り、学んでもらうための座学（石巻農学）を2回、就農や移住を目指すための現場研修（石巻百姓塾）を3回実施。 石巻農学																																								
	<table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>令和4年11月27日</td> <td>「地域の農業のゲンバを「知る・学ぶ・つながる」を演題とした、先輩就農者による講演</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月29日</td> <td></td> </tr> </table>							開催日	内容	令和4年11月27日	「地域の農業のゲンバを「知る・学ぶ・つながる」を演題とした、先輩就農者による講演	令和5年1月29日																													
	開催日	内容																																							
令和4年11月27日	「地域の農業のゲンバを「知る・学ぶ・つながる」を演題とした、先輩就農者による講演																																								
令和5年1月29日																																									
<table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>令和4年5月3日～5日</td> <td>田植え体験</td> </tr> <tr> <td>令和4年10月9日</td> <td>稲刈り体験</td> </tr> <tr> <td>令和5年2月19日</td> <td>特別企画セミナー 演題「土壌を大切に作る再生産可能な農業」</td> </tr> </table>							開催日	内容	令和4年5月3日～5日	田植え体験	令和4年10月9日	稲刈り体験	令和5年2月19日	特別企画セミナー 演題「土壌を大切に作る再生産可能な農業」																											
開催日	内容																																								
令和4年5月3日～5日	田植え体験																																								
令和4年10月9日	稲刈り体験																																								
令和5年2月19日	特別企画セミナー 演題「土壌を大切に作る再生産可能な農業」																																								
3 本市で就農している若手農業者や就農希望者等による交流会を実施。 <table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>令和4年7月15日</td> <td>新規就農者交流会</td> </tr> </table>							開催日	内容	令和4年7月15日	新規就農者交流会																															
開催日	内容																																								
令和4年7月15日	新規就農者交流会																																								
4 ホームページの更新、パンフレットの増刷。																																									
成果	市内の法人等に就農（就農研修含む）した7名のうち、市外からの就農者は6名である。市外からの就農者のうち、2名が桃生地区のシェアハウスに入居した。新規就農者数・体験プログラム参加者数は昨年度から増加した。																																								
	○農業担い手センター運営事業																																								
	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>就農相談</th> <th>体験70分</th> <th>新規就農</th> <th>離職者</th> <th>年度末就農者</th> <th>就農研修（参考）</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>44人</td> <td>44人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>55人</td> <td>64人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>66人</td> <td>14人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>20人</td> <td>41人</td> <td>7人</td> <td>1人</td> <td>12人</td> <td>2人</td> </tr> </table> <p>※就農研修とは、農業法人での農業体験（インターンシップ）のこと。</p>							年度	就農相談	体験70分	新規就農	離職者	年度末就農者	就農研修（参考）	R1	44人	44人	3人	1人	3人	4人	R2	55人	64人	2人	1人	4人	4人	R3	66人	14人	6人	4人	5人	3人	R4	20人	41人	7人	1人	12人
年度	就農相談	体験70分	新規就農	離職者	年度末就農者	就農研修（参考）																																			
R1	44人	44人	3人	1人	3人	4人																																			
R2	55人	64人	2人	1人	4人	4人																																			
R3	66人	14人	6人	4人	5人	3人																																			
R4	20人	41人	7人	1人	12人	2人																																			
成果に係る評価	農業担い手センターを中心とした、担い手事業が定着化してきており、就農者も増加していることから、継続して、就農相談のほか、座学及び体験型プログラムを実施し、新規就農者の確保に努める。移住を伴う新規就農者には、地方自治体が担い手事業を行うことにより、安心した移住・就農につながることから、今後も担い手事業を継続し、地域課題である担い手の確保に努める。また、新規就農者の孤立・孤独を防ぐために、若手農業者と就農希望者・新規就農者の交流会等の取組を充実させ、新規就農者の不安解消を図る。																																								
予算の執行状況	（単位：円）																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	12,000,000	11,935,000			6,000,000	5,935,000																																			

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	有害鳥獣農作物被害防止対策事業																																				
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																			
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																			
	事業	ニホンジカ農作物被害防止対策費		(7)	農作物の被害対策を推進する																																			
担当部課	産産部ニホンジカ対策室	実施計画掲載ページ		P76																																				
目的及び事業内容	有害鳥獣による農作物等の被害は深刻化しており、ニホンジカについては生息域が牡鹿半島だけでなく石巻市全域に拡大しており、それに伴い、農林業被害のみならず交通事故等の生活被害が一年を通して各地で発生している。このことから、有害鳥獣による農林業等への被害を防止するため、銃器及びわなによるニホンジカ等の捕獲を実施するとともに、被害が発生している地域には侵入防止柵の設置など、地域ぐるみの被害防止対策の推進を図る。																																							
取組実績	石巻市鳥獣被害防止計画に基づきニホンジカ等の捕獲を実施するとともに、牡鹿半島ニホンジカ対策協議会へ補助金を交付し、地域ぐるみの侵入防止柵設置の推進など各団体の活動支援を実施した。																																							
	1 有害鳥獣捕獲事業 (1) 実施団体：宮城県猟友会石巻支部及び河北支部 (2) 実施期間 ア 銃器による捕獲：4月から11月まで（50日間×2支部） イ わなによる捕獲：4月から2月まで（随時実施） (3) 対象地域：市内全域 (4) 捕獲実績																																							
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">ニホンジカ</th> <th colspan="2">イノシシ</th> </tr> <tr> <th colspan="2">活動指標</th> <th>達成率</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2,300頭</td> <td>1,545頭</td> <td>67.2%</td> <td>15頭</td> </tr> </table>							ニホンジカ		イノシシ		活動指標		達成率	実績値	目標値	実績値			2,300頭	1,545頭	67.2%	15頭																	
ニホンジカ		イノシシ																																						
活動指標		達成率	実績値																																					
目標値	実績値																																							
2,300頭	1,545頭	67.2%	15頭																																					
2 鳥獣被害防止総合支援事業 地域への侵入防止柵（ネット柵）貸与：稲井地区4,500m、大川地区3,000m																																								
成果	有害鳥獣捕獲事業及び鳥獣被害防止総合支援事業の実施により、ニホンジカによる農作物等の被害低減が図られた。																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="6">有害鳥獣（ニホンジカ）による被害額（単年）</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>農作物被害</th> <th>交通事故被害</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td>29,924千円</td> <td>13,424千円</td> <td>16,500千円</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td>48,759千円</td> <td>27,459千円</td> <td>21,300千円</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>46,000千円</td> <td>41,101千円</td> <td>17,101千円</td> <td>24,000千円</td> <td>111.9%</td> </tr> </table> <p>※成果指標目標値は令和4年度に設定したもの。 ※交通事故被害額は1件当たり300千円として算出。</p>							有害鳥獣（ニホンジカ）による被害額（単年）						年度	成果指標				達成率	目標値	実績値	農作物被害	交通事故被害	R2	-	29,924千円	13,424千円	16,500千円	-	R3	-	48,759千円	27,459千円	21,300千円	-	R4	46,000千円	41,101千円	17,101千円	24,000千円	111.9%
有害鳥獣（ニホンジカ）による被害額（単年）																																								
年度	成果指標				達成率																																			
	目標値	実績値	農作物被害	交通事故被害																																				
R2	-	29,924千円	13,424千円	16,500千円	-																																			
R3	-	48,759千円	27,459千円	21,300千円	-																																			
R4	46,000千円	41,101千円	17,101千円	24,000千円	111.9%																																			
成果に係る評価	ニホンジカによる農作物等の被害低減を図るため、捕獲や農地周辺への侵入防止柵の設置を推進した結果、成果指標における令和4年度目標値の達成に至ったが、まだ高い水準で被害が発生していることから事業を継続する必要がある。また、ニホンジカの捕獲頭数が令和3年度（2,968頭）と比較し低調となっているが、宮城県の調査では生息密度は依然として高いと推測され、被害低減のためには現在と同等以上に捕獲することが必要であることから、ICT機器の導入や捕獲に係る資機材の貸与などにより、捕獲効率の向上及び捕獲実施者の負担軽減を図り捕獲頭数を増加させる必要がある。																																							
予算の執行状況	（単位：円）																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	34,556,000	33,652,682	8,196,108			25,456,574																																		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	優良肉用牛生産振興対策事業																																																
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																															
	4 目	畜産費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																															
	事業	畜産振興費		(4)	石巻産農畜産物のブランド化を推進する																																															
担当部課	産産部農林課	実施計画掲載ページ		P 75																																																
目的及び事業内容		宮城県基幹種雄牛を活用した石巻地域の和牛ブランド化と、優良な和牛生産地としての地位を維持するため、保留対象牛導入者に対して経費の一部を助成することにより、子牛生産現場における生産意欲の高揚を促す。 対象牛導入者に対し、その経費の一部を予算の範囲内で助成する。 1 石巻市産の宮城県基幹種雄牛：繁殖牛、肥育牛共に、1頭当たり 80,000円以内 2 その他の宮城県基幹種雄牛：繁殖牛、肥育牛共に、1頭当たり 50,000円以内																																																		
取組実績		優良肉用牛生産振興対策事業について、上期、下期の2期に分けて申請受理及び交付決定を実施した。 1 上期（対象期間：令和4年4月1日～令和4年9月30日）□ <table border="1"> <tr><th>産地別</th><th>単価</th><th>繁殖牛</th><th>肥育牛</th><th>助成額</th></tr> <tr><td>石巻産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>3頭</td><td>240,000円</td></tr> <tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>12頭</td><td>17頭</td><td>1,450,000円</td></tr> </table> 2 下期（対象期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日）□ <table border="1"> <tr><th>産地別</th><th>単価</th><th>繁殖牛</th><th>肥育牛</th><th>助成額</th></tr> <tr><td>石巻産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>3頭</td><td>240,000円</td></tr> <tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>3頭</td><td>23頭</td><td>1,300,000円</td></tr> </table> 3 上期＋下期 <table border="1"> <tr><th>産地別</th><th>単価</th><th>繁殖牛</th><th>肥育牛</th><th>助成額</th></tr> <tr><td>石巻産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>6頭</td><td>480,000円</td></tr> <tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>15頭</td><td>40頭</td><td>2,750,000円</td></tr> </table>						産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻産	80,000円	0頭	3頭	240,000円	その他（市外産）	50,000円	12頭	17頭	1,450,000円	産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻産	80,000円	0頭	3頭	240,000円	その他（市外産）	50,000円	3頭	23頭	1,300,000円	産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻産	80,000円	0頭	6頭	480,000円	その他（市外産）	50,000円	15頭	40頭	2,750,000円
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																
石巻産	80,000円	0頭	3頭	240,000円																																																
その他（市外産）	50,000円	12頭	17頭	1,450,000円																																																
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																
石巻産	80,000円	0頭	3頭	240,000円																																																
その他（市外産）	50,000円	3頭	23頭	1,300,000円																																																
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																
石巻産	80,000円	0頭	6頭	480,000円																																																
その他（市外産）	50,000円	15頭	40頭	2,750,000円																																																
成 果		優良血統肉用牛の地域内保留が図られた。 当事業の実施により、優良肉用牛産地としての和牛ブランド化を推進するとともに、生産意欲の高揚が図られた。 肉用牛使用経営体数、飼養頭数の推移 <table border="1"> <tr><th rowspan="2">種別</th><th colspan="3">R1</th><th colspan="2">R2</th><th colspan="2">R3</th></tr> <tr><th>経営体数</th><th>飼養頭数</th><th>100頭</th><th>94頭</th><th>1,971頭</th><th>1,940頭</th><th>1,970頭</th></tr> <tr><th rowspan="2">繁殖</th><th>経営体数</th><th>29頭</th><th>29頭</th><th>25頭</th><th>2,448頭</th><th>2,333頭</th><th>2,201頭</th></tr> <tr><th>飼養頭数</th><th>2,448頭</th><th>2,333頭</th><th>2,201頭</th><td colspan="3"></td></tr> </table>						種別	R1			R2		R3		経営体数	飼養頭数	100頭	94頭	1,971頭	1,940頭	1,970頭	繁殖	経営体数	29頭	29頭	25頭	2,448頭	2,333頭	2,201頭	飼養頭数	2,448頭	2,333頭	2,201頭																		
種別	R1			R2		R3																																														
	経営体数	飼養頭数	100頭	94頭	1,971頭	1,940頭	1,970頭																																													
繁殖	経営体数	29頭	29頭	25頭	2,448頭	2,333頭	2,201頭																																													
	飼養頭数	2,448頭	2,333頭	2,201頭																																																
成果に係る評価		令和元年度は64頭・3,740,000円、令和2年度は59頭・3,400,000円、令和3年度は59頭・3,160,000円、令和4年度は61頭・3,230,000円と毎年度約60頭分の助成実績となっている。 肉用牛生産現場における生産意欲の高揚と宮城県基幹種牛を活用した石巻地域の和牛ブランド化、優良な和牛生産地としての地位を維持するため、今後も事業継続が必要である。																																																		
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	4,000,000	3,230,000			3,000,000	230,000																																														

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	農業用河川工作物応急対応事業			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	県営事業負担金		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する		
担当部課	産産部農林課	実施計画掲載ページ		P 72			
目的及び事業内容		宮城県が実施する農村地域防災減災事業（農業用河川工作物等応急対策事業）について、法令で定められた割合（8%）の市町村負担金を支出するもの。					
取組実績		宮城県の請求により、法令で定められた割合の県営事業費負担金を支出した。 1 檜崎地区（事業期間：令和4年度～令和9年度） (1) 内容 ア 檜崎用水樋管撤去調査設計業務 檜崎用水樋管 鋼矢板土工の二次元弾塑性 FEM解析 N=1断面 ボーリング調査 N=2箇所、軟弱地盤技術解析一式 (2) 総事業費・・・・・・・・1,089,000千円（負担割合：国 55%、県 37%、市 8%） ※市負担分・・・・・・・・ 87,120千円 (3) 令和4年度事業費・・・・・・ 26,000千円 ※令和4年度市負担分・・・・・・ 2,080千円 2 真野・高木地区（事業期間：令和3年度～令和5年度） (1) 調査事業の内容 ア 事業本体（国負担100%の調査事業） 真野サイホン外測量設計業務（10,970.3千円） 高木サイホン地質調査業務（6,029.7千円） 真野サイホン外機能診断及び健全度評価業務（令和3年度繰越）（14,934千円） 総事業費：31,934千円 イ 国庫補助の対象外事務経費（153,000円） (2) 市負担分 令和4年度負担分・・・76千円 （事務経費について、宮城県50%、石巻市50%で負担する。）					
成 果		宮城県が実施する農村地域防災減災事業（農業用河川工作物等応急対策事業）の令和4年度事業費における石巻市の負担分（8%）について支払いを実施した。（令和4年度は、檜崎地区においては檜崎用水樋管撤去調査設計業務を実施しており、一部を繰り越している。） 真野・高木地区区分については、令和5年度以降に事業を遂行するにあたり、必要な事務経費の支払いを実施した。					
成果に係る評価		檜崎樋管については、当該樋管を用いて農業用水を取水する必要がなくなったことから、施設の撤去が行われることにより、占用許可を取得していた樋管用地を国土交通省に返却できる。 真野・高木排水樋管については、令和3年度から令和5年度まで実施する調査業務後令和6年度以降に実施予定の修繕工事が行われることにより、本来の機能回復が図られ、周辺農地等の灌水被害を未然に防止する効果が高まる。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,156,000	2,156,000			1,800,000	356,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	多面的機能支払交付金事業				
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	土地改良事業関係助成費		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する			
担当部課	産産部農林課	実施計画掲載ページ		P73				
目的及び事業内容	<p>農業農村の有する多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を実施する。</p> <p>・対象区域（管内一円）748,353 a、交付先 蛇田保全隊ほか17活動組織</p> <p>・事業期間 令和元年度～令和5年度</p>							
取組実績	以下の活動組織において次の活動を実施した。							
	1 農地維持活動（畦畔・農用地法面及び水路の草刈、水路の泥上げ、農道の路面維持等）							
	2 資源向上活動（水路、農道等の軽微な補修、花木の植栽活動等）							
	組織名	R4 参加人数	R3 参加人数	R4 対象 農地面積	組織名	R4 参加人数	R3 参加人数	R4 対象 農地面積
	蛇田	830人	769人	17,797 a	広淵	2,625人	2,322人	66,284 a
	稲井	802人	886人	62,970 a	須江	2,652人	2,338人	39,409 a
	小船越	3,103人	2,621人	53,806 a	北村	2,481人	2,143人	31,281 a
	飯野・成田	1,391人	1,291人	35,232 a	中津山1	3,358人	3,945人	57,306 a
	二俣	2,075人	1,823人	36,707 a	中津山2	1,970人	1,954人	30,073 a
	飯野川	2,344人	1,673人	25,670 a	桃生1	1,274人	1,245人	31,536 a
	北上	818人	761人	26,026 a	太田	1,445人	1,470人	30,803 a
	前谷地	3,007人	2,873人	48,805 a	大川	724人	546人	30,000 a
和淵	2,733人	2,505人	49,009 a					
鹿又	3,332人	3,105人	75,639 a	合計 延べ人数	36,964人	34,270人	748,353 a	
成果	各活動組織による地域ぐるみの共同活動により、農用地、水路、農道等の地域資源が良好に保全され、地域コミュニティの活性化につながったほか、農業農村の持続的な発展と多面的機能の維持発揮が図られた。 昨年度と比較すると参加人数が増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を取りながら保全活動が実施された。							
成果に係る評価	農業農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため地域の共同活動への支援を実施し、地域資源の適切な保全管理が図られた。今後の保全活動について、一部の活動組織からは過疎化、構成員の高齢化等に伴い参加者の減少が見込まれる等、継続した活動への不安の声もあるため、人材の確保や少人数でも効率的に保全活動が行えるよう、維持管理の省力化や管理体制の連携強化等が必要である。研修会や事例紹介等情報提供を継続して実施していく。 小学生向けに生き物調査、田植えや稲刈りを実施している組織では体験学習が大変好評であり、ふるさとの地域環境の素晴らしさや地域農業についての啓発活動の継続は大切と考える。 身近な地域資源を適切に保全管理し良好に守って行くためにも、本交付金事業の活用により、各構成団体との連携や後継者、担い手の育成等、地域全体での活動を継続していくことが重要である。							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
200,795,000	199,458,730	149,594,041			49,864,689			

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	ため池等整備事業（用排水施設整備工事）			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	県営事業負担金		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する		
担当部課	産産部農林課	実施計画掲載ページ		P72			
目的及び事業内容	宮城県が実施するため池等整備事業（石巻中部二期事業）について、法令で定められた割合（17%）の市町村負担金を支出するもの。						
取組実績	宮城県の請求により、法令で定められた割合の県営事業費負担金を支出した。						
	1 石巻中部二期地区（事業期間：令和4年度～令和8年度）						
	(1) 内容						
ア 曾波神機械排水路外工事（146,503千円） 軌道付近陥没箇所復旧工、L型水路工 L=202.27m							
イ 石巻線鹿又・曾波神間曾波神排水路新設に伴う支障戻し工事（JR委託工事）（2,001千円） JR石巻線通信設備復旧工 一式							
ウ 宮沢堀排水路外建物事後調査業務（6,194千円） 調査対象 N=7箇所							
エ 大新筒排水機場外低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物運搬処分業務（308千円） 低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物運搬処分 ベール缶 N=4缶（10.07kg）							
オ 用地買収補償費（蛇田機械排水路沿線）（5,004千円） N=3件外							
(2) 総事業費・・・・・・・・1,000,000千円（負担割合：国 55%、県 28%、市 17%） ※市負担分・・・・・・・・ 170,000千円							
(3) 令和4年度事業費・・・・160,010千円（内10千円は県単費につき市負担なし） ※令和4年度市負担分・ 27,200千円							
成果	宮城県が実施するため池等整備事業（石巻中部二期事業）の令和4年度事業費における石巻市の負担分（17%）について支払いを実施した。 なお、令和4年度に宮城県が実施した工事は曾波神機械排水路外工事、宮沢堀排水路外建物事後調査業務及び石巻線鹿又・曾波神間曾波神排水路新設に伴う支障戻し工事（JR委託工事）の一部であり、それ以外は令和5年度に繰り越している。						
成果に係る評価	当該事業において排水機場の排水量増量や排水路の改修が行われることにより、施設周辺の災害を未然に防止する効果や、自然排水が機能しないことによる生活環境悪化を防止する効果が高まる。						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
27,200,000	27,200,000		24,480,000		2,720,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	松くい虫対策事業		
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	林業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興	
	事業	松くい虫対策事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する	
担当部課	産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 75		
目的及び事業内容						
松くい虫からの被害拡大を防止し、景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布による予防を実施する。						
取組実績			事業名		事業量	
			松くい虫被害木等調査業務 石巻、河南、北上、河北、桃生、牡鹿地区、田代島、網地島		5,000本 193.64ha	
			松くい虫伐倒駆除事業 石巻、河南、北上、河北地区		96本 132.669㎡	
			樹幹注入による松林保全対策事業 桃生地区		408本	
			松くい虫防除事業（空中散布） 田代島、網地島		181.56ha	
			森林育成事業衛生伐（内地）伐倒駆除 牧山、桃浦、荻浜、狐崎、沢田、清崎		1,880本 1,411.148㎡	
			森林育成事業衛生伐（離島）伐倒駆除 田代島、網地島		508本 302.894㎡	
	貴重な景観の保全、森林・環境資源として、松林の保護並びに山林の荒廃を防止した。					
成 果	松くい虫被害木の駆除量の推移					
	区分	成果指標		達成率等		
		目標値	業務実施量			
	H30	3,120.00㎡	2,396.10㎡	76.7%		
	R1	3,120.00㎡	1,154.50㎡	37.0%		
	R2	2,658.50㎡	1,415.40㎡	53.2%		
	R3	1,946.20㎡	1,665.93㎡	85.5%		
	R4	1,946.20㎡	1,846.71㎡	94.8%		
	計	12,790.90㎡	8,478.64㎡	66.2%		
成果に係る評価						
森林の多面的機能の維持及び森林資源の保護を図るために、松くい虫の被害木の調査を行い、調査結果を基に、被害木の伐倒駆除を実施し、松くい虫の被害拡大を防ぐことにより、森林の多面的機能の維持及び森林資源の保護となるので、事業を継続する必要がある。						
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	59,423,397	58,762,004	38,471,116			20,290,888

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	造林事業		
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 目	造林費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興	
	事業	造林事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する	
担当部課	産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 74		
目的及び事業内容						
森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面的機能を有しており、これらの機能を持続的に発揮させるために、適正な森林施業を行い、林業経営の指針となる市有林の育成・有効活用を図る。						
取組実績			事業名		事業量	
			下刈り 河北地区		8.25ha	
			保育間伐 石巻、河北、牡鹿地区		54.00ha	
			人工造林 石巻地区		2.69ha	
			鳥獣害防止施設等整備（防鹿柵設置） 石巻地区		1,191.10m	
5年間に実施すべき保育間伐面積を定めた森林経営計画に基づき、令和4年度に計画したエリアの保育間伐を行ったことで、市有林成育の促進が図られた。						
成 果	成果指標					
	区分	目標値	実績値	達成率		
	H30	38.00ha	13.05ha	34.3%		
	R1	38.00ha	9.98ha	26.2%		
	R2	30.00ha	21.74ha	72.4%		
	R3	19.00ha	21.89ha	115.2%		
	R4	19.00ha	64.94ha	341.7%		
	計	144.00ha	131.60ha	91.3%		
成果に係る評価						
本市の森林経営計画に基づき適正な森林施業を推進し、市有林の保育を進めることにより、森林の持つ多面的機能を維持・強化することができた。 また、今後も本市域面積の約55%を占める森林において、本市が林業経営の指針となるため、適正な管理を森林経営計画に基づき継続する必要がある。						
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	24,751,000	24,109,800	13,199,060			10,910,740

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	みやぎの豊かな森林づくり支援事業																																
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																															
	3 目	造林費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																															
	事業	次世代森林づくり支援事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する																															
担当部課	産業部農林課	実施計画掲載ページ		P74																																
目的及び事業内容		森林資源として成熟しつつある民有林の適正な保育のため、間伐を推進し、森林整備を着実かつ合理的に推進する。国庫補助の要件に満たない小規模間伐が対象。																																		
取組実績		<p>令和4年度の取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>事業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36年生以上の人工林間伐(間伐率20%以上・搬出なし)</td> <td>6.58 ha</td> </tr> </tbody> </table>					取組内容	事業量	36年生以上の人工林間伐(間伐率20%以上・搬出なし)	6.58 ha																										
取組内容	事業量																																			
36年生以上の人工林間伐(間伐率20%以上・搬出なし)	6.58 ha																																			
成果		<p>高齢級人工林や0.1ha未満の小規模森林の間伐を促進することにより、民有林の森林整備が進み、良質木材の生産及び森林環境の保全が図られた。</p> <p>人工林間伐の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>8.00ha</td> <td>7.47ha</td> <td>93.3%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>8.00ha</td> <td>5.78ha</td> <td>72.2%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>8.00ha</td> <td>5.30ha</td> <td>66.2%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>8.00ha</td> <td>6.67ha</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>8.00ha</td> <td>6.58ha</td> <td>82.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>40.00ha</td> <td>31.80ha</td> <td>79.5%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	成果指標		達成率	目標値	実績値	H30	8.00ha	7.47ha	93.3%	R1	8.00ha	5.78ha	72.2%	R2	8.00ha	5.30ha	66.2%	R3	8.00ha	6.67ha	83.3%	R4	8.00ha	6.58ha	82.2%	計	40.00ha	31.80ha	79.5%
区分	成果指標		達成率																																	
	目標値	実績値																																		
H30	8.00ha	7.47ha	93.3%																																	
R1	8.00ha	5.78ha	72.2%																																	
R2	8.00ha	5.30ha	66.2%																																	
R3	8.00ha	6.67ha	83.3%																																	
R4	8.00ha	6.58ha	82.2%																																	
計	40.00ha	31.80ha	79.5%																																	
成果に係る評価		民有林の適正な保育のため間伐を推進しているが、財源として市町村振興総合補助金を活用し補助金予算枠内で交付しているため、達成率が80%台となっている。本事業以外では補助対象とならない枝打ち、「高齢級森林」及び「0.1ha未満の小規模森林」における保育間伐、搬出間伐及び森林作業道整備に対し補助を実施し、民有林森林整備の推進に寄与しているため、事業を継続して支援する必要がある。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
		1,244,000	1,244,000	1,131,000			113,000																													

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	森林環境整備事業																																
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																															
	5 目	森林環境整備費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																															
	事業	森林環境整備事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する																															
担当部課	産業部農林課	実施計画掲載ページ		P75																																
目的及び事業内容		バリ協定の枠組みの下における日本の温室効果ガス排出削減目標の達成や森林の災害防止等を図るため、森林整備等に必要施策を行う。																																		
取組実績		<p>災害リスクが高い山地災害危険地区Aに指定され、過去10年で森林整備が行われず、荒廃した私有林を対象に市へ森林経営管理権を委託するかを土地所有者へ確認し、希望された山林において、市が森林所有者に替わって、間伐業務を行う森林環境整備事業の進捗を図るため、以下の業務を実施した。</p> <p>1 令和4年度の取組(令和3年度から明許繰越) (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>事業量</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意向調査(市への森林経営管理権委託に対する意向確認)</td> <td>88.62 ha</td> <td>2,423,000</td> </tr> <tr> <td>集積計画(森林経営に適した森林を判定するための計画)</td> <td>81.48 ha</td> <td>19,632,000</td> </tr> <tr> <td>間伐業務(荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施)</td> <td>13.09 ha</td> <td>6,545,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>28,600,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 令和4年度の取組(令和4年度現年) (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>事業量</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林道女川ヶ森線、参田線、日蔭小萩山線の修繕</td> <td>3,924 m</td> <td>10,677,700</td> </tr> <tr> <td>宮城県森林クラウドシステム共同利用設定及び保守業務</td> <td>2 業務</td> <td>1,432,200</td> </tr> <tr> <td>林道参田線支障木伐採及び危険木処理業務</td> <td>35 m</td> <td>2,002,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>14,111,900</td> </tr> </tbody> </table>					取組内容	事業量	決算額	意向調査(市への森林経営管理権委託に対する意向確認)	88.62 ha	2,423,000	集積計画(森林経営に適した森林を判定するための計画)	81.48 ha	19,632,000	間伐業務(荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施)	13.09 ha	6,545,000	計		28,600,000	取組内容	事業量	決算額	林道女川ヶ森線、参田線、日蔭小萩山線の修繕	3,924 m	10,677,700	宮城県森林クラウドシステム共同利用設定及び保守業務	2 業務	1,432,200	林道参田線支障木伐採及び危険木処理業務	35 m	2,002,000	計		14,111,900
取組内容	事業量	決算額																																		
意向調査(市への森林経営管理権委託に対する意向確認)	88.62 ha	2,423,000																																		
集積計画(森林経営に適した森林を判定するための計画)	81.48 ha	19,632,000																																		
間伐業務(荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施)	13.09 ha	6,545,000																																		
計		28,600,000																																		
取組内容	事業量	決算額																																		
林道女川ヶ森線、参田線、日蔭小萩山線の修繕	3,924 m	10,677,700																																		
宮城県森林クラウドシステム共同利用設定及び保守業務	2 業務	1,432,200																																		
林道参田線支障木伐採及び危険木処理業務	35 m	2,002,000																																		
計		14,111,900																																		
成果		<p>森林経営管理制度を活用し、10年以上森林整備が行われていなかった荒廃した私有林人工林の間伐を行うことにより、山地災害のリスク低減を図った。</p> <p>また、林道においては、風雨による倒木の撤去や路面洗堀の修繕を迅速に実施したことにより、山林所有者や林業者の適正な森林管理を支えることができた。</p> <p>宮城県森林クラウドシステム共同利用設定及び保守業務においては、宮城県と本市が森林情報をクラウドシステムによる情報共有を図ったことにより、森林情報を適宜把握ができ、適切な森林管理に役立てることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>58ha</td> <td>13.09ha</td> <td>22.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考 R4からR5への繰越内容 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>事業量</th> <th>繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意向調査(市への森林経営管理権委託に対する意向確認)</td> <td>228.55ha</td> <td>3,611,000</td> </tr> <tr> <td>集積計画(森林経営に適した森林を判定するための計画)</td> <td>82.73ha</td> <td>20,433,000</td> </tr> <tr> <td>間伐業務(荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施)</td> <td>36.79ha</td> <td>18,856,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>42,900,000</td> </tr> </tbody> </table>					区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R4	58ha	13.09ha	22.6%	取組内容	事業量	繰越額	意向調査(市への森林経営管理権委託に対する意向確認)	228.55ha	3,611,000	集積計画(森林経営に適した森林を判定するための計画)	82.73ha	20,433,000	間伐業務(荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施)	36.79ha	18,856,000	計		42,900,000					
区分	成果指標		達成率等																																	
	目標値	実績等																																		
R4	58ha	13.09ha	22.6%																																	
取組内容	事業量	繰越額																																		
意向調査(市への森林経営管理権委託に対する意向確認)	228.55ha	3,611,000																																		
集積計画(森林経営に適した森林を判定するための計画)	82.73ha	20,433,000																																		
間伐業務(荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施)	36.79ha	18,856,000																																		
計		42,900,000																																		
成果に係る評価		令和3年度に発注した意向調査、集積計画及び間伐の内、令和4年度に繰越した集積計画及び間伐を完了することができた。成果指標の目標値に設定した間伐面積58haに対し、実績は13.09haで達成率は22.6%となった。成果指標の目標値を下回った理由は、意向調査に対する間伐面積の割合を当初は概ね50%と見込んでいたところ、結果は概ね10%となったことが影響している。今後は、年間意向調査面積を増加し、間伐面積目標値の達成を目指す。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
		43,700,000	42,711,900			42,711,900																														

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	密漁対策助成事業				
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興			
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する			
担当部課	産産部水産課	実施計画掲載ページ		P 68				
目的及び事業内容	<p>広域的・組織的に行われているアワビ・ウニの密漁を防止するため、宮城県中部東海区（雄勝・牡鹿地区、女川町）に位置する宮城県漁業協同組合各支所及び牡鹿漁業協同組合で宮城県中部東海区密漁対策委員会を組織。 同委員会に対し、共同監視事業に従事する監視船及び陸上監視所の活動経費の一部を補助し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る。</p>							
取組実績	1 宮城県中部東海区密漁対策委員会による広域密漁監視活動実施状況							
	実施漁協（支所）名		年間監視実績		監視に要した年間経費	補助金配分額（金額：円）		
			日数	時間				
	宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船		11	43.0	2,128,559	石巻市	265,833	
	宮城県漁協女川町支所（出島）監視船、監視所		140	960.0	3,164,707	女川町	280,948	
	宮城県漁協女川町支所（江島）監視船、監視所		313	2550.0	15,174,698	女川町	1,219,052	
	宮城県漁協寄磯前網支所 監視船		131	258.0	1,851,256	石巻市	854,969	
	宮城県漁協谷川支所（泊浜）監視船		アワビ漁解禁前の1ヶ月間及び他支所からの要請により、組合員所有船で監視活動を実施していたが、運航経費の問題から監視活動は実施していない。					
	牡鹿漁協 監視船		92	286.5	4,297,110	石巻市	1,579,198	
	宮城県漁協網地島支所 監視船		震災後、運航要員である組合員の高齢化や運航経費問題から常時監視活動は実施していない。また、小型船のため夜間の監視活動は困難である。監視活動は同じ網地島に係留する牡鹿漁協の監視船から要請があった場合補助にあっている。令和4年度、監視活動は実施していない。					
宮城県漁協表浜支所 監視船		監視船第七JFみやぎ丸（1.9トン）は小型船のため夜間の監視活動は困難である。令和4年度、監視活動は実施していない。						
合 計		687	4,097.5	26,616,330	石巻市	2,700,000		
					女川町	1,500,000		
成 果	<p>組合員の高齢化や運航経費の負担などにより監視活動を実施していない漁協支所があるが、実施可能な漁協支所による継続的な監視活動を行ったところ、監視所と監視船が連携して不審船を漁場外に追い出す等密漁行為を未然に防止した。 こうした監視活動を実施した結果、密漁船の出没が減少する等の成果に繋がっている。</p>							
	区分		当初計画	実績	割合			
	延べ監視日数		992日	687日	69.3%			
延べ監視時間		5,790時間	4,097.5時間	70.8%				
成果に係る評価	<p>三陸沿岸域で横行するウニ・アワビ等磯根資源の密漁防止に向けた取り組みは、震災前から行われていたが、震災後の住民の高台移転や防潮堤の整備等で夜間の浜は、漁業者の監視の目が届かない状況となっている。 近年、密漁者の手口はより悪質・巧妙化しているため、継続的な夜間の密漁監視船、密漁監視所の監視活動は絶対に欠かすことはできない。しかし監視船等の人件費、燃料費及び経年劣化に伴う修繕費等維持経費は、実施主体の大きな負担となっているため本事業を継続的かつ良好に維持し、本市沿岸水産資源の保護、漁家経営の安定のためには継続的な支援が欠かせない。</p>							
	（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,700,000	2,700,000			2,000,000	700,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	種苗放流事業				
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興			
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する			
担当部課	産産部水産課	実施計画掲載ページ		P 68				
目的及び事業内容	<p>沿岸漁業において、獲る漁業からつくり育てる漁業への移行を促進することにより漁家経営の安定化を図るため、漁業協同組合が行う地先資源アワビ等の種苗放流事業に対して助成金を交付するもの。</p>							
取組実績	各漁業協同組合が有償で購入したアワビの稚貝に対して補助金を交付した。							
	令和4年度	補助金交付先	交付額	稚貝購入数	放流数			
	アワビ稚貝購入	宮城県漁協網地島支所	2,552,083円		9,284個	30,750個		
		宮城県漁協表浜支所			6,605個	20,850個		
		宮城県漁協雄勝町東部支所			18,938個	50,250個		
		宮城県漁協北上町十三浜支所			21,900個	42,650個		
		宮城県漁協石巻市東部支所			10,748個	19,250個		
		宮城県漁協谷川支所			1,243個	3,000個		
		宮城県漁協寄磯前網支所			6,970個	13,250個		
		牡鹿漁協			340,648円	7,647個	18,000個	
合 計		2,892,731円	83,335個	198,000個				
（放流数は宮城県からの無償配布分含む）								
成 果	<p>アワビは商品価値が高く、漁家経営を支える貴重な漁業収入となっているが、その漁獲は気象、海象の影響を受けやすく、不安定になりがちである。このため、種苗放流を継続して資源量を維持することで自然増殖の促進を図り、漁家経営の安定化につなげている。</p>							
	<p>アワビの生産の長期的な安定を図るため、毎年度、漁獲サイズに達する資源量が一定化するよう、当該事業を継続する必要がある。</p>							
成果に係る評価	（単位：円）							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,000,000	2,892,731				2,892,731		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	水産多面的機能発揮対策事業			
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興		
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する		
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 68			
目的及び事業内容		<p>多くの水生生物の生活を支え、産卵や幼稚仔魚に生育の場を提供する“藻場”が減少する「磯焼け」が本市の沿岸においても発生している。そのため、水産資源の維持培養と環境保全を図る磯焼け対策事業を実施する漁業協同組合が主体の活動組織に対し、宮城県水域保全協議会を通して負担金を交付する。</p> <p>【事業内容】 藻場の保全、干潟の保全、種苗放流、漂着物堆積物処理、生態系の維持保全、等を実施する市内の活動組織の取り組みに応じて、宮城県水域保全協議会に負担金を支出する。</p>					
取組実績	1 令和4年度事業実績						
	活動組織		実施内容	実施場所	実施規模	負担金額	
	I S O P (宮城県漁協石巻地区支所)		ウニの除去による藻場の保全	佐須浜 田代島周辺	12ha	703,064円	
	継承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)		藻場の保全 (アカモク) 干潟の保全 (アサリ漁場の保全)	万石浦	13ha	438,886円	
網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)		ウニの除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜	10ha	720,000円		
成果		<p>実施初年度となった令和2年度に3つの活動組織が発足し、令和4年度も引き続き網地島を含む市内沿岸の計35haにおいて藻場の保全や干潟の保全に取り組んだ。</p> <p>藻場の保全活動は、磯焼けの原因と考えられるウニについてはおよそ25トン駆除し、網地浜地区では実施地点の藻場面積が1.8倍に拡大、I S O Pでは母藻を設置した周辺でアラメの幼体を確認した。</p> <p>干潟の保全活動は、アサリの食害をもたらすサキグロタマツメタガイ(卵塊)を38.6kg(約2,205個)駆除し、干潟内のアサリ資源量の把握に努めた。</p> <p>こうした取り組みに、宮城県水域保全協議会を通して1,861,950円の負担金を支出した。</p>					
成果に係る評価		<p>昨今の海洋環境の変化において「磯焼け」は、短期的に解決できる問題ではなく継続的に事業を実施していく必要がある。</p> <p>事業開始から3年が経過し、実施地点で藻場の面積が増加したほか、海藻類の増加に寄与する幼体が確認できた等、事業効果が現れてきているので今後も活動を継続していく。</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,356,000	1,861,950				1,861,950	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	海岸漂着物等地域対策推進事業			
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興		
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する		
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 69			
目的及び事業内容		<p>昨今の海岸・沖合には、海洋プラスチックごみを含む多くのごみが漂流・漂着しているため、ごみの削減、減量化に向け漁業者等が取り組む清掃活動等に要する費用の負担を国の支援を受け、市が実施することで、漁港及び海洋環境の保全を図ることを目的とするもの。</p> <p>【事業内容】 市内各漁港に漂着した海洋ごみや、海岸・沖合に漂流している海洋ごみの回収・処理を漁業協同組合等に委託し、ごみの削減、減量化に取り組む。</p>					
取組実績	1 令和4年度事業実績						
	委託先		回収内容	回収量	市委託費		
	宮城県漁協 石巻地区支所		廃プラ、金属くず等	18.5㎡	1,192,367円		
	宮城県漁協 石巻湾支所		廃プラ、木くず、金属くず等	102.4㎡	1,599,999円		
	宮城県漁協 石巻市東部支所		廃プラ、木くず、金属くず等	13.5㎡	640,000円		
	宮城県漁協 雄勝町東部支所		廃プラ、木くず等	24.0㎡	789,996円		
	渡波漁船協同組合		廃プラ、木くず、金属くず等	20.8㎡	7,826,000円		
	宮城県漁協 北上町十三浜支所		廃プラ、木くず等	40.8㎡	1,304,000円		
合 計			220.0㎡	13,352,362円			
成果		<p>令和4年度は昨年度より1団体増えて6団体が実施し、海洋ごみの回収量も増えた。</p> <p>(令和2年度実施3団体：石巻地区支所・石巻湾支所・渡波漁船) (令和3年度実施5団体：石巻地区支所・石巻湾支所・渡波漁船・石巻市東部支所・雄勝町東部支所) (令和4年度実施6団体：石巻地区支所・石巻湾支所・渡波漁船・石巻市東部支所・雄勝町東部支所・北上町十三浜支所)</p>					
成果に係る評価		<p>令和4年度も国、県の補助金を受けて、海洋ごみの回収・処理を行うことができ、漁港・海洋環境の保全が図られた。</p> <p>また、本事業を通して海洋ごみに対する漁業者間の協力体制の構築と推進が図られ、海洋ごみ問題に対する意識の高まりが見られてきているため、今後も漁業者等が行う海洋ごみ回収・処理の取り組みについて、継続的に事業を実施していく。</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	13,770,000	13,352,362	11,453,000			1,899,362	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	水産環境整備事業		
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する	
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 69		
目的及び事業内容	宮城県が令和2年度に策定した漁場ビジョンに基づき、県が事業主体となり、着底基質と呼ばれる漁場を造成させるためのブロック等を整備する事業費の一部を負担するもの。					
取組実績	令和4年度実施状況 (1) 牡鹿、表浜地区に着底基質を整備した事業費の一部を負担した。					
成果	宮城県による事業開始以来、初となる着底基質が表浜地区の沿岸部に整備された。					
成果に係る評価	宮城県が実施した表浜地区における着底基質整備事業に対し、本市が事業費の一部を負担し、表浜地区での整備事業が完了した。今後、磯焼け対策事業の推進が図られることが期待される。					
予算の執行状況	(単位：円)					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
2,534,000	2,534,000		2,200,000		334,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	担い手育成総合支援事業（水産業）																																																		
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																	
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																																																	
	事業	水産振興事業費		(2)	操業体制の充実を図る																																																	
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 69																																																		
目的及び事業内容	本市の基幹産業である水産業は後継者不足等の理由により漁業就業者数の減少が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、新たな担い手を確保するために、空き家等の未利用の建物を活用し、短・中期的に生活できるシェアハウス機能を持った「石巻市水産業担い手センター」を整備し、担い手育成のための事業運営を行う。令和3年度からは水産業一体的に取り組むこととし、水産加工業者の人材確保、幹部候補の育成に向けた事業も実施し、将来の石巻の漁業・水産加工業の担い手としての人材確保・育成を目的としている。また、漁業協同組合等が行う担い手対策に係る経費の一部を補助し、新規就業者の確保・育成を支援する。																																																					
取組実績	<p>1 水産業担い手センター運営事業</p> <p>本事業は、新規就業者が気軽に漁業就業ができる環境を整えるため、漁業就業や漁業研修の住まい、拠点の場としての「水産業担い手センター」の整備・運営と、漁業研修の実施、求人活動、求人求職者間のマッチングを行う事業である。本事業は、地域や漁業者の理解が必要ことから、漁業協同組合との共同事業として実施しており、民間事業者へ事業を委託している。</p> <p>(1) 担い手センターの運営</p> <p>整備した担い手センター5か所（泉町地区、北上地区、渡波地区、雄勝地区、牡鹿地区）を運営。漁業に従事する新規就業者の研修期間中から定住先が決定するまでの住まいとして運営。</p> <p>(2) 短期研修等の実施</p> <p>ア 短期研修 就業希望者と受け入れ先のマッチングを行い、1週間を基本とした短期の研修を実施。</p> <p>イ 漁師学校 漁業に興味のある人が実際の漁業作業や浜での生活に触れ、漁師になるために学び、自らの将来を考えられるようなプログラム内容とした1泊2日の研修を実施。</p> <p>(3) 求人活動の実施 求人サイトへの掲載、就業フェアへの出展（みやぎ漁業就業支援オンラインフェア、全国漁業就業支援フェア、JOIN移住・交流&地域おこしフェア）。</p> <p>2 担い手育成総合支援事業</p> <p>本事業は、漁業協同組合などを実施主体とし、漁業就業希望者が、漁労技術や知識の習得、現地の環境に順応することを目的とする研修等の活動、及び受入側漁業者が担い手育成に必要な活動、新たに漁業に就業しようとする者が独立するために必要とする経費を支援。</p>																																																					
成果	<p>令和4年度はWEBサイトや求人広告などから86件問い合わせがあり、短期研修15名、就労支援12名（内漁業4名、加工8名）のサポートを行った。令和4年度末の就業者数は60名。うち正組合員1名、准組合員が4名。令和4年度の担い手センター利用者20名（短期利用者13名、入居者7名）。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="4">1 担い手センター運営事業</th> <th colspan="4">2 担い手育成総合支援事業</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>就業者人数</th> <th>離職者</th> <th>年度末就業者</th> <th>担い手育成支援</th> <th>5件</th> <th>423,000円</th> <th></th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>19人</td> <td>新規就業者独立支援</td> <td>1件</td> <td>450,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>20人</td> <td>計</td> <td>6件</td> <td>873,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>13人</td> <td>3人</td> <td>30人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>12人</td> <td>4人</td> <td>38人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						1 担い手センター運営事業				2 担い手育成総合支援事業				区分	就業者人数	離職者	年度末就業者	担い手育成支援	5件	423,000円		R1	5人	2人	19人	新規就業者独立支援	1件	450,000円		R2	5人	4人	20人	計	6件	873,000円		R3	13人	3人	30人					R4	12人	4人	38人				
1 担い手センター運営事業				2 担い手育成総合支援事業																																																		
区分	就業者人数	離職者	年度末就業者	担い手育成支援	5件	423,000円																																																
R1	5人	2人	19人	新規就業者独立支援	1件	450,000円																																																
R2	5人	4人	20人	計	6件	873,000円																																																
R3	13人	3人	30人																																																			
R4	12人	4人	38人																																																			
成果に係る評価	水産業の担い手確保は地道な活動であり、求人活動から研修等多岐にわたる支援が必要である。特に漁業の独立に至るまでは長期的な支援が必要とされる。現在、本市の事業は全国的に認知されており、漁業・水産加工業を志す若者からの問合せも増えており、令和4年度は12名が就業。事業が始まって通算60名が就業し、着実に新規の就業者を確保している。本事業は漁業、水産業の振興策であるほか、人口が激減した半島沿岸部への移住定住策、人口増加策ともなり、非常に重要な施策であるため、事業を継続する必要がある。																																																					
予算の執行状況	(単位：円)																																																					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
28,582,000	28,472,990			5,800,000	22,672,990																																																	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	石巻産食品輸出強化事業												
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち											
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興											
	事業	水産振興事業費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る											
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P70												
目的及び事業内容	石巻産食品（農産物・水産物・加工食品）の販路拡大、輸出振興に向けて、海外における石巻ブランドの販路の開拓や一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図るため、輸出に関する取組みへの支援や輸出に必要となる衛生管理水準の向上に要する経費を一部助成する。															
取組実績	<p>令和4年度取組実績</p> <p>1 石巻食品輸出振興協議会 (1) 共同輸出に向けた体制強化 幹事会・事業者会議の開催、輸出可能商品の拡充、欧州市場セミナーの開催、情報発信の強化、課題整理とスキルアップ、輸出専門機関・関連団体等との情報共有 (2) 輸出拡大に向けた取り組み GFPグローバル産地づくり推進事業、海外トップシェフ・ジャーナリスト招聘、マレーシアでの石巻フェア、発酵コンソーシアム試食会への参加、各種商談の実施</p> <p>令和4年度より農林水産省補助金を活用したGFPグローバル産地づくり推進事業に取り組んでおり、アメリカへの輸出に向けた現地マーケティング調査等によりニーズを把握し、それに対応できるような産地側の体制整備を進めている。本事業は令和6年度までの3か年事業。</p> <p>2 水産加工業HACCP等導入支援事業 2回公募を行ったが、応募がなかった。</p>															
成果	<p>石巻食品輸出振興協議会に加入している事業者へのアンケート調査の結果では、年々輸出額が増加しており、継続的な取り組みによる成果が出てきているように感じる。特に、令和4年度より農林水産省補助金を活用したGFPグローバル産地づくり推進事業を実施しており、アメリカ向け輸出に取り組む事業者が増加した。</p> <p>また、水産加工業HACCP等導入支援事業については、令和4年度において2回公募を行ったが、認証取得に際しては、時間と費用が掛かるため、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した売上げの回復に専念する事業者が多いことから、応募する事業者がいなかったと考えられる。</p> <p>年度別輸出額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>320,215,897円</td> <td>294,619,080円</td> <td>501,099,222円</td> <td>580,400,406円</td> <td>816,453,322円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※石巻食品輸出振興協議会参加事業者へのアンケート調査により把握している金額。</p>						H30	R1	R2	R3	R4	320,215,897円	294,619,080円	501,099,222円	580,400,406円	816,453,322円
H30	R1	R2	R3	R4												
320,215,897円	294,619,080円	501,099,222円	580,400,406円	816,453,322円												
成果に係る評価	<p>人口減少に伴い国内市場は縮小傾向にあるが、海外市場は消費者の所得向上、人口増加等により、市場が拡大している。また、近年の円安傾向も相まって、全国的に輸出への関心が高まっている。</p> <p>このような背景を踏まえ、政府は、2030年までに5兆円という輸出額目標を掲げ、意欲的に取り組んでいくこととしており、本市においても、本事業を通じて輸出量が年々増加していることから、市産食品の輸出販路獲得・拡大に向けた取り組みに対し、今後も継続的に支援を行っていく。</p> <p>支援策について、衛生管理認証の取得は、市場における競争力確保のためには必要不可欠であることから、支援できる体制を継続していく必要があるが、他方で、昨今の水産加工業界においては多様な課題が山積していることから、社会情勢や支援ニーズ等総合的に動かし、より効果的な支援策について検討していく必要がある。</p>															
予算の執行状況	(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	12,000,000	12,000,000			5,000,000	7,000,000										

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	捕鯨活動推進事業																								
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																							
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																							
	事業	捕鯨活動推進事業費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る																							
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P70																								
目的及び事業内容	<p>全国の捕鯨や鯨食文化に縁のある自治体（34自治体）により「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」が構成され、商業捕鯨再開に向けた活動を行ってきた。本市は、全国でも数少ない基地式捕鯨を抱えていることから、副会長を務めている。平成30年12月、日本政府がIWCを脱退、およそ30年ぶりとなる商業捕鯨が令和元年7月から再開された。</p> <p>しかしながら、商業捕鯨禁止の期間の影響は大きく、捕鯨への理解の低迷、鯨食離れが進んでいることから、今後は、捕鯨産業を将来に渡って維持するための活動を「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」及び「石巻くじら振興協議会」と連携して実施していく。</p>																											
取組実績	<p>「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」及び「石巻くじら振興協議会」と連携して捕鯨活動への理解促進及び鯨食普及活動を実施した。</p> <p>1 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会に係る事業 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会総会において書面決議。</p> <p>2 石巻くじら振興協議会に係る事業 市内飲食店が提供する鯨料理に対し、500円割引クーポンを発行するくじらフェアを開催することで、「くじらの街・石巻」の認知度を向上させるとともに、くじらに携わる関係者（生産者、飲食店、行政等）の連携を強化し、鯨食文化の普及促進を図った。</p> <p>こもれびの降る丘遊楽館、河北総合センタービッグバン、石巻市役所1階それぞれのスペースで、捕鯨基地「鮎川」の町と捕鯨の歴史、鯨肉の食材としての優位性（栄養価）等の展示を行い、捕鯨産業への理解促進を図った。</p> <p>おしかホエールランド、解体場、捕鯨船の見学ツアーを開催することで、捕鯨産業及び鯨食への理解促進を図った。学芸員によるおしかホエールランドの解説、鯨のひげを加工してストラップを作成するワークショップ、小型捕鯨船乗組員による解説と乗船体験、鯨の解体場での道具展示を実施した。</p> <p>石巻くじら振興協議会の会員となっている捕鯨会社と協力し、鯨肉を販売するイベントを開催することで鯨食の普及を図った。</p>																											
成果	<p>令和4年12月16日から令和5年1月31日の期間で、くじらフェアを開催したことにより、「くじらの街・石巻」の認知度を向上させるとともに、くじらに携わる関係者（生産者、飲食店、行政等）の連携を強化し、鯨食文化の普及促進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>参加店舗数</th> <th>クーポン配布枚数</th> <th>クーポン使用枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20店舗</td> <td>2,000枚</td> <td>1,617枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年2月23日から令和5年3月24日の期間で、企画展示「石巻と捕鯨」を開催したことにより、捕鯨産業への理解促進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年2月23日～令和5年3月3日</td> <td>こもれびの降る丘 遊楽館</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月3日～令和5年3月15日</td> <td>河北総合センター ビッグバン</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月15日～令和5年3月24日</td> <td>石巻市役所1階</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年2月25日及び令和5年2月26日にくじら探訪ツアーを開催したことにより、捕鯨産業及び鯨食への理解促進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>2月25日</th> <th>2月26日</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>25人</td> <td>27人</td> <td>52人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イオンモール石巻主催の「石巻水産フェス」に出店し、ミンク鯨冷凍赤肉を3,000円/kgで数量限定販売し、199kgを売り上げることで鯨食の普及が図られた。</p>						参加店舗数	クーポン配布枚数	クーポン使用枚数	20店舗	2,000枚	1,617枚	期間	場所	令和5年2月23日～令和5年3月3日	こもれびの降る丘 遊楽館	令和5年3月3日～令和5年3月15日	河北総合センター ビッグバン	令和5年3月15日～令和5年3月24日	石巻市役所1階	区分	2月25日	2月26日	計	参加者数	25人	27人	52人
参加店舗数	クーポン配布枚数	クーポン使用枚数																										
20店舗	2,000枚	1,617枚																										
期間	場所																											
令和5年2月23日～令和5年3月3日	こもれびの降る丘 遊楽館																											
令和5年3月3日～令和5年3月15日	河北総合センター ビッグバン																											
令和5年3月15日～令和5年3月24日	石巻市役所1階																											
区分	2月25日	2月26日	計																									
参加者数	25人	27人	52人																									
成果に係る評価	<p>市内くじら関連イベントの開催により、捕鯨産業、鯨食文化の啓蒙の一助となる活動を実施することができた。</p> <p>本市伝統の鯨食文化を後世に継承していくこと、他の水産資源量の適正化を図るうえで重要とされる捕鯨業を維持し、水産資源の持続可能な利用を実現していくことは重要なことであり、事業を継続する必要がある。</p>																											
予算の執行状況	(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	3,066,000	2,758,000				2,758,000																						

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	水産物放射能検査事業																																											
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																										
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																																										
	事業	水産物放射性物質対策事業費（東日本大震災関係分）		(4)	水産物の流通体制の強化を図る																																										
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P70																																											
目的及び事業内容	<p>東京電力福島第一原発事故の影響に伴う放射能問題について、魚市場を流通する主要な魚種のスクリーニング検査を行い検査結果を迅速に公表することにより、魚市場等で水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定した流通を図る。</p> <p>放射線物質測定機器等の風評被害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易測定器による放射能検査の実施 ・放射能情報共有システムによる情報配信 																																														
取組実績	<p>1 放射能検査の実施及び放射能情報共有システムの運用</p> <p>本市では、各魚市場や水産業界と連携し、「石巻から100ペクレル超えの水産物を流通させない。」を目標に掲げ、検査体制を維持し、スクリーニング分析の強化に取り組んでいる。また、これまでの放射性物質検査で得られた測定結果や海域情報などの各種情報を石巻魚市場を利用する卸売人・買受人等の水産業界関係者で体系的に共有し、放射能対策への意識向上と風評被害対策として放射能情報共有システムを運用している。</p> <p>(1) 令和4年度決算 19,306千円 年間検査検体数 947検体検査済み (うち精密検査実施目安50ペクレル超過 0検体)</p> <p>※ 本市水産物の放射性物質検査体制（令和5年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器台数</th> <th>検査時間</th> <th>検査日</th> <th>検査能力</th> <th>検査人員</th> <th>検査対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻売場</td> <td>4台</td> <td>4:00～12:00</td> <td>市場開場日</td> <td>50検体/日</td> <td>2名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>牡鹿売場</td> <td>1台</td> <td>9:00～16:00</td> <td>月～金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> </tbody> </table> <p>新たに非破壊式放射能検査機器（AFT-NDA2）を購入し、石巻売場の破壊式放射能検査機器と入替えた。</p> <p>※ 放射能情報共有システムによる情報配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外海域における水産物の水揚げ自粛等情報配信 ・日々の放射性物質測定結果速報の配信 						設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象	石巻売場	4台	4:00～12:00	市場開場日	50検体/日	2名	水揚げ水産物等	牡鹿売場	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																				
設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象																																									
石巻売場	4台	4:00～12:00	市場開場日	50検体/日	2名	水揚げ水産物等																																									
牡鹿売場	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																									
成果	<p>本事業で放射性物質測定を実施することにより、宮城県内で最も充実した検査体制を備えた産地魚市場として水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定的な流通が図られた。</p> <p>1 市場流通数（魚種）及び年間検査検体数（検体）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>80魚種</td> <td>69魚種</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>4,000検体</td> <td>1,759検体</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>80魚種</td> <td>55魚種</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>4,000検体</td> <td>1,132検体</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>70魚種</td> <td>61魚種</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>3,500検体</td> <td>1,170検体</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>70魚種</td> <td>49魚種</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>1,500検体</td> <td>1,116検体</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>70魚種</td> <td>54魚種</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>1,500検体</td> <td>947検体</td> <td>63%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率	目標値	実績	H30	80魚種	69魚種	86%	4,000検体	1,759検体	44%	R1	80魚種	55魚種	69%	4,000検体	1,132検体	28%	R2	70魚種	61魚種	87%	3,500検体	1,170検体	33%	R3	70魚種	49魚種	70%	1,500検体	1,116検体	74%	R4	70魚種	54魚種	77%	1,500検体	947検体	63%
区分	成果指標		達成率																																												
	目標値	実績																																													
H30	80魚種	69魚種	86%																																												
	4,000検体	1,759検体	44%																																												
R1	80魚種	55魚種	69%																																												
	4,000検体	1,132検体	28%																																												
R2	70魚種	61魚種	87%																																												
	3,500検体	1,170検体	33%																																												
R3	70魚種	49魚種	70%																																												
	1,500検体	1,116検体	74%																																												
R4	70魚種	54魚種	77%																																												
	1,500検体	947検体	63%																																												
成果に係る評価	<p>市内魚市場等から基準を超える水産物を流通させないための検査を実施することができた。</p> <p>国の検査対象魚種は減少傾向にあるものの、国内や国外における風評被害は依然残存しており、さらにトリチウムなどを含む処理水の海洋放出の決定も受け、風評被害が加速することが懸念されている。特に、国外においては現在も多くの地域で日本産食品の輸入規制を行っているため、検査装置について計画的に非破壊式放射能測定装置に更新しながら効率的に検査を実施し、風評被害の払拭に努める必要がある。</p>																																														
予算の執行状況	（単位：円）																																														
予算額	22,102,000	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
		19,305,220				19,305,220																																									

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	県営漁港整備事業（県事業負担金）																				
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																			
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																			
	事業	県営事業負担金		(6)	水産基盤の充実を図る																			
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P71																				
目的及び事業内容	<p>宮城県が管理する漁港において、県が事業主体となり漁港を整備する事業費の一部を負担するもの。</p>																							
取組実績	<p>令和4年度実施状況</p> <p>(1) 桃ノ浦漁港、福貴浦漁港、渡波漁港の水産物供給基盤機能保全事業に対し事業費の一部を負担した。</p> <p>(2) 渡波漁港の漁港機能増進事業に対し、事業費の一部を負担した。</p>																							
成果	<p>○令和4年度は、桃ノ浦漁港、福貴浦漁港、渡波漁港に係る事業に対する負担金を支出することで、事業の推進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁港名</td> <td>審磯</td> <td>石巻鮎川</td> <td>石巻雄勝鮎川</td> <td>石巻桃ノ浦鮎川渡波</td> <td>桃ノ浦福貴浦渡波</td> </tr> <tr> <td>負担金額</td> <td>7,500千円</td> <td>53,400千円</td> <td>7,050千円</td> <td>105,000千円</td> <td>12,600千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【令和4年度実績】</p> <p>水産物供給基盤機能保全事業</p> <p>桃ノ浦漁港：事業費 20,000千円×負担率 15% =3,000千円 福貴浦漁港：事業費 15,000千円×負担率 15% =2,250千円 渡波漁港：事業費 30,000千円×負担率 15% =4,500千円</p> <p>漁港機能増進事業</p> <p>渡波漁港：事業費 19,000千円×負担率 15% =2,850千円</p> <p>計 12,600千円</p>						年度	H30	R1	R2	R3	R4	漁港名	審磯	石巻鮎川	石巻雄勝鮎川	石巻桃ノ浦鮎川渡波	桃ノ浦福貴浦渡波	負担金額	7,500千円	53,400千円	7,050千円	105,000千円	12,600千円
年度	H30	R1	R2	R3	R4																			
漁港名	審磯	石巻鮎川	石巻雄勝鮎川	石巻桃ノ浦鮎川渡波	桃ノ浦福貴浦渡波																			
負担金額	7,500千円	53,400千円	7,050千円	105,000千円	12,600千円																			
成果に係る評価	<p>宮城県が実施した石巻市内の県管理漁港における水産物供給基盤機能保全事業や漁港機能増進事業に対し、本市が事業費の一部を負担することで、漁港施設の保全や、就労環境の改善が図られた。</p>																							
予算の執行状況	（単位：円）																							
予算額	12,600,000	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
		12,600,000				12,600,000																		
						9,400,000																		
						3,200,000																		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	水産物供給基盤機能保全事業（市事業分）				
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興			
	事業	水産物供給基盤機能保全事業費		(6)	水産基盤の充実を図る			
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P71				
目的及び事業内容	本市漁港施設の機能を保全するために必要な維持管理や保全・更新工事を盛り込んだ計画を策定し、効率的な維持管理や既存施設の長寿命化対策を行い、ライフサイクルコストの縮減及び対策コストの平準化を図る。 管理漁港施設の機能保全計画の策定及び計画に基づく保全工事の実施。							
取組実績	<p>1 水産物供給基盤機能保全事業</p> <p>(1) 業務</p> <p>ア 折ノ浜漁港防波堤機能保全対策調査設計業務（単独） 内容：折ノ浜漁港現地調査・機能保全計画検討 一式 【委託料：14,963,300円】（R4現年）</p> <p>(2) 工事</p> <p>ア 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全（その2）工事（補助） 内容：水浜北防波堤新設区間鋼管杭設置、基礎捨石撤去工事等 【工事費：88,144,500円】（R3から繰越 88,144,500円）</p> <p>イ 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全（その3）工事（補助） 内容：水浜北防波堤新設区間工事 延長47.37m 【工事費：77,716,100円】 （うちR4現年47,181,300円 R3から繰越 868,700円 R5へ繰越29,666,100円）</p> <p>ウ 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全（その4）工事（補助） 内容：水浜北防波堤新設区間工事 延長23.1m 【工事費：36,325,300円】（R4現年） （うちR4現年17,270,000円 R5へ繰越19,055,300円）</p> <p>エ 熊沢漁港熊沢船揚場B機能保全工事（単独） 内容：熊沢漁港熊沢船揚場 斜路工 コンクリート工 V=4.0㎡ 【工事費：1,067,000円】（R4現年）</p> <p>オ 熊沢漁港熊沢船揚場B機能保全（その2）工事（単独） 内容：熊沢漁港熊沢船揚場 斜路工 コンクリート工 V=1.0㎡ 【工事費：352,000円】（R4現年）</p>							
成果	老朽化が進行する施設の機能保全コストの更なる縮減を図る事業であるが、近年の技術的知見の集積を踏まえ機能保全計画策定業務を行い、各施設の健全度が明確化された【A判定（機能が低下している）27施設、B判定（予防が必要）39施設】。 また、判定に基づき機能が低下している施設（水浜北防波堤・熊沢船揚場等）の機能保全工事を進めることができた。							
成果に係る評価	本事業は、令和元年度より計画策定の取り組みを開始し、機能が損なわれている施設及び低下した施設を明確化し、計画的に保全工事を実施し施設の強化につなげることができる事業である。 健全度が明確化されたことにより、機能保全工事を実施すべき箇所を適正に判断することが可能となり、工事を進めることができた。 A、B判定の66施設の内、4施設完了（水浜分浜漁港北防波堤は令和4年度まで継続）。							
予算の執行状況	（単位：円）							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
169,847,500	169,846,800	76,732,000	70,400,000		22,714,800			

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	漁港施設改良事業				
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興			
	事業	漁港施設改良事業費		(6)	水産基盤の充実を図る			
担当部課	産業部水産課	実施計画掲載ページ		P71				
目的及び事業内容	復旧事業完了後の、漁港利用状況の変化及び自然条件の変化に対応した漁港施設の機能強化・改良・整備を行う事業。							
取組実績	<p>1 漁港施設改良事業</p> <p>(1) 業務</p> <p>ア 長面漁港航路等浚渫図面作成業務（補助） 内容：設計図面、数量計算書、設計図書作成 一式【委託料：770,000円】 R4現年</p> <p>イ 泊漁港西船揚場測量設計業務（補助） 内容：設計図面、数量計算書、設計図書作成 一式【委託料：4,987,400円】 R4現年</p> <p>ウ 小網倉漁港船揚場測量設計業務（補助） 内容：設計図面、数量計算書、設計図書作成 一式【委託料：9,566,700円】 R4現年</p> <p>(2) 工事</p> <p>ア 小淵漁港海岸保全施設陸開電動化工事（補助） 内容：小淵3号陸開電動化・1基【工事費：70,400,000円】 （うちR4現年支出額 31,680,000円 R5へ繰越した額 38,720,000円）</p> <p>イ 北上漁港（小滝地区）-2.0m物揚場潜り込み防止柵設置工事（補助） 内容：潜り込み防止柵設置・103基【工事費：5,698,000円】 R4現年</p> <p>ウ 牧ノ浜漁港防波堤簡易標識灯設置工事（補助） 内容：簡易標識灯設置・1基【工事費：605,000円】 R4現年</p> <p>エ 小竹浜漁港船揚場（51）浚渫等工事（補助） 内容：掘削工・V=112㎡【工事費：704,000円】 R4現年</p>							
成果	小淵漁港ほか計3漁港の機能強化・改良工事を実施した。							
成果に係る評価	潜り込み防止柵設置工事、簡易標識灯設置工事、浚渫等工事など機能強化・改良工事の実施に伴い、漁港施設利用者の施設使用の安全に資することができた。							
予算の執行状況	（単位：円）							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
57,247,000	54,011,100	26,366,000	25,200,000		2,445,100			

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	水産業従業員宿舍整備支援事業〔復興基金〕																																
	3 項	水産業費	総合計画	第 章																																
	6 目	東日本大震災関係費		第 節																																
	事業	水産業復興対策費		()																																
担当部課	産産部水産課	実施計画掲載ページ																																		
目的及び事業内容	東日本大震災により被害を受けた本市の基幹産業の水産業の生産能力向上のため、中小水産業者等が実施する従業員確保（外国人実習生含む）のための宿舍整備を宮城県と協調して支援することにより、水産業の復興を促進するもの。 従業員の宿舍を整備するため、宮城県が実施する「水産業従業員宿舍整備事業費補助金」に対する嵩上げ補助を行うもの。																																			
取組実績	<p>1 令和4年度事業実績</p> <p>令和2年度に宮城県の公募事業に採択された事業者のうち石巻市内の事業者は13者あり、令和2年度内に1者完了し、未完了の12者のうち8者が令和3年度内に完了したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で資材等が確保できない等の理由で未完了ととなった4者は、令和4年度へ事故繰越となっている。</p> <p>その4者のうち2者は、事業が完了したため補助金を交付したが、残りの2者は、資材高騰による事業費増の影響で計画どおり事業が進捗できず、補助金申請を取り下げた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付決定</th> <th>事業完了</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13者</td> <td>1者</td> <td>2,100,000円</td> <td>525,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td> <td>8者</td> <td>250,304,250円</td> <td>55,166,713円</td> <td>繰越明許</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2者取下げ</td> <td>2者</td> <td>66,623,080円</td> <td>16,180,000円</td> <td>事故繰越</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11者</td> <td>11者</td> <td>319,027,330円</td> <td>71,871,713円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備考	令和2年度	13者	1者	2,100,000円	525,000円		令和3年度		8者	250,304,250円	55,166,713円	繰越明許	令和4年度	2者取下げ	2者	66,623,080円	16,180,000円	事故繰越	合計	11者	11者	319,027,330円	71,871,713円	
年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備考																															
令和2年度	13者	1者	2,100,000円	525,000円																																
令和3年度		8者	250,304,250円	55,166,713円	繰越明許																															
令和4年度	2者取下げ	2者	66,623,080円	16,180,000円	事故繰越																															
合計	11者	11者	319,027,330円	71,871,713円																																
成果	<p>東日本大震災により被害を受けた本市水産業の雇用回復のため、中小の水産事業者等が従業員（外国人実習生含む）確保のための宿舍整備に対し、平成27年度から、宮城県が補助事業を実施してきた。本市においても嵩上げ補助を実施することで、事業者の負担が軽減され、本事業の利用が促進され、水産事業者の雇用環境が整備された。</p> <p>令和4年度は、事故繰越となっていた4者のうち2者が、資材高騰の影響を受け申請取り下げとなったが、完了した2者に補助金を交付し事業が完了した。</p>																																			
成果に係る評価	<p>震災後、漁業従事者及び水産加工業従業員の確保が課題となっており、各事業者においても、課題解決に向け労働環境の整備や外国人技能実習生の受入に取り組んできたところである。各事業者が行う雇用対策と並行し、本事業を通して自社の宿舍が整備できたことで、従業員の生活環境の充実と住環境整備にかかる経費の軽減が図られた。平成27年度の事業開始から累計で47者が宿舍の整備を完了し、本市水産業の雇用対策促進と経営安定化の一助となったと評価できる。</p>																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
予算額	30,106,390	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
		16,180,000			16,180,000																															

予算科目	7 款	商工費	事業名	石巻フード見本市開催事業																																
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																															
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																															
	事業	商工業振興事業費		(3)	地域ブランドを育成する																															
担当部課	産産部商工課	実施計画掲載ページ		P 66																																
目的及び事業内容	食料供給地である石巻地域を全国に発信することを目的に開催される、「石巻フード見本市」を支援するための補助金を交付し、企業における商品の生産・流通の再生と石巻地域における優れた地域食料の販路開拓と販路拡大を目的とする。																																			
取組実績	<p>1 石巻フード見本市</p> <p>(1) 日 程 令和5年3月3日</p> <p>(2) 会 場 石巻魚市場</p> <p>(3) 主 催 石巻フード見本市実行委員会（石巻商工会議所）</p> <p>(4) 対象者 （出展業者）石巻地域の食品製造加工業者等 （参加業者）県内外の量販店・百貨店・外食産業・ホテル関係・市場関係業者等の水産関連バイヤー・食品関連業者等</p>																																			
成果	<p>例年、塩竈市等と同日に連携し開催されていたフード見本市であるが、3年ぶりとなった令和4年度は単独開催となった。新型コロナウイルス感染症拡大後の開催とあって、以前よりバイヤー数は減ったものの、石巻市の新商品や加工技術を全国へ発信することができた。</p> <p>当日は多くのバイヤーが商品を手にとって確認している様子が見られ、事務局（商工会議所）が実施したアンケートにも「展示が見やすかった」「新たな商品を発見できた」「石巻のトレンドを知ることができた」などポジティブな意見が寄せられ、石巻地域の魅力発信がなされた。</p> <p>◎参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>出展事業者数</th> <th>会社数</th> <th>人数</th> <th>商談件数</th> <th>商談成立数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>30社</td> <td>480社</td> <td>1,000人</td> <td>100件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td colspan="5">中止</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td colspan="5">中止</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>29社</td> <td>160社</td> <td>380人</td> <td>100件</td> <td>23件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	出展事業者数	会社数	人数	商談件数	商談成立数	R1	30社	480社	1,000人	100件	10件	R2	中止					R3	中止					R4	29社	160社	380人	100件	23件
年度	出展事業者数	会社数	人数	商談件数	商談成立数																															
R1	30社	480社	1,000人	100件	10件																															
R2	中止																																			
R3	中止																																			
R4	29社	160社	380人	100件	23件																															
成果に係る評価	<p>コロナ禍で2年間開催が見送られた本事業であるが、来場するバイヤー数は減少し、依然としてコロナ禍の影響を受ける結果となった。</p> <p>しかしながら、商談件数は横ばいで推移し、商談成立数に至っては前回を大きく上回る結果となった。コロナ禍により、オンライン商談の増加等もあってバイヤーが直接現地を訪れる機会が減った中、商品だけでなく、産地である石巻市を発信する有効な機会となった。</p>																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
予算額	1,000,000	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
		1,000,000			1,000,000																															

予算科目	7 款	商工費	事業名		商業団体支援事業																																											
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																												
	2 目	商工業振興費		第 1 節 賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																												
	事業	商工業振興事業費		(4) 中心市街地活性化を推進する																																												
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 67																																												
目的及び事業内容	地方を取り巻く厳しい経済情勢の中、市内における地域商工業の総合的な改善・発達を図るために重要な組織である商工会議所、商工会に対し補助金を交付することで、市内商工業者の振興・育成、地域商工業の発展だけでなく、社会情勢の影響によって変動する地域経済への支援に資することを目的としている。																																															
取組実績	<p>1 商工業振興対策事業費補助金 3,000,000円 既存産業の振興育成、中心市街地活性化に係る各種事業等に対する石巻商工会議所への補助</p> <p>2 中小企業振興対策事業費補助金 3,000,000円 中小企業相談所における経営改善普及事業（経営指導員による巡回相談、窓口相談等による金融、経営等の指導育成事業）に対する石巻商工会議所への補助</p> <p>3 商工会事業費補助金 22,090,000円 各地域の小規模事業者の経営改善普及事業、一般指導事業に対する各商工会への補助</p> <p>(1) 石巻市牡鹿稲井商工会 5,020,000円 (2) 石巻かほく商工会 9,070,000円 (3) 河南桃生商工会 8,000,000円</p>																																															
成果	<p>商工会議所及び3商工会では積極的に巡回指導を行い、経営分析や財務分析、事業計画策定の問題、課題解決のための支援を行った。</p> <p>集団指導については、コロナ禍で開催を縮小したが、通常業務のほかに新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対して、各機関の支援制度の相談窓口を設置し、資金繰りや補助金申請等の経営相談を行った。</p> <p>※令和4年度の商工会議所・3商工会会員数及び指導件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>石巻商工会議所</th> <th>石巻市牡鹿稲井商工会</th> <th>石巻かほく商工会</th> <th>河南桃生商工会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末会員数</td> <td>2,165 人</td> <td>278 人</td> <td>440 人</td> <td>446 人</td> <td>3,329 人</td> </tr> <tr> <td>指導件数</td> <td>7,109 件</td> <td>2,957 件</td> <td>3,172 件</td> <td>2,736 件</td> <td>15,974 件</td> </tr> <tr> <td>巡回指導件数</td> <td>1,252 件</td> <td>720 件</td> <td>1,354 件</td> <td>1,894 件</td> <td>5,220 件</td> </tr> <tr> <td>窓口指導件数</td> <td>3,301 件</td> <td>2,138 件</td> <td>1,583 件</td> <td>749 件</td> <td>7,771 件</td> </tr> <tr> <td>集団指導件数</td> <td>2,283 件</td> <td>26 件</td> <td>23 件</td> <td>61 件</td> <td>2,393 件</td> </tr> <tr> <td>個別指導件数</td> <td>273 件</td> <td>73 件</td> <td>212 件</td> <td>32 件</td> <td>590 件</td> </tr> </tbody> </table>						区分	石巻商工会議所	石巻市牡鹿稲井商工会	石巻かほく商工会	河南桃生商工会	合計	年度末会員数	2,165 人	278 人	440 人	446 人	3,329 人	指導件数	7,109 件	2,957 件	3,172 件	2,736 件	15,974 件	巡回指導件数	1,252 件	720 件	1,354 件	1,894 件	5,220 件	窓口指導件数	3,301 件	2,138 件	1,583 件	749 件	7,771 件	集団指導件数	2,283 件	26 件	23 件	61 件	2,393 件	個別指導件数	273 件	73 件	212 件	32 件	590 件
区分	石巻商工会議所	石巻市牡鹿稲井商工会	石巻かほく商工会	河南桃生商工会	合計																																											
年度末会員数	2,165 人	278 人	440 人	446 人	3,329 人																																											
指導件数	7,109 件	2,957 件	3,172 件	2,736 件	15,974 件																																											
巡回指導件数	1,252 件	720 件	1,354 件	1,894 件	5,220 件																																											
窓口指導件数	3,301 件	2,138 件	1,583 件	749 件	7,771 件																																											
集団指導件数	2,283 件	26 件	23 件	61 件	2,393 件																																											
個別指導件数	273 件	73 件	212 件	32 件	590 件																																											
成果に係る評価	後継者不足や新型コロナウイルス感染症の影響等、地域事業者を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるが、巡回指導や窓口相談等による金融、経営等の指導育成を図る経営改善普及事業だけでなく、コロナ禍に喘ぐ地元事業者の支援を行うことで、地域商工業の振興に資することができた。																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	28,090,000	28,090,000				28,090,000																																										

予算科目	7 款	商工費	事業名		物産PR・イベント事業																									
	1 項	商工費	総合計画	第 章																										
	2 目	商工業振興費		第 節																										
	事業	物産振興事業費		()																										
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ																												
目的及び事業内容	県内外各地で開催されるイベント等の場において、石巻市の物産やイベント等のPRを実施し購買促進を図る。 地場産品の紹介や現地での販売により、販路拡大を促進し、地場産業の振興を図る。																													
取組実績	<p>本市特産品のPR及び販売促進を実施した。</p> <p>1 物産PR等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三陸花火大会2022</td> <td>岩手県陸前高田市</td> <td>4月29日</td> <td>10,000人</td> </tr> <tr> <td>三陸花火大会2022（日本遺産）</td> <td>岩手県陸前高田市</td> <td>10月8日</td> <td>12,000人</td> </tr> <tr> <td>小安峽海の市</td> <td>秋田県湯沢市</td> <td>10月22日、23日</td> <td>3,500人</td> </tr> <tr> <td>2022太田スボレク祭</td> <td>群馬県太田市</td> <td>10月22日、23日</td> <td>180,000人</td> </tr> <tr> <td>第46回上杉雪灯籠祭り</td> <td>山形県米沢市</td> <td>2月12日、13日</td> <td>101,000人</td> </tr> </tbody> </table>						名称	場所	開催日	入込数等	三陸花火大会2022	岩手県陸前高田市	4月29日	10,000人	三陸花火大会2022（日本遺産）	岩手県陸前高田市	10月8日	12,000人	小安峽海の市	秋田県湯沢市	10月22日、23日	3,500人	2022太田スボレク祭	群馬県太田市	10月22日、23日	180,000人	第46回上杉雪灯籠祭り	山形県米沢市	2月12日、13日	101,000人
名称	場所	開催日	入込数等																											
三陸花火大会2022	岩手県陸前高田市	4月29日	10,000人																											
三陸花火大会2022（日本遺産）	岩手県陸前高田市	10月8日	12,000人																											
小安峽海の市	秋田県湯沢市	10月22日、23日	3,500人																											
2022太田スボレク祭	群馬県太田市	10月22日、23日	180,000人																											
第46回上杉雪灯籠祭り	山形県米沢市	2月12日、13日	101,000人																											
成果	コロナ禍において、観光物産PRの場は限られたが、感染症対策を講じながら、石巻観光協会や宮城県と連携し、物産展やイベント等に参加し、市産品のPRを実施した。 いしびよんず登場やノベルティ配布等により、集客を促進し効果的なPRを行うことで、販路拡大の促進や地場産業の振興が図られた。																													
成果に係る評価	本事業は、地場産品及び伝統工芸品の販路拡大、産地間の交流に寄与しており、継続的な取組みが必要である。 今後も積極的な物産PR等の実施により、本市の知名度の向上及び地場産品のブランド化を推進するとともに、産地消の取組みを推進することで地域産業の活性化に繋げていく。																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	1,299,000	963,540				963,540																								

予算科目	7 款	商工費	事業名 伝統技術継承支援事業（伝統工芸品支援事業）			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	物産振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
実施計画掲載ページ				P78		
担当部課	産業部観光課					
目的及び事業内容	雄勝硯生産販売協同組合に対し年次計画を柱に実施される事業活動への支援を行い、後継者に対する技術指導を行うほか、各種展示会や物産展に参加し国指定伝統工芸品の販路拡大、開拓を図るなど、伝統工芸品のPR事業を実施することにより、伝統技術の継承と地場産業の振興を図る。					
取組実績	<p>1 雄勝硯、雄勝石工芸品のPR、販路拡大を行うことによる振興事業</p> <p>(1) 共同事業：製品の共同販売や原材料の共同購入</p> <p>(2) 共同検査事業：品質保持のための共同販売製品検査、後継者への指導育成と商品検品方法伝授</p> <p>(3) 共同広告事業：統一広告媒体の制作 (硯等の新商品の開発に伴う、新しい商品カタログの作成やホームページのリニューアル)</p> <p>(4) 産業振興事業：物産展への出店（実演販売等）、ネット販売強化策として楽天市場への出店、雄勝石を活用したワークショップの開催</p> <p>2 教育情報提供による後継者育成事業 組合員等を対象にした技術向上研修や後継者への技術継承活動の実施</p> <p>令和4年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要開拓 関東1回 県内2回 延べ35日 ・ワークショップ（My硯製作体験） 3回 ・その他、硯製作技術研修会 30回 					
成果	販路拡大に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により計画どおりにいかない部分もあったが、技術継承に重点をシフトし実施してきたことは大きな成果であり、また、ネット販売強化策として、新たに楽天市場に出店したことにより、今後の売上増加が期待でき、伝統技術の継承と地場産業の振興が図られた。					
成果に係る評価	雄勝石産業の振興を図るため組合の事業基盤の強化に努めるとともに、事業継承を円滑に行うために後継者育成を実施し、県内外において雄勝硯や石工芸品等の需要拡大を目的とした展示、販売を行っている。 また、県内外での物産展など積極的に参加し、販路拡大のPR活動を行ったほか、My硯製作体験といった手作りの技と伝統文化に接する機会を提供することができた。 今後、道の駅「硯上の里おがつ」内にあるメリットを生かし、これまで以上に雄勝硯伝統産業会館を有効活用できるような取組に期待したい。					
予算の執行状況	（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,500,000	1,500,000			1,000,000	500,000

予算科目	7 款	商工費	事業名 伝統産業育成支援事業（文房四宝まつり）			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	物産振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
実施計画掲載ページ				P78		
担当部課	産業部観光課					
目的及び事業内容	古来より書斎において大切にされた、文房四宝「筆・墨・硯・紙」の産地（広島県熊野町・三重県鈴鹿市・宮城県石巻市・鳥取県鳥取市）の地域間交流を通じて、伝統的工芸品を広く紹介し、日本の生活と風土に根ざした、手作りの技と伝統文化に接する機会を提供することにより、伝統的工芸品に対する理解と認識を高め、産業の振興を図る。 各工芸品の実演や商品PR、販売を一堂に会して実施するものであり、各産地持ち回りで2年ごとに開催され、令和4年度は本市を会場に開催された。					
取組実績	<p>雄勝硯、雄勝石工芸品の実演等によるPR、販売事業</p> <p>1 第21回文房四宝まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和4年10月22日（土）～23日（日） ・会場 雄勝硯伝統産業会館 <p>(1) 伝統の技の実演 雄勝硯製作実演、鈴鹿墨型入れ実演、熊野筆製作実演、 佐治因州和紙すき実演</p> <p>(2) 展示・販売 筆・墨・硯・紙など</p> <p>(3) 製作体験 各産地の工人から指導を受けながらの製作体験</p> <p>(4) 文房四宝まつり特別展「墨祭（すみふえす）」 書道展及び書道パフォーマンス（NPO法人みんな一書、地元高校生）</p> <p>(5) 文房四宝まつり特別企画「技・美と観」パネルディスカッション 各産地の代表者と書道家矢野きよ実氏による観光戦略</p> <p>来場者実績</p> <p>令和4年10月22日 450人 令和4年10月23日 572人 合計1,022人</p>					
成果	報道機関等とタイアップした宣伝活動を展開できたことから、効果的な観光PRとともに販路の拡大につながり、地域経済の活性化と地場産業の振興が図られた。					
成果に係る評価	本事業により、伝統工芸品の販路拡大、産地間の交流に寄与している。今後は東京会場での開催を目指す意見もあることから各産地間での十分な協議、調整や成果の検証が求められる。 また、雄勝硯や石工芸品等のPRを展開し、販路拡大はもちろんのこと、少しでも雄勝石等に興味を持つ若者に対して積極的にアピールし、後継者育成に繋がる工夫が必要である。					
予算の執行状況	（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,690,000	2,689,965				2,689,965

予算科目	7 款	商工費	事業名	産業振興対策事業																								
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																							
	2 目	商工業振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出																							
	事業	産業振興事業費		(2)	新規創業や第二創業を促進する																							
担当部課	産業部産業推進課	実施計画掲載ページ		P 82																								
目的及び事業内容		金融機関等の支援事業者と連携しながら、本市独自の補助制度により創業希望者への経費支援を行うとともに、市内事業者を対象とした各種相談会や中小企業セミナー、ISHINOMAKI トライアルマーケット等の開催により、新規創業の促進と産業の振興を図る。																										
取組実績		<p>令和4年度は、本市独自の支援制度である「石巻市創業支援補助金制度」、業務委託先の石巻産業創造塾が実施する無料の相談会や各種セミナーに加え、新たな創業支援事業として市内の創業者を対象にテスト販売や事業PRの機会を設けたISHINOMAKI トライアルマーケットを開催した。</p> <p>1 各種創業支援等事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の開設 延べ利用者：57者（うち創業関連：延べ20者） 起業・経営等相談会 延べ利用者：27者（うち創業関連：延べ10者） <p>2 石巻市創業支援補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> 16件 10,501,253円（内訳：新規申請11件 7,925,970円 継続申請5件 2,575,283円） <p>3 中小企業・創業機運醸成セミナーの実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コロナ禍での事業拡大セミナー</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>チラシの作り方講座</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>POPで商品アピールセミナー</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>SNS活用実践講座</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>副業に一步踏み出すセミナー</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>アントレプレナーセミナー</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 若手経営者育成のための経営革新塾の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 6回（1クール）開催 12名参加 <p>5 ISHINOMAKI トライアルマーケットの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時：令和4年11月12日（土）、13日（日） 10時～18時 開催場所：イオンモール石巻催事場 出店事業者：11者 来場者数：計 1,194人 						内容	参加者数	コロナ禍での事業拡大セミナー	13人	チラシの作り方講座	13人	POPで商品アピールセミナー	12人	SNS活用実践講座	17人	副業に一步踏み出すセミナー	20人	アントレプレナーセミナー	40人							
内容	参加者数																											
コロナ禍での事業拡大セミナー	13人																											
チラシの作り方講座	13人																											
POPで商品アピールセミナー	12人																											
SNS活用実践講座	17人																											
副業に一步踏み出すセミナー	20人																											
アントレプレナーセミナー	40人																											
成果		<p>令和4年度の創業支援事業の実施により創業した件数は14件であった。</p> <p>成果として、直近5年間（平成30年度から令和4年度まで）に特定創業支援等事業により支援を受けたことの証明書を発行した創業者のもとで働く従業員（雇用者）の人数は令和5年3月末時点で119人であり、新規創業の促進と合わせて雇用創出が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和4年度創業件数の内訳</th> <th colspan="3">証明書発行者の令和4年度創業状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卸売業、小売業</td> <td>4 件</td> <td rowspan="2">売上高 (決算額)</td> <td rowspan="2">営業利益 (決算額)</td> <td rowspan="2">雇用者数</td> </tr> <tr> <td>宿泊業、飲食サービス業</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>生活関連サービス業、娯楽業</td> <td>6 件</td> <td rowspan="3">939,573,504円</td> <td rowspan="3">208,347,412円</td> <td rowspan="3">119人</td> </tr> <tr> <td>製造業、建設業</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14 件</td> </tr> </tbody> </table>						令和4年度創業件数の内訳		証明書発行者の令和4年度創業状況			卸売業、小売業	4 件	売上高 (決算額)	営業利益 (決算額)	雇用者数	宿泊業、飲食サービス業	2 件	生活関連サービス業、娯楽業	6 件	939,573,504円	208,347,412円	119人	製造業、建設業	2 件	合計	14 件
令和4年度創業件数の内訳		証明書発行者の令和4年度創業状況																										
卸売業、小売業	4 件	売上高 (決算額)	営業利益 (決算額)	雇用者数																								
宿泊業、飲食サービス業	2 件																											
生活関連サービス業、娯楽業	6 件	939,573,504円	208,347,412円	119人																								
製造業、建設業	2 件																											
合計	14 件																											
成果に係る評価		<p>市内金融機関や産業支援機関等で構成する「石巻市創業支援事業者連携会議」における支援情報の共有を密に行いながら、各支援事業者の役割分担のもと、創業支援と創業後のフォローアップを実施することができた。</p> <p>また、創業支援補助金については本市の「補助金の見直し指針（平成20年5月）」で示されている適正規模の補助率とするために交付基準（補助率）を見直した。</p> <p>さらに、新たな創業支援事業としてISHINOMAKI トライアルマーケットを実施し、好評をいただいたことから、令和5年度は実施回数を2回に増やす予定である。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	22,942,371	20,471,240			10,501,253	9,969,987																						

予算科目	7 款	商工費	事業名	融資あっせん制度事業																																			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																		
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																		
	事業	中小企業等融資関係費		(1)	事業者への経営支援を行う																																		
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 65																																			
目的及び事業内容		<p>事業資金を必要とする中小企業事業者への経済対策として、制度融資を実施するもの。</p> <p>市が預託する資金を元に、中小企業融資（一般資金）は預託金額の10倍、小企業小口融資は5倍の融資枠を設定するとともに、中小企業融資（一般資金）は保証料を50%、小企業小口融資は100%補給することにより、安定した事業運営を支援している。</p> <p>また、令和2年度まで実施した中小企業融資（災害関連枠）について、3年間の利子補給を実施中である。加えて、令和3年度に大規模災害発生時に迅速に融資実行できるよう中小企業融資（災害対応資金）を創設した。</p>																																					
取組実績		<p>金融機関に預託金を差し入れるとともに、保証料及び利子の補給、損失補償金を支出した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>預託額</th> <th>保証料補給</th> <th>利子補給</th> <th>損失補償金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業融資（一般）</td> <td>270,000,000円</td> <td>23,362,956円</td> <td>—</td> <td>178,726円</td> </tr> <tr> <td>中小企業融資（災害関連枠）</td> <td>365,000,000円</td> <td>324,975円</td> <td>43,731,939円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>小企業小口融資</td> <td>10,000,000円</td> <td>6,824円</td> <td>—</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>中小企業災害等資金利子補給金</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4,976,830円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>645,000,000円</td> <td>23,694,755円</td> <td>48,708,769円</td> <td>178,726円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中小企業融資（災害関連枠）は令和2年度で終了</p> <p>※災害対応資金は、発動がなかったため100,000,000円は未預託</p> <table border="1"> <tr> <td>総合計</td> <td>717,582,250円</td> </tr> </table>						区分	預託額	保証料補給	利子補給	損失補償金	中小企業融資（一般）	270,000,000円	23,362,956円	—	178,726円	中小企業融資（災害関連枠）	365,000,000円	324,975円	43,731,939円	0円	小企業小口融資	10,000,000円	6,824円	—	0円	中小企業災害等資金利子補給金	—	—	4,976,830円	—	合計	645,000,000円	23,694,755円	48,708,769円	178,726円	総合計	717,582,250円
区分	預託額	保証料補給	利子補給	損失補償金																																			
中小企業融資（一般）	270,000,000円	23,362,956円	—	178,726円																																			
中小企業融資（災害関連枠）	365,000,000円	324,975円	43,731,939円	0円																																			
小企業小口融資	10,000,000円	6,824円	—	0円																																			
中小企業災害等資金利子補給金	—	—	4,976,830円	—																																			
合計	645,000,000円	23,694,755円	48,708,769円	178,726円																																			
総合計	717,582,250円																																						
成果		<p>上記事業の実施により、市内中小企業の経営の維持安定及び振興発展が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">融資条件</th> <th colspan="2">融資状況</th> <th colspan="2">債務残高</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業融資（一般）</td> <td>(1)限度額：2,000万円 (2)期間：運転7年、設備10年、併用7年（据置期間1年以内） (3)利率：年1.9%（1年以内1.5%） (4)保証料補給：信用保証料50%</td> <td>191件</td> <td>1,507,747千円</td> <td>302件</td> <td>1,806,413千円</td> </tr> <tr> <td>中小企業融資（災害関連枠）</td> <td>(1)限度額：1,000万円 (2)期間：10年（据置期間2年以内） (3)利率：年1.5% (4)保証料補給：信用保証料50% (5)利子補給：利子100%（3年に限る）</td> <td></td> <td></td> <td>314件</td> <td>2,234,472千円</td> </tr> <tr> <td>小企業小口融資</td> <td>(1)限度額：350万円 (2)期間：運転5年、設備7年、併用5年（据置期間6か月以内） (3)利率：年1.85%（1年以内1.45%） (4)保証料補給：信用保証料100%</td> <td>1件</td> <td>1,000千円</td> <td>4件</td> <td>4,754千円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	融資条件	融資状況		債務残高		件数	金額	件数	金額	中小企業融資（一般）	(1)限度額：2,000万円 (2)期間：運転7年、設備10年、併用7年（据置期間1年以内） (3)利率：年1.9%（1年以内1.5%） (4)保証料補給：信用保証料50%	191件	1,507,747千円	302件	1,806,413千円	中小企業融資（災害関連枠）	(1)限度額：1,000万円 (2)期間：10年（据置期間2年以内） (3)利率：年1.5% (4)保証料補給：信用保証料50% (5)利子補給：利子100%（3年に限る）			314件	2,234,472千円	小企業小口融資	(1)限度額：350万円 (2)期間：運転5年、設備7年、併用5年（据置期間6か月以内） (3)利率：年1.85%（1年以内1.45%） (4)保証料補給：信用保証料100%	1件	1,000千円	4件	4,754千円				
区分	融資条件	融資状況		債務残高																																			
		件数	金額	件数	金額																																		
中小企業融資（一般）	(1)限度額：2,000万円 (2)期間：運転7年、設備10年、併用7年（据置期間1年以内） (3)利率：年1.9%（1年以内1.5%） (4)保証料補給：信用保証料50%	191件	1,507,747千円	302件	1,806,413千円																																		
中小企業融資（災害関連枠）	(1)限度額：1,000万円 (2)期間：10年（据置期間2年以内） (3)利率：年1.5% (4)保証料補給：信用保証料50% (5)利子補給：利子100%（3年に限る）			314件	2,234,472千円																																		
小企業小口融資	(1)限度額：350万円 (2)期間：運転5年、設備7年、併用5年（据置期間6か月以内） (3)利率：年1.85%（1年以内1.45%） (4)保証料補給：信用保証料100%	1件	1,000千円	4件	4,754千円																																		
成果に係る評価		<p>令和4年度の融資実績は、中小企業融資（一般）が191件、小企業小口融資が1件であった。新たに創設した災害対応資金の発動はない。</p> <p>令和3年度45件であった中小企業融資（一般）は、新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策として本事業とは別に保証料の補助を行った関係から、件数・債務残高とも、大幅に増加した。今後も市内中小企業の実情に鑑み、条件等を検討しながら、引き続き事業を継続していく必要がある。</p>																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	841,180,533	717,582,250	32,800		649,728,961	67,820,489																																	

予算科目	7 款	商工費	事業名	中心市街地賑わい創出事業			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興		
	事業	中心市街地活性化事業費		(4)	中心市街地活性化を推進する		
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 67			
目的及び事業内容	中心市街地において、イベント開催への支援や空き地・空き店舗を活用した新規出店を促すことで賑わいを創出するとともに、交流人口の拡大と来訪者の回遊性向上を図る。						
取組実績	<p>中心市街地賑わい創出事業の実績</p> <p>1 街なかイベント開催助成金 (1) 助成件数 3件 (2) 助成額 537,982円</p> <p>2 マンガロード新名物創出サポート業務委託料 990,000円</p> <p>3 マンガロード新名物創出事業補助金 (1) 助成件数 1件 (2) 助成額 94,000円</p> <p>4 空き地・空き店舗活用助成金 (1) 助成件数 5件 (2) 助成額 5,387,000円</p>						
成果	<p>事業の実施により、中心市街地の賑わい創出が図られた。</p> <p>1 街なかイベント開催助成金 駅前や橋通り等において、助成金を活用したイベントが行われたことで、中心市街地に多くの市民や観光客が訪れ、交流人口の拡大が図られた。</p> <p>2 マンガロード新名物創出サポート業務委託料 キャラクター使用等著作権者との交渉が必要となることから、隣街づくりまんぼうに事業者へのサポート業務を委託しており、5事業者と新商品開発に係る企画検討を行い、1件商品化することができた。</p> <p>3 マンガロード新名物創出事業補助金 マンガを活かした中心市街地の新名物となる商品を開発することができ、テレビやインターネットで取り上げられるなど、中心市街地の認知度向上につながった。</p> <p>4 空き地・空き店舗活用助成金 空き地や空き店舗等の遊休不動産を有効活用した劇場や鮮魚店が開業し、中心市街地の賑わい創出に寄与することができた。</p>						
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に落ち着きが見られる中、中心市街地における空き地・空き店舗の活用やイベント開催の促進が図られたことで、街なかの賑わい創出に繋がった。</p> <p>しかしながら、長期に渡ったコロナ禍の影響は大きく、イベント数が減少している状況にあることから、本事業の継続によりイベント等を後押しし、中心市街地の賑わい創出及び交流人口の拡大を図っていく。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	9,382,000	7,008,982				7,008,982	

予算科目	7 款	商工費	事業名	地方創生RPGアプリにおける地域賑わい創出事業								
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち							
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興							
	事業	中心市街地活性化事業		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する							
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 77								
目的及び事業内容	<p>本市を舞台にした、スマートフォン向けのRPG（ロールプレイングゲーム）アプリを活用し、観光施設や地場産品、史跡や歴史などの地域資源とともに、震災から復興を遂げた本市の姿を国内外へと広く発信する。</p> <p>アプリの内容は、ユーザーがゲームの世界の石巻を旅しながら、本市の民話・産業・史跡・施設・食文化などに触れられる内容とし、また、本市への来訪を誘引するため、市内観光施設等で使用できるクーポンの搭載やGPS通信スポットを設定し、地域経済の活性化を図っていく。</p>											
取組実績	<p>アプリの認知度向上や人気獲得に向けて、各種プロモーションを行った。</p> <p>また、観光客や交流人口の増加に向けて、クーポン協力店舗の公募を行った。</p> <p>1 プロモーション ・南あわじ市（淡路島RPG）との共同プロモーションとして、「アプリではじまるキズナ展」を実施（期間：R4/3/26～R4/4/10）市役所1階及びわかまち交流センターにて、石巻及び淡路島のRPGポスターや紹介パネルを設置した。 ・コスプレや街歩きを行う「まきコミ祭」（R4/10/9）とコラボレーションし、キャラクターのスタンラリーを開催したほか、ブースの設置、イベントに併せてGPSスポット2か所を追加した。 ・東京新宿駅で行われた「ヒューマンライフフェスタ」（R4/11/19）にて、本市の観光プロモーションと併せてキズナファンタジアブースを設けプロモーションの実施を行った。 ・石巻魚市場で開催された「石巻フード見本市」にて特設ブースを設け、本市の観光PRと併せてアプリのプロモーションを実施した。</p> <p>2 クーポン協力店舗の公募 公募により7店舗を追加し、従前の22店舗と併せて合計29店舗で利用が可能となった。</p> <p>3 石巻専修大学との地域連携事業 石巻専修大学と「RPGキズナファンタジアを活用した若者の郷土理解の促進と地域振興の可能性」と題した共同研究を行い、郷土理解の効果を測定するため、学生によるゲームのプレイ前後で石巻への興味関心が高まるか、市外出身者と市内出身者に分類して検証した。</p>											
成果	<p>1 令和5年3月末時点での各種数値は以下のとおり。</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) ダウンロード数</td> <td>24,666件</td> </tr> <tr> <td>(2) GPSスポット別押下数（全20か所）</td> <td>3,321回</td> </tr> <tr> <td>(3) クーポン利用（グッズ提供）数（全29か所）</td> <td>444回（個）</td> </tr> </table> <p>2 石巻専修大学との地域連携事業 石巻専修大学との連携事業による共同研究では、市外出身の方が石巻市への興味関心度が増加傾向にあることが判明。また、学生からの意見では、内容はストーリー性があって面白いゲームであるが、ゲームのプレイに至るまでの動機付けが弱いことなどが指摘された。</p>						(1) ダウンロード数	24,666件	(2) GPSスポット別押下数（全20か所）	3,321回	(3) クーポン利用（グッズ提供）数（全29か所）	444回（個）
(1) ダウンロード数	24,666件											
(2) GPSスポット別押下数（全20か所）	3,321回											
(3) クーポン利用（グッズ提供）数（全29か所）	444回（個）											
成果に係る評価	<p>配信開始から2年が経過し、配信開始直後と比べて話題性が無くなってきたことから、上記の研究結果を踏まえた今後の効果的なプロモーション方法を検討していく必要がある。</p> <p>また、本アプリの制作目的の一つでもある、市民の地域理解の促進や郷土愛の醸成に向けた新たな活用方法を見出していく必要がある。</p>											
(単位：円)												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源						
	990,000	990,000				990,000						

予算科目	7 款	商工費	事業名	地域の宝研究開発事業																																
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																															
	2 目	商工業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																															
	事業	地域の宝研究開発事業費		(4)	石巻産農畜産物のブランド化を推進する																															
担当部課	産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 75																																
目的及び事業内容	<p>本市の地域の宝となる新たな特産品の研究・開発を行い、基幹産業である農林水産業の振興を図るため、栽培技術の習得と生産体制の確立を目指していく。市のオリーブ加工施設を市内の農業法人等が活用し、高品質且つ国産オリーブ北限の地としての付加価値をプラスした特産品の創出する。</p> <p>1 東北地方であまり栽培されていないオリーブの栽培実験を行い、栽培技術の習得と生産体制の確立を目指す。</p> <p>2 オリーブ加工施設の活用を図る。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施する。</p>																																			
取組実績	<p>1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験</p> <p>(1) 北上地区に1経営体の目標である約1,500本が定植され実証栽培を行った。</p> <p>(2) 先進地より指導者に来ていただき栽培技術とほ場の管理並びにオリーブの搾油と搾油の技術を確立するための指導を実施。</p> <p>(3) 宮城県農業改良普及センターと協力して、栽培暦の作成や土壌調査、現地での病害虫の予防・駆除方法について取り組んだ。</p> <p>(4) 令和3年10月より民間に事業継承しオリーブオイルを製品化しており、試験的にオリーブの加工品（新漬け）を作成した。</p> <p>2 オリーブ加工施設の活用を図る</p> <p>(1) 搾油機械等を活用しオリーブオイルの搾油を実施。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施</p> <p>(1) Food Expo Hong Kong2022へひとめぼれ真空包装米を出展。</p>																																			
成果	<p>1 新たな果樹「オリーブ」栽培実績</p> <p>(1) 実施した栽培技術と管理作業の指導により、栽培技術や季節ごとの病害虫防除作業の習得ができた。</p> <p>(2) 県農業改良普及センターと協力して、ほ場の土壌の状況や生息する害虫や病気の確認ができ、それらへの対応が図られた。</p> <p>(3) 密植解消を図るため、改植を行い、樹木の適正間隔による栽培に取り組んだ。</p> <p>地区別収穫量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>北上</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>牡鹿</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>74.19kg</td> <td>29.43kg</td> <td>0.97kg</td> <td>0.85kg</td> <td>105.44kg</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>408.70kg</td> <td>46.35kg</td> <td>62.95kg</td> <td>1.30kg</td> <td>519.30kg</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>529.05kg</td> <td>137.05kg</td> <td>46.50kg</td> <td>12.50kg</td> <td>725.10kg</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>319.60kg</td> <td>91.25kg</td> <td>282.20kg</td> <td>21.70kg</td> <td>714.75kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 オリーブ加工施設の活用を図る</p> <p>(1) 栽培しているオリーブから714.7kg（対前年比-1.42%）の果実が収穫された。その中から選果し、「石巻産オリーブオイル」約39.11lが搾油できた。</p> <p>(2) オリーブ加工施設で生産したオリーブオイルを地域の産直市等に出品し、石巻産オリーブとして販売した。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施</p> <p>(1) 商品サンプルとパンフレット等の出品により商談について数件の問い合わせがあった。</p>						年度	北上	河北	雄勝	牡鹿	合計	R 1	74.19kg	29.43kg	0.97kg	0.85kg	105.44kg	R 2	408.70kg	46.35kg	62.95kg	1.30kg	519.30kg	R 3	529.05kg	137.05kg	46.50kg	12.50kg	725.10kg	R 4	319.60kg	91.25kg	282.20kg	21.70kg	714.75kg
年度	北上	河北	雄勝	牡鹿	合計																															
R 1	74.19kg	29.43kg	0.97kg	0.85kg	105.44kg																															
R 2	408.70kg	46.35kg	62.95kg	1.30kg	519.30kg																															
R 3	529.05kg	137.05kg	46.50kg	12.50kg	725.10kg																															
R 4	319.60kg	91.25kg	282.20kg	21.70kg	714.75kg																															
成果に係る評価	<p>高品質オリーブオイルの製造には収穫、選別、加工（搾油）の工程を短時間でを行い、酸化防止することが重要であり、オリーブ加工施設は、高品質オリーブオイル製造に欠かせない施設となっている。収穫量が増加・安定してきていることから、事業を継続し、特産品としての定着を図る。</p> <p>今後、オリーブ実の収穫量が増大してくると考えられることから、産地の維持発展と産地化に向け、新たな販路を確保する必要があるため、事業を継続する。</p>																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
予算額	9,203,000	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
		4,649,317			129,315	4,520,002																														

予算科目	7 款	商工費	事業名	消費者行政対策事業																																																														
	1 項	商工費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																													
	2 目	商工業振興費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																																													
	事業	消費者行政事業費		(3)	各種相談事業を充実させる																																																													
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 62																																																														
目的及び事業内容	<p>消費生活における安全・安心の確保のため、消費生活相談員を配置して消費者被害の未然防止と救済に取り組むほか、自立した消費者の育成を図るため、消費者教育と消費生活に関する啓発を推進する。</p> <p>また、消費者行政の強化を図るため、消費生活相談体制の強化・充実を図っており、消費者被害の防止とともに、市民の消費生活に関する安心確保に努める。</p>																																																																	
取組実績	<p>1 ラジオ石巻による啓発</p> <p>週3回、2分程度の放送により悪質商法の手口の紹介や被害防止の注意喚起を行った。</p> <p>地元紙「石巻かほく」への記事掲載</p> <p>毎月第4土曜日、5段1/4スペースに様々な消費者被害の事例を掲載し注意喚起を行った。</p> <p>3 消費者講演会等の実施</p> <p>(1) 市内小中学生を対象とした弁護士による消費者教育のための講演会（計6回開催、258名参加） ・ 広瀬小学校・東浜小学校・大谷地小学校・万石浦小学校・釜小学校・牡鹿中学校</p> <p>(2) 市民を対象とした出前講座「消費者被害にあわないために」の開催（計3回、56名参加）</p> <p>4 啓発グッズの作製</p> <p>高齢者等の詐欺被害防止を目的とした啓発用品の作製 （トートバック7,000枚 タオルハンカチ7,000個）</p>																																																																	
成果	<p>消費生活相談員を配置し、消費者からの相談に迅速かつ適切な対応を行うとともに、情報資料等の提供により消費者への啓発に寄与した。</p> <p>1 消費生活相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金融・保険</th> <th>通信・運輸</th> <th>リース・賃貸</th> <th>工事・建築</th> <th>その他</th> <th>相談件数合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>208件</td> <td>146件</td> <td>65件</td> <td>24件</td> <td>642件</td> <td>1,085件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>204件</td> <td>60件</td> <td>58件</td> <td>29件</td> <td>517件</td> <td>868件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>202件</td> <td>49件</td> <td>35件</td> <td>25件</td> <td>552件</td> <td>863件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多重債務相談件数（年代別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10～20代</td> <td>25人 (15.2%)</td> <td>12人 (8.1%)</td> <td>16人 (9.3%)</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>21人 (12.7%)</td> <td>20人 (13.5%)</td> <td>22人 (12.8%)</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>24人 (14.5%)</td> <td>17人 (11.5%)</td> <td>35人 (20.4%)</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>34人 (20.6%)</td> <td>38人 (25.7%)</td> <td>19人 (11.0%)</td> </tr> <tr> <td>60代以上</td> <td>61人 (37.0%)</td> <td>58人 (39.2%)</td> <td>79人 (45.9%)</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>0人 (0%)</td> <td>3人 (2.0%)</td> <td>1人 (0.6%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>165人</td> <td>148人</td> <td>172人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内は割合</p>						年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計	R2	208件	146件	65件	24件	642件	1,085件	R3	204件	60件	58件	29件	517件	868件	R4	202件	49件	35件	25件	552件	863件	区分	R2	R3	R4	10～20代	25人 (15.2%)	12人 (8.1%)	16人 (9.3%)	30代	21人 (12.7%)	20人 (13.5%)	22人 (12.8%)	40代	24人 (14.5%)	17人 (11.5%)	35人 (20.4%)	50代	34人 (20.6%)	38人 (25.7%)	19人 (11.0%)	60代以上	61人 (37.0%)	58人 (39.2%)	79人 (45.9%)	不明	0人 (0%)	3人 (2.0%)	1人 (0.6%)	合計	165人	148人	172人
年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計																																																												
R2	208件	146件	65件	24件	642件	1,085件																																																												
R3	204件	60件	58件	29件	517件	868件																																																												
R4	202件	49件	35件	25件	552件	863件																																																												
区分	R2	R3	R4																																																															
10～20代	25人 (15.2%)	12人 (8.1%)	16人 (9.3%)																																																															
30代	21人 (12.7%)	20人 (13.5%)	22人 (12.8%)																																																															
40代	24人 (14.5%)	17人 (11.5%)	35人 (20.4%)																																																															
50代	34人 (20.6%)	38人 (25.7%)	19人 (11.0%)																																																															
60代以上	61人 (37.0%)	58人 (39.2%)	79人 (45.9%)																																																															
不明	0人 (0%)	3人 (2.0%)	1人 (0.6%)																																																															
合計	165人	148人	172人																																																															
成果に係る評価	<p>消費者被害を防ぐため地元紙や地元ラジオ局などによる注意喚起を行っており、前年に比べ若干、相談件数は減少しているものの、多重債務相談件数は増加しており、特に60代以上の割合が増えている。今後も各年齢層に応じた広報・啓発事業の充実を図るとともに、消費者被害の注意喚起として各種事業を継続する必要がある。</p>																																																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																																																	
予算額	15,281,000	決算額	決算額の財源内訳																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
		14,845,448	3,179,600			11,665,848																																																												

予算科目	7 款	商工費	事業名	企業育成支援事業																													
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																												
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																												
	事業	企業育成支援事業費		(1)	事業者への経営支援を行う																												
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 65																													
目的及び事業内容	市内既存企業及び進出企業に対して、新たな産業の創出及び雇用促進の効果が期待できる事業として取り組む人材育成、研究開発、情報提供、知的財産取得の各事業への助成金交付を行うことにより、本市の産業振興と雇用の拡大を図る。																																
取組実績	<p>石巻市産業創造助成金事業を実施し、実績は以下のとおりであった。</p> <p>1 人材育成事業（上限 500,000円） 市内企業の新分野進出等を図るため、従業員の資質・技術力向上のための研修等の費用を助成 実績：1件 26,600円</p> <p>2 研究開発事業（上限 2,500,000円） 市内事業者の地域資源の活用、産学連携を図るため、研究開発（共同研究）の費用を助成 実績：1件 2,500,000円</p> <p>3 情報提供事業（上限 500,000円） 市内事業者の販路拡大等を図るため、商品見本市、展示商談会等の出店等の費用を助成 実績：3件 598,759円</p> <p>4 知的財産等取得事業（上限 500,000円） 市内事業者の高度化等を図るため、商品に係る意匠権や商標権、特許取得等の費用を助成 実績：0件</p> <p>助成金額合計：3,125,359円</p>																																
成果	<p>新商品の開発や展示会への出展を支援することで、商品の品質向上や新規販路開拓に繋がった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値（件数）</th> <th>実績等（件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>6 件</td> <td>3 件</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6 件</td> <td>7 件</td> <td>116%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>6 件</td> <td>11 件</td> <td>183%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>8 件</td> <td>7 件</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>8 件</td> <td>5 件</td> <td>63%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	H30	6 件	3 件	50%	R1	6 件	7 件	116%	R2	6 件	11 件	183%	R3	8 件	7 件	88%	R4	8 件	5 件	63%
区分	成果指標		達成率等																														
	目標値（件数）	実績等（件数）																															
H30	6 件	3 件	50%																														
R1	6 件	7 件	116%																														
R2	6 件	11 件	183%																														
R3	8 件	7 件	88%																														
R4	8 件	5 件	63%																														
成果に係る評価	<p>令和4年度は5件の実績であった。近年、申請件数が増加傾向にあったため、令和3年度に目標値を上げた経過があったが、令和3年度は目標に届かず、令和4年度も件数・達成率ともに前年に引き続き低下した。</p> <p>減少傾向については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化したため、事業者側で新規の設備投資や商品開発について慎重にならざるを得なかったことが影響していると考えられる。また、催事開催の不透明さや講師依頼等についての自粛が影響し、特に情報提供事業・人材育成事業については、積極的な活用が難しい状況にあった。</p> <p>しかし今後は、5類転換等、社会情勢の変化に伴い、制度の積極的な活用が期待される。新たな産業の創出や雇用促進に有効な事業であることから、広く制度周知を行い、実績件数の増加に繋げたい。</p>																																
予算の執行状況	(単位：円)																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	6,090,697	3,125,359				3,125,359																											

予算科目	7 款	商工費	事業名	6次産業化・地産地消推進事業																																																																	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																																
	事業	企業育成支援事業費		(3)	地域ブランドを育成する																																																																
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 66																																																																	
目的及び事業内容	農林漁業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、創意工夫による地域資源の高付加価値化を図るため、1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発や新ブランドの確立等の事業に対して、石巻市6次産業化・地産地消推進助成金を交付する。																																																																				
取組実績	<p>石巻市6次産業化・地産地消推進助成金事業を実施し、実績は以下のとおりであった。</p> <p>1 新商品開発事業 1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して、新商品の開発やブランドの確立を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和4年度交付件数 4件 交付金額 1,642,460円</p> <p>2 販路開拓事業 1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して、新たなマーケティング手法を用いた販路開拓、地産地消の推進を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和4年度交付件数 4件 交付金額 1,766,843円</p> <p>3 施設整備事業 国から「総合化事業計画」又は「農工商等連携事業計画」の認定を受けた事業者が、加工・販売施設等の整備を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和4年度交付件数 0件 交付金額 0円</p>																																																																				
成果	<p>石巻市6次産業化・地産地消推進助成金事業の実施により、市内事業者の6次産業化や地産地消の推進が図られた。</p> <p>【石巻市6次産業化・地産地消推進助成金 交付実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">新商品開発</th> <th colspan="2">販路開拓</th> <th colspan="2">施設整備</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>交付金額</th> <th>件数</th> <th>交付金額</th> <th>件数</th> <th>交付金額</th> <th>件数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>1件</td> <td>171,747円</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>1件</td> <td>171,747円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1件</td> <td>800,952円</td> <td>3件</td> <td>1,136,100円</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>4件</td> <td>1,937,052円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>1件</td> <td>1,000,000円</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>1件</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3件</td> <td>619,195円</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>3件</td> <td>619,195円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>4件</td> <td>1,642,460円</td> <td>4件</td> <td>1,766,843円</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>8件</td> <td>3,409,303円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	新商品開発		販路開拓		施設整備		合計		件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	H30	0件	0円	1件	171,747円	0件	0円	1件	171,747円	R1	1件	800,952円	3件	1,136,100円	0件	0円	4件	1,937,052円	R2	0件	0円	1件	1,000,000円	0件	0円	1件	1,000,000円	R3	3件	619,195円	0件	0円	0件	0円	3件	619,195円	R4	4件	1,642,460円	4件	1,766,843円	0件	0円	8件	3,409,303円
区分	新商品開発		販路開拓		施設整備		合計																																																														
	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額																																																													
H30	0件	0円	1件	171,747円	0件	0円	1件	171,747円																																																													
R1	1件	800,952円	3件	1,136,100円	0件	0円	4件	1,937,052円																																																													
R2	0件	0円	1件	1,000,000円	0件	0円	1件	1,000,000円																																																													
R3	3件	619,195円	0件	0円	0件	0円	3件	619,195円																																																													
R4	4件	1,642,460円	4件	1,766,843円	0件	0円	8件	3,409,303円																																																													
成果に係る評価	<p>市内事業者の6次産業化及び地産地消の推進を図るため、石巻市6次産業化・地産地消推進助成金事業を実施し、新商品開発事業及び販路開拓事業に対して合計8件、3,409,303円の助成金を交付した。</p> <p>令和2年度から令和3年度は新型コロナウイルス感染症が事業者に与えた影響が大きく、本助成金の交付実績は低いものとなっていたが、アフターコロナに向かって社会が動き出した令和4年度の交付実績から、本来の事業者ニーズは高いものであると判断でき、事業者間の連携強化や地場産品の販売促進、それらに伴う1次事業者の所得向上など多くの効果が期待できることから、事業を継続する必要がある。</p>																																																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																																																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																															
	3,409,303	3,409,303				3,409,303																																																															

予算科目	7 款	商工費	事業名	6次産業化推進事業																																																
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																															
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																															
	事業	企業育成支援事業費		(3)	地域ブランドを育成する																																															
担当部課	産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 66																																																
目的及び事業内容		6次産業化の担い手となる人材の育成と事業化支援を行うことにより、地域資源を活用した商品開発、ブランド力向上及び販路拡大を推進し、1次産業事業者の経営多角化、所得向上及び地場産業の振興を図るため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」を設置し運営を委託する。センターにおいては6次産業化に取り組む人材育成のため、セミナー等を実施するとともに、6次産業化に取り組む事業者に対して、個別相談や相談の内容に応じた専門家の派遣等、必要な支援を実施する。																																																		
取組実績		<p>「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」を設置、業務の委託を行い以下の事業を実施した。</p> <p>1 石巻市6次産業化・地産地消推進センター運營業務委託料 29,115,900円</p> <p>2 石巻市6次産業化・地産地消推進センター業務実績</p> <p>(1) 人材育成 販売力向上を目的としたセミナーを対面及びWEBでそれぞれ1回ずつ開催し、計27名の参加があった。</p> <p>(2) 事業化支援 ア 総合支援 6次産業化に関して、75事業者から合計1,100件の相談受付を行った。 イ 商品開発支援 支援員派遣等によりマーケティング調査やアドバイスを実施し、14件の商品開発を支援した。 ウ 販路開拓支援 事業者に小売店を紹介するなどして、26件の販路開拓を支援した。また、対面販売会やバイヤーとのWEB商談会を実施し新たな販売方法への進出を支援した。</p>																																																		
成果		<p>センター事業の実施により、石巻市内の事業者の6次産業化の推進が図られた。</p> <p>【センター事業の成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>相談受付件数</th> <th>支援事業者数</th> <th colspan="2">総合化事業計画認定件数</th> <th colspan="2">商品開発件数</th> <th colspan="2">販路開拓件数</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>184件</td> <td>24者</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>15件</td> <td>10件</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>657件</td> <td>60者</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>11件</td> <td>10件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,100件</td> <td>75者</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>14件</td> <td>10件</td> <td>26件</td> </tr> </tbody> </table>							区分	相談受付件数	支援事業者数	総合化事業計画認定件数		商品開発件数		販路開拓件数		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	R2	184件	24者	2件	0件	5件	15件	10件	36件	R3	657件	60者	2件	0件	5件	11件	10件	15件	R4	1,100件	75者	2件	0件	5件	14件	10件	26件
区分	相談受付件数	支援事業者数	総合化事業計画認定件数		商品開発件数		販路開拓件数																																													
	実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																																												
R2	184件	24者	2件	0件	5件	15件	10件	36件																																												
R3	657件	60者	2件	0件	5件	11件	10件	15件																																												
R4	1,100件	75者	2件	0件	5件	14件	10件	26件																																												
成果に係る評価		<p>石巻市内の事業者の6次産業化を推進するため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」を設置し、事業者への支援を実施した結果、令和3年度を上回る相談件数、支援事業者数となった。これは、地道な広報活動等により、センターの認知度が高まっていることが大きな要因であると考えられる。実際に商品開発や販路開拓に結びついた件数も目標を上回っており、今後も、新型コロナウイルス感染症の5類移行など事業者を取り巻く環境が刻々と変化していることから、事業者ニーズに応じた支援を継続していく必要がある。</p>																																																		
予算の執行状況		(単位：円)																																																		
予算額	決算額	決算額の財源内訳					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
		29,992,000	29,115,900			24,000,000					5,115,900																																									

予算科目	7 款	商工費	事業名	企業立地等支援事業																			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																		
	2 目	商工業振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出																		
	事業	企業立地等促進事業費		(1)	新規及び既存企業への立地などに伴う支援を推進する																		
担当部課	産業部産業推進課	実施計画掲載ページ		P 81																			
目的及び事業内容		<p>石巻市企業立地等促進条例に基づく各種助成金の交付により、市内外企業者の立地を促進し、立地後における企業者のランニングコスト軽減を図る。 また、宮城県企業立地セミナーへの参加を通じて業界情報を収集するとともに、本市への企業立地意向を確認するためのアンケート調査において、本市に興味を示した企業に対する積極的な訪問を実施し、本市独自のインセンティブである各種助成金交付制度等をアピールする。</p>																					
取組実績		<p>1 企業訪問件数 106件 県内及び関東圏の製造業、運送業の企業を中心に訪問し、本市立地へのインセンティブとなる各種助成金制度の説明のほか、立地に向けた支援を行った。</p> <p>2 宮城県企業立地セミナーへの参加 (1) 令和4年12月21日 東京会場 参加企業 69社 101名 (2) 令和5年2月9日 名古屋会場 参加企業 79社 132名 企業とのコミュニケーションにより業界情報を収集するとともに、本市企業立地ガイドや観光パンフレットにより、本市の魅力アピールした。</p> <p>3 企業立地意向調査 東北、関東、東海エリアの製造業、運送業等の企業2,500社に対してアンケート調査を実施し、本市の立地環境、産業用地情報及び各種優遇制度の情報を発信するとともに、設備投資検討状況について情報収集を行った。</p> <p>4 石巻市企業立地等促進条例助成金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・企業立地助成金</td> <td>30件</td> <td>23,300,200円</td> </tr> <tr> <td>・上水道料金助成金</td> <td>9件</td> <td>3,205,466円</td> </tr> <tr> <td>・雇用奨励助成金</td> <td>7件</td> <td>6,600,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>46件</td> <td>33,105,666円</td> </tr> </tbody> </table>							項目	交付件数	交付額	・企業立地助成金	30件	23,300,200円	・上水道料金助成金	9件	3,205,466円	・雇用奨励助成金	7件	6,600,000円	合計	46件	33,105,666円
項目	交付件数	交付額																					
・企業立地助成金	30件	23,300,200円																					
・上水道料金助成金	9件	3,205,466円																					
・雇用奨励助成金	7件	6,600,000円																					
合計	46件	33,105,666円																					
成果		<p>企業への個別訪問や宮城県企業立地セミナーへの参加により、本市と企業との繋がりを確保することができた。 また、企業立地意向調査におけるアンケート調査分析により、企業ニーズの把握や新規企業訪問に繋げることができた。 企業立地助成金については、32社に対し、各種助成金46件を交付した。 なお、新規立地件数は9件、新規雇用の常用従業員数は16人となった。</p>																					
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルス感染症拡大による影響が縮小の兆しを見せた令和4年度は、市内企業に対する訪問を積極的に行うなどし、新規誘致企業への支援に留まらない、増設や移設等に対する支援を実施することができた。 引き続き企業立地を促進するため、内陸部への立地及び設備投資意向をはじめ、各種助成金の活用実績や業界情報を注視し、時代に即した事業者にとって活用しやすい助成制度について検討しながら、積極的な企業訪問により誘致活動に努めていく。</p>																					
予算の執行状況		(単位：円)																					
予算額	決算額	決算額の財源内訳					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
		53,715,000	33,105,666								33,105,666												

予算科目	7 款	商工費	事業名		リボンアートフェスティバル開催支援事業	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	リボンアートフェスティバル開催支援事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当部課	産業部産業推進課	実施計画掲載ページ		P77		
目的及び事業内容						
市内中心部及び牡鹿半島を主会場として「地域振興／復興につながる循環」を目的に開催される「アート」・「音楽」・「食」の総合芸術祭「Reborn-Art Festival」の開催支援を行うことで交流人口・関係人口の拡大を図る。						
取組実績						
<p>Reborn-Art Festivalは隔年開催の芸術祭であり、平成29年度及び令和元年度と2回の本祭を開催し、令和3年度に3回目の本祭を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、Reborn-Art Festival2021-22として令和3年度（前期）と令和4年度（後期）の2か年に分散。「利他と流動性」をテーマに令和4年度は令和4年8月20日～10月2日までの44日間で開催された。</p> <p>1 アート部門 石巻中心市街地、桃浦・萩浜、鮎川の3つのエリアほか、今回から初めて復興祈念公園周辺及び渡波での展示が実施され、合計5つのエリアで21組26作品が展示された。</p> <p>2 音楽部門 萩浜を会場に「回復への音 with White Deer (Oshika)」と題して実施された小林武史氏と著名なアーティストによる音楽ライブをはじめ、アイヌの伝統歌を歌うマユンキヤやチェリストの四家卯大氏などによる音楽イベントが市内で実施された。</p> <p>3 食部門 リボンアートフェスティバル開催当初から本祭期間中に継続してオープンしている萩浜地区の食堂「はまさいさい」やレストラン「リボンアート・ダイニング」において、石巻・牡鹿半島の海や山の恵みを活かした料理を提供し、本市の食文化や魅力を発信したほか、「フードアドベンチャー」と題し、獲ったものを食べるまでの一連のプロセスを体験し命をいただくありがたさや食の楽しさを実感できる内容の体験型プログラムなどが実施された。</p>						
成果						
<p>コロナ禍ではあったものの、県内を中心に延べ来場者数は約12万人の来場があり、イベント全体で6億3,580万円の経済波及効果をもたらした地元経済等の地域振興に貢献したほか、交流人口・関係人口の増加に寄与し本市の知名度向上につながった。</p> <p>また、会期中以外でも鑑賞可能な常設展示作品も徐々に増えていることで、年間を通じた観光客の誘客等、交流人口の増加が図られた。</p>						
成果に係る評価						
<p>Reborn-Art Festivalのこれまでの来場者数は2017年会期が約26万人、2019年会期が約44万人、2021-2022年会期が約22万人と延べ92万人となり、本市の交流人口の増加に大きく寄与してきた。また、昨年度実施した来場者アンケートによる満足度調査において、「大変満足」と「満足」を選択された方が全体の83%、「やや満足」を加えると全体の96%となり、来場者の大多数の方に好評価されていると思われる。</p> <p>2021-2022年会期については新型コロナウイルス感染症の影響や、感染症対策のため大規模な音楽イベント等が実施できず来場者数が伸び悩んだが、本市の交流人口の拡大と地域振興に資するイベントであることから、引き続き開催に向けた支援を実施していく必要がある。</p>						
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	11,257,000	11,030,120			5,500,000	5,530,120

予算科目	7 款	商工費	事業名		海水浴場開設事業																										
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																										
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																										
	事業	海水浴場管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																										
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ		P77																											
目的及び事業内容																															
各海水浴場を開設し、安全対策に必要な業務を行うことで、利便性の向上及び海難事故防止を図り、観光客や市民が安心して海に親しむレクリエーションの場として誘客の促進、地域活性化を図る。																															
取組実績																															
<p>1 市営海水浴場の開設</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種も進み、各地でにぎわい創出のためのイベントも徐々に開催されていることから、市営の各海水浴場について、地区住民と調整をしたうえで開催することとなった。</p> <p>結果的に、渡波、白浜、網地白浜、十八成浜海水浴場が開設された一方、荒浜海水浴場については地区との協議の結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開設を中止した。</p> <p>なお、十八成浜海水浴場は、震災以降閉鎖されていたため12年ぶりの開設となった。</p> <p>また、観光庁の実施事業である「ブルーツーリズム推進支援事業補助金」を活用し、各海水浴場で使用する、受入環境を整備するための救命用具等を整備した。</p> <p>各海水浴場入込数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>海水浴場名</th> <th>地区</th> <th>開設日数</th> <th>令和4年度入込数(人)</th> <th>令和元年度入込数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波海水浴場</td> <td>本庁</td> <td>27日間</td> <td>3,115</td> <td>8,659</td> </tr> <tr> <td>白浜海水浴場</td> <td>北上</td> <td>25日間</td> <td>4,412</td> <td>7,053</td> </tr> <tr> <td>網地白浜海水浴場</td> <td>牡鹿</td> <td>31日間</td> <td>6,170</td> <td>19,770</td> </tr> <tr> <td>十八成浜海水浴場</td> <td>牡鹿</td> <td>35日間</td> <td>6,073</td> <td>開設せず</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※前回開設年度は、令和元年度である</p>							海水浴場名	地区	開設日数	令和4年度入込数(人)	令和元年度入込数(人)	渡波海水浴場	本庁	27日間	3,115	8,659	白浜海水浴場	北上	25日間	4,412	7,053	網地白浜海水浴場	牡鹿	31日間	6,170	19,770	十八成浜海水浴場	牡鹿	35日間	6,073	開設せず
海水浴場名	地区	開設日数	令和4年度入込数(人)	令和元年度入込数(人)																											
渡波海水浴場	本庁	27日間	3,115	8,659																											
白浜海水浴場	北上	25日間	4,412	7,053																											
網地白浜海水浴場	牡鹿	31日間	6,170	19,770																											
十八成浜海水浴場	牡鹿	35日間	6,073	開設せず																											
成果																															
市営海水浴場を開設することで、観光客や市民が安心して海に親しむレクリエーションの場を提供でき、誘客の促進及び交流人口の増加による地域活性化が図られた。																															
成果に係る評価																															
<p>入込数が令和元年よりも下回った理由については、新型コロナウイルス感染症感染拡大が収束しつつあるとはいえ、未だ自粛ムードが拭えない状況から、市民目線ではまだ積極的な利用には至らなかったものと考えられる。</p> <p>一方で、3年ぶりの開設ながら特に大きなトラブルもなく運営できたことから、一定程度、地区住民や監視業者等との連携がとれていたと言える。</p> <p>次年度以降は新型コロナウイルスの影響がより緩和されていくことが予想されることから、来場客数の増加を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナを前提とした受入環境の整備に取り組んでいくこととする。</p>																															
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	25,026,575	24,951,995	749,645			24,202,350																									

予算科目	7 款	商工費	事業名	まつりイベント事業																																																										
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																									
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																																									
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																																									
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ		P77																																																										
目的及び事業内容	各種祭りイベントの開催を支援することにより、地場産業の振興、地域伝統文化の継承保存及び地域住民の融和とコミュニティの形成による地域活性化を図るとともに、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。																																																													
取組実績	各種まつりイベント実行委員会に対して補助金・負担金を交付し、事業の実施に当たっては実行委員会等への支援を行った。																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名称</th> <th>開催日等</th> <th>入込数(人)</th> <th>補助金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雄勝海鮮市まつり</td> <td>6/26(日)、10/9(日)</td> <td>5,000</td> <td>1,800,000</td> </tr> <tr> <td>石巻川開き祭り</td> <td>8/6(土)、7(日)</td> <td>128,500</td> <td>9,000,000</td> </tr> <tr> <td>サマーフェスタ・イン・かほく</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン渡波市民夏祭り</td> <td>8/14(日)</td> <td>4,000</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>牡鹿鯨まつり</td> <td>8/21(日)</td> <td>15,000</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>ものうふれあい祭</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>10/23(日)</td> <td>3,000</td> <td>1,700,000</td> </tr> <tr> <td>かなん市民まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>にっこりまつり</td> <td>10/30(日)</td> <td>5,000</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>かほく産業まつり</td> <td>11/3(木・祝)</td> <td>4,000</td> <td>632,308</td> </tr> <tr> <td>にっこり写真セミナー</td> <td>12/3(土)、4(日)</td> <td>31</td> <td>700,000</td> </tr> <tr> <td>にっこり歳の市</td> <td>12/18(日)</td> <td>2,700</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>167,231</td> <td>21,032,308</td> </tr> </tbody> </table>						イベント名称	開催日等	入込数(人)	補助金(円)	雄勝海鮮市まつり	6/26(日)、10/9(日)	5,000	1,800,000	石巻川開き祭り	8/6(土)、7(日)	128,500	9,000,000	サマーフェスタ・イン・かほく	中止	-	-	サン・ファン渡波市民夏祭り	8/14(日)	4,000	200,000	牡鹿鯨まつり	8/21(日)	15,000	3,000,000	ものうふれあい祭	中止	-	-	サン・ファン祭り	10/23(日)	3,000	1,700,000	かなん市民まつり	中止	-	-	にっこりまつり	10/30(日)	5,000	3,000,000	かほく産業まつり	11/3(木・祝)	4,000	632,308	にっこり写真セミナー	12/3(土)、4(日)	31	700,000	にっこり歳の市	12/18(日)	2,700	1,000,000	合 計		167,231	21,032,308
イベント名称	開催日等	入込数(人)	補助金(円)																																																											
雄勝海鮮市まつり	6/26(日)、10/9(日)	5,000	1,800,000																																																											
石巻川開き祭り	8/6(土)、7(日)	128,500	9,000,000																																																											
サマーフェスタ・イン・かほく	中止	-	-																																																											
サン・ファン渡波市民夏祭り	8/14(日)	4,000	200,000																																																											
牡鹿鯨まつり	8/21(日)	15,000	3,000,000																																																											
ものうふれあい祭	中止	-	-																																																											
サン・ファン祭り	10/23(日)	3,000	1,700,000																																																											
かなん市民まつり	中止	-	-																																																											
にっこりまつり	10/30(日)	5,000	3,000,000																																																											
かほく産業まつり	11/3(木・祝)	4,000	632,308																																																											
にっこり写真セミナー	12/3(土)、4(日)	31	700,000																																																											
にっこり歳の市	12/18(日)	2,700	1,000,000																																																											
合 計		167,231	21,032,308																																																											
成 果	令和2年度・3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベントの中止が相次いだ。令和4年度については、中止のイベントもあったが、感染症拡大前とほぼ同規模でイベントを開催することができ、交流人口の増加による地域経済の活性化が図られた。																																																													
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着く中、ウィズコロナとして感染症対策を講じながら、各種イベントを開催することができ、各地域の賑わいの創出や交流人口の拡大が図られた。令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に併せ、新型コロナウイルス感染症流行前と同規模のイベント開催を予定しており、更なる賑わい創出、交流人口拡大を図ることとしている。																																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	21,700,000	21,032,308			11,900,000	9,132,308																																																								

予算科目	7 款	商工費	事業名	みちのく潮風トレイル活用推進事業			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興		
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する		
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ		P78			
目的及び事業内容	半島沿岸部をルートとしたみちのく潮風トレイル開通に伴い、自然歩道を管理し、観光振興及び交流人口の増加を図る。						
取組実績	<p>1 環境省主催による、駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使リーナ・アンナフ閣下による現地視察並びに特別講演会の開催について、職員の出向や開催運営協力を行った。</p> <p>(1) 開催日 令和4年10月20日(木)</p> <p>(2) 会場 ア 現地視察 河北地区・尾崎登山口～雄勝地区・名振登山口 イ 講演会 石巻グランドホテル ※講演会参加者60名</p> <p>2 イオン株式会社との地域活性化包括連携協定を活用したPRイベントを開催した。</p> <p>(1) 開催日 令和4年12月3日(土)、4日(日)の2日間</p> <p>(2) 会場 イオンモール石巻店</p> <p>(3) 内容 ア みちのく潮風トレイルコースのパネルによる魅力紹介 イ みちのく潮風トレイル石巻圏域の大型コースマップの掲示によるルート紹介 ウ 出店店舗協力による初心者ハイカー装備品のアドバイス</p> <p>(4) 来場実績 262名(オリジナルトートバック配布によるカウント)</p> <p>3 石巻山の会への委託による路体管理、刈払い、巡視の実施(春、初秋の年2回実施) ※石巻山の会からの報告内容は、石巻・川のビジターセンターを通じて、環境省並びにみちのくトレイルクラブに報告。</p>						
成 果	<p>1 駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使の現地視察並びに講演会の開催運営協力が携わったことにより、市職員並びに市内観光関連団体に「みちのく潮風トレイル」を観光コンテンツとして活用し、観光振興及び交流人口増加の一助となるという再認識と機運の高まりが進んだ。</p> <p>2 イオンモール石巻店でPRイベントを開催出来たことで、認知が広まり、みちのく潮風トレイルについての問合せが増えたり、ハイカーと思われる容姿をした方の目撃が街中で多く確認されるようになった。また石巻・川のビジターセンターや牡鹿半島ビジターセンターのプログラムやDMOのツアープランも参加者が増える等、一定の効果があったものと受け止められる。さらに、環境省、圏域市町と「みちのく潮風トレイル」を通じた連携が強化され、当市がコース沿線4県29市町村の自治体の中で積極的に観光振興及び交流人口の増加に取組んでいるものと評価される結果となっている。</p>						
成果に係る評価	<p>1 みちのく潮風トレイルによる観光振興及び交流人口の増加を図るために、利用実績測定方法の確立を環境省等に働きかける必要がある。</p> <p>2 利用者が安全かつ快適にみちのく潮風トレイルをハイク出来るよう、路体管理・巡視、環境整備を継続して実施する必要がある。</p> <p>3 みちのく潮風トレイルの基本理念である「地域住民とハイカーの交流」を実現させるためには市民の認知度と理解度の向上が不可欠なことから、PRを実施する必要がある。</p> <p>4 インバウンド利用者の増加を含めた、観光コンテンツとしての成熟を目指すために、観光関連団体や関係団体との連携を深め、利用者の市内における消費行動の増加に繋がる施策を切れ目なく実施していく必要がある。</p>						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,350,000	983,813				983,813	

予算科目	7 款	商工費	事業名	石巻観光ボランティア支援事業																									
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																								
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																								
	事業	観光振興事業費		(2)	観光振興体制を構築する																								
実施計画掲載ページ				P 80																									
担当部課	産業部観光課																												
目的及び事業内容	「震災まなびの案内」、石巻地域の歴史・文化等を案内する取組により、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝える活動及び、駅頭案内や各観光イベント時のガイドなどを実施している石巻観光ボランティア協会に対する活動費を補助することで円滑な活動を促進し、観光客の受入環境の向上を図る。																												
取組実績	<p>震災後、激増している来訪者の対応等で負担が大きい石巻観光ボランティア協会に対し、研修等のための活動費を補助した。</p> <p>1 研修会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 石巻歴史研修 7回 (4/11、5/16、6/13、7/11、8/22、10/17、12/12) 震災遺構門脇小学校解説研修 1回 (5/25) RAFガイド研修 1回 (9/5) 学びの案内研修 1回 (12/13) 先進観光地研修 1回 (3/6) <p>2 ボランティアガイド関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/21 三陸地域マルシェ 6/25 石巻震災復興見学バスツアー 6/25～26 いしのみき復興マラソン 10/1～2 G O G O ラリー in 東北 10/15 石巻駅「鉄道の日&石巻駅開業110周年」お客様感謝DAY 10/23 サンファン祭り 11/3 客船「ばしふいっくびいなす」寄港 2/18～19 風っこストーブ女川号 <p>○大震災学びの案内 活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>バス台数 (うち学校)</th> <th>参加人数 (うち学校)</th> <th>オンライン人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>389台 (22校)</td> <td>7,463人 (819人)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>315台 (23校)</td> <td>5,730人 (636人)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>68台 (12校)</td> <td>937人 (891人)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>99台 (24校)</td> <td>2,876人 (2,481人)</td> <td>253人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>152台 (24校)</td> <td>3,230人 (1,141人)</td> <td>120人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※(一社)石巻観光協会令和5年度総会資料より</p>							区分	バス台数 (うち学校)	参加人数 (うち学校)	オンライン人数	H30	389台 (22校)	7,463人 (819人)	/	R1	315台 (23校)	5,730人 (636人)	R2	68台 (12校)	937人 (891人)	R3	99台 (24校)	2,876人 (2,481人)	253人	R4	152台 (24校)	3,230人 (1,141人)	120人
区分	バス台数 (うち学校)	参加人数 (うち学校)	オンライン人数																										
H30	389台 (22校)	7,463人 (819人)	/																										
R1	315台 (23校)	5,730人 (636人)																											
R2	68台 (12校)	937人 (891人)																											
R3	99台 (24校)	2,876人 (2,481人)		253人																									
R4	152台 (24校)	3,230人 (1,141人)		120人																									
成果	<p>会員のガイドスキルアップのため、各種研修会を実施した。ボランティアガイドとして、各種イベントに参加し、来場者・参加者へ観光案内を実施した他、「大震災学びの案内」を継続して実施し、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝えることができた。</p>																												
成果に係る評価	<p>「大震災学びの案内」の利用者は、開始以来のべ13万人を超える全国からの来訪者を案内している。平成24年度をピークに以降は年々減少しており、令和元年度、2年度と新型コロナウイルス感染症拡大の影響から大幅に落ち込んだが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が収束しつつあることにより、令和3年度以降、参加人数が増加している。また、オンラインでの案内も開始し活動の幅を広げている。</p> <p>石巻観光ボランティア協会は「震災まなびの案内」等、震災伝承に係る取組みの実施について数少ない受入団体であることや、震災の教訓を次の世代に継承し、風化させないためにも本団体の存在は重要であり、今後も本協会の活動を支援することで、会員の技能及び受入環境の向上を図ってまいりたい。</p>																												
予算の執行状況	(単位:円)																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
500,000	500,000				500,000																								

予算科目	7 款	商工費	事業名	観光PR事業																	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																
実施計画掲載ページ				P 78～80																	
担当部課	産業部観光課																				
目的及び事業内容	新鮮な海産物に代表される四季折々の食材や美しい自然など、本市の豊富な観光資源を活かし、効果的な情報発信を行うことで観光誘客を推進し、地域経済の活性化を図る。																				
取組実績	<p>1 石巻市総合ガイドブック等作成事業</p> <p>一般社団法人石巻観光協会の実施事業に市が負担金を支出する形で、日本語版観光ガイドブックの内容を更新して発行した。また、市内外観光施設・関係機関のパンフレットラック及び市内外で開催されるイベント等での観光ガイドブック配布により石巻市の観光PRを行い、観光客の誘客を促進した。石巻市観光ガイドブックの作成(日本語版) 13,000部</p> <p>2 マンガバス活用推進事業</p> <p>(1) 車両概要 1号車:わたせせいぞう氏デザイン 2号車:石ノ森キャラクターと市内コンテンツ画像 (2) 運行日・回数 毎日運行、1日4往復(1台2往復) (3) 運行経路 石巻～仙台間 ※三陸自動車道(石巻港IC～仙台東IC)使用 (4) 乗車実績 1号車:23,974人 2号車:22,804人</p> <p>3 映画等誘致・製作支援事業</p> <p>せんだい・宮城フィルムコミッションと連携し、ドラマや映画のロケ地誘致に取り組んだ。</p> <p>(1) 令和4年度誘致実績 ドラマ:2件 映画:3件 (2) ロケ地 日和山公園、寿町通り周辺、モリウミアス、網地島など</p> <p>4 観光情報発信強化事業</p> <p>(1) フェイスブックアカウント フォロワー数 4,439件 (2) インスタグラムアカウント フォロワー数 1,816件 (3) 本市食材を活用した洋風創作料理を提供するグルメフェアを開催(店内で観光動画放映) 石巻グルメフェア 期間:11月4日～13日 来場者:延べ278名 会場:イベント・情報発信スペース「CROSS B PLUS」(仙台市青葉区)</p> <p>5 その他事業</p> <p>(1) インバウンド対応 国際交流員を配置し、通訳、翻訳等インバウンド誘客に対応。 宮城県国際観光テーマ地区推進協議会と連携した観光PRの実施。 (2) その他 日和山観桜対応、マンガタンライナー運行、観光大使の活用など。</p>																				
成果	<p>観光ガイドブックの作成やマンガバスの活用、映画等の誘致・製作支援など、各種観光PR事業の実施により、観光誘客の推進と地域経済の活性化が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">観光客入込数(人)</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>3,600,000</td> <td>2,586,309</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3,600,000</td> <td>2,773,778</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>3,600,000</td> <td>4,248,570</td> </tr> </tbody> </table>							区分	観光客入込数(人)		目標値	実績	R2	3,600,000	2,586,309	R3	3,600,000	2,773,778	R4	3,600,000	4,248,570
区分	観光客入込数(人)																				
	目標値	実績																			
R2	3,600,000	2,586,309																			
R3	3,600,000	2,773,778																			
R4	3,600,000	4,248,570																			
成果に係る評価	<p>観光PR事業を通じた誘客推進により、交流人口の増加に努め、地域産業の活性化に繋げる必要がある。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、関係団体等と連携し、利用者のニーズ、新しい生活様式に対応した安心・安全な観光PRを実施するとともに、SNSやガイドブック、観光大使の活用など、状況に合わせた効果的な情報発信に継続的に取り組む必要がある。</p>																				
予算の執行状況	(単位:円)																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
28,033,597	27,382,857			1,426,000	25,956,857																

予算科目	7 款	商工費	事業名	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営事業																				
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																			
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																			
	事業	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																			
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ																						
目的及び事業内容		サン・ファン・パウティスタパークの適正な維持管理を図るとともに、市民の文化活動の向上と憩いの場を提供し、さらに観光拠点として地域活性化及び地域振興の推進に寄与する。																						
取組実績	1 指定管理者 公益財団法人慶長遣欧使節船協会 2 指定管理料 40,000,000円 3 指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日 4 事業内容 (1) 各種設備機器保安・保守業務 (2) パーク内行為許可業務 (3) 観光情報の提供																							
	5 利用者数 (単位:人)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パーク来園者数</td> <td>86,644</td> <td>85,553</td> <td>73,696</td> <td>49,062</td> <td>34,814</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン館入館者数</td> <td>32,544</td> <td>31,188</td> <td>27,291</td> <td>14,234</td> <td>10,469</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H30	R1	R2	R3	R4	パーク来園者数	86,644	85,553	73,696	49,062	34,814	サン・ファン館入館者数	32,544	31,188	27,291	14,234
年度	H30	R1	R2	R3	R4																			
パーク来園者数	86,644	85,553	73,696	49,062	34,814																			
サン・ファン館入館者数	32,544	31,188	27,291	14,234	10,469																			
成果	6 主な施設修繕、改修実績		<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実施日</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泡消火器修繕</td> <td>令和5年2月～3月</td> <td>2,794,000円</td> </tr> </tbody> </table>					内容	実施日	金額	泡消火器修繕	令和5年2月～3月	2,794,000円											
	内容	実施日	金額																					
泡消火器修繕	令和5年2月～3月	2,794,000円																						
成果		隣接する宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)との一体的な管理運営により、相互の施設の魅力や集客力の向上を効率的に実施し、安定した管理運営が図られた。また、指定管理事業者及び地元団体等が実施する施設を活用した各種イベントについては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ実施され、地域の賑わいの創出に寄与された。特にサン・ファン祭りについては、例年5月下旬に開催していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、秋季に延期し、3年ぶりにサン・ファンパークおよび館内でイベントを開催した。																						
成果に係る評価	○サン・ファン・パウティスタパークを会場とした主なイベント		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第29回サン・ファン祭り</td> <td>10/23</td> <td>3,000人</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	開催日	来場者数	第29回サン・ファン祭り	10/23	3,000人											
	事業名	開催日	来場者数																					
第29回サン・ファン祭り	10/23	3,000人																						
成果に係る評価		施設共用開始から20年以上が経過し、経年による施設の老朽化が著しいが、必要に応じた適切な修繕等の実施により、施設の安全性の向上と効率的な維持管理が図られた。 令和4年10月よりサン・ファンミュージアムのリニューアル工事に伴う休館により、昨年度と比較し施設利用者数が減少しているものの、昨年度中止となったイベントが新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ実施されている。今後は既存イベントの規模拡大及び新たなイベント等の増加が見込まれるため、利用者の安全確保に伴う一層の施設の適正管理が求められる。 令和5年度中は昨年度に引き続きミュージアムがリニューアル工事のため休館となることから、再開する令和6年度まで、パークを活用したイベントや企画展の実施等の効果的な誘客戦略を検討、実施する必要がある。																						
(単位:円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
	42,794,000	42,794,000	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
						42,794,000																		

予算科目	7 款	商工費	事業名	御番所公園再整備事業														
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち													
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興													
	事業	御番所公園管理費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する													
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ		P 78														
目的及び事業内容		御番所公園をより快適に利用することができ、施設の魅力を高めるため、観光客が安全安心に利用できるよう遊具の更新等を行う。																
取組実績	御番所公園再整備事業として、下記事業を実施した。																	
	1 御番所公園遊具整備実施設計業務 (1) 園地・駐車場等 実施設計 基準面積0.25ha 一式 (2) 園地・駐車場等 設計協議 基準面積0.25ha 一式 2 設計概要 (1) 実施設計図の作成 一式 (2) 数量計算 一式 3 利用実績		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入園者数(人)</td> <td>54,720</td> <td>28,752</td> <td>31,249</td> <td>57,990</td> <td>92,848</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H30	R1	R2	R3	R4	入園者数(人)	54,720	28,752	31,249	57,990
区分	H30	R1	R2	R3	R4													
入園者数(人)	54,720	28,752	31,249	57,990	92,848													
成果	◆令和4年度末事業進捗率		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おしか御番所公園遊具整備実施設計業務</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>おしか御番所公園遊具整備工事</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>					工事名称	事業進捗率	おしか御番所公園遊具整備実施設計業務	100%	おしか御番所公園遊具整備工事	0%					
	工事名称	事業進捗率																
おしか御番所公園遊具整備実施設計業務	100%																	
おしか御番所公園遊具整備工事	0%																	
成果に係る評価		交流人口の拡大を図るために、御番所公園の老朽化した遊具10基を撤去し、新たに整備する遊具5基の実施設計を行った。遊具整備事業の詳細設計を行ったことにより、事業の円滑な推進が期待される。また、事業の実施にあたっては、令和4年度宮城県自然環境整備交付金を活用しており、遊具整備事業の実施については、令和5年度に繰越して事業を実施し、御番所公園の再整備を行う。																
(単位:円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
	2,794,580	2,530,000	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
						1,265,000												
						1,265,000												

予算科目	7 款	商工費	事業名	家族旅行村管理運営事業																																	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																
	事業	家族旅行村管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ																																			
目的及び事業内容		おしか家族旅行村オートキャンプ場を運営することにより、自然の中での健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ、健康と福祉の増進及び観光産業の振興を図る。																																			
取組実績	<p>1 おしか家族旅行村オートキャンプ場 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設：管理棟 1棟（事務室、ロビー、便所、倉庫及び休憩室） サニタリー棟 1棟（炊事室、洗面所、便所及びシャワー室） 個別サイト 31か所（電源付サイト：5カ所、サイトA：23カ所、サイトB：3カ所） ケビン棟 6棟（A棟：4棟、B棟：2棟） <p>2 管理業務</p> <p>(1) 指定管理者 太平ビルサービス株式会社石巻営業所</p> <p>(2) 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>(3) 指定管理料 8,000,000円</p> <p>(4) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 施設管理運営 イ 施設維持管理 ウ 自主事業（売店、レンタル等） <p>(5) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数（ケビン棟）</td> <td>434</td> <td>392</td> <td>393</td> <td>471</td> <td>518</td> </tr> <tr> <td>利用件数（個別サイト）</td> <td>891</td> <td>1,228</td> <td>2,103</td> <td>2,391</td> <td>2,450</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>4,641</td> <td>6,146</td> <td>7,628</td> <td>9,377</td> <td>10,191</td> </tr> <tr> <td>利用金額（円）</td> <td>12,436,200</td> <td>15,598,550</td> <td>16,874,623</td> <td>21,112,900</td> <td>23,072,590</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本オートキャンプ協会費 50,000円 <p>3 修繕費（市）、手数料（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ケビン棟4棟壁紙等修繕 ほか 全7件 2,530,284円 							区分	H30	R1	R2	R3	R4	利用件数（ケビン棟）	434	392	393	471	518	利用件数（個別サイト）	891	1,228	2,103	2,391	2,450	利用者数（人）	4,641	6,146	7,628	9,377	10,191	利用金額（円）	12,436,200	15,598,550	16,874,623	21,112,900	23,072,590
	区分	H30	R1	R2	R3	R4																															
利用件数（ケビン棟）	434	392	393	471	518																																
利用件数（個別サイト）	891	1,228	2,103	2,391	2,450																																
利用者数（人）	4,641	6,146	7,628	9,377	10,191																																
利用金額（円）	12,436,200	15,598,550	16,874,623	21,112,900	23,072,590																																
成果	<p>自然の中で健全な観光レクリエーションの場を提供することで観光産業の振興を図るとともに、施設の修繕等を実施し維持管理に努めている。</p> <p>施設の運営管理については、インターネットによる利用予約受付に加え、情報誌、ラジオ、テレビCMを活用した情報発信や、ホエールタウンおしか等の観光施設と相乗効果が図られるように相互に情報発信することで、施設の稼働率は高く推移しており、利用状況は良好であった。</p> <p>年間の利用者数は令和3年度の実績から814人増加の10,191人と大幅に伸びており、利用者数の増加に伴い、施設利用料収入も増加している。</p>																																				
成果に係る評価	<p>近年のアウトドアブームにより需要が増加している中、インターネットによる利用予約受付やテレビCM等による情報発信に努めて利用者の増加に繋げることができた。</p> <p>老朽化や地震被害により施設の修繕が必要な箇所については、施設の修繕や維持管理に努め、利用者の満足度を高めることでリピーターの増加に繋げていきたい。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症に対しては、引き続き、感染予防策を講じながら、事業の継続に努めていきたい。</p>																																				
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																															
	11,050,000	10,580,284			1,922,000	8,658,284																															

予算科目	7 款	商工費	事業名	石ノ森萬画館管理運営事業																										
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																									
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																									
	事業	石ノ森萬画館管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																									
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ																												
目的及び事業内容		株式会社街づくりまんの指定管理により、石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信し、誘客の促進と市内外の人々との交流促進を図り、市における文化の発展と地域経済の振興に寄与する。																												
取組実績	<p>1 指定管理者 株式会社街づくりまんのほう</p> <p>2 指定管理料 56,550,000円</p> <p>3 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>4 事業内容</p> <p>(1) 常設展示</p> <p>石ノ森バイオグラフィ、サイボーグ009の世界、仮面ライダーの世界 など</p> <p>(2) 特別企画展</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画展名</th> <th>開催期間</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かいけつゾロリ大冒険展</td> <td>4/23～7/3</td> <td>15,678人</td> </tr> <tr> <td>TAMIYA MINI4FD HISTORY2022</td> <td>7/16～10/10</td> <td>19,685人</td> </tr> <tr> <td>ねずみくんのチョコッキ展</td> <td>10/22～R5/1/9</td> <td>18,275人</td> </tr> <tr> <td>「十二国記」山田章博原画展</td> <td>R5/1/21～4/9</td> <td>14,328人</td> </tr> </tbody> </table> <p>R4年度分のみ集計</p> <p>(3) 映像ホール（有料）</p> <p>「龍神沼」、「消えた赤ずきんちゃん」、「シージェッター海斗特別編」、「ジュン～春の針～」を上映</p> <p>(4) ライブラリー、マルチメディア工房（無料展示）</p> <p>マンガ本約6,000冊、映像約300作品、各種ワークショップ体験ができるスペース</p> <p>(5) 資料収集・保存活動（過去に出版された石ノ森関連書籍や各マンガ家からの寄贈色紙など）</p> <p>(6) マンガタンイラストギャラリー（年4回テーマを設けてイラスト作品を募集し萬画館に展示）</p> <p>応募数：R4=271点、R3=208点、R2=199点、R1=254点、H30=290点</p>							企画展名	開催期間	延べ人数	かいけつゾロリ大冒険展	4/23～7/3	15,678人	TAMIYA MINI4FD HISTORY2022	7/16～10/10	19,685人	ねずみくんのチョコッキ展	10/22～R5/1/9	18,275人	「十二国記」山田章博原画展	R5/1/21～4/9	14,328人								
	企画展名	開催期間	延べ人数																											
かいけつゾロリ大冒険展	4/23～7/3	15,678人																												
TAMIYA MINI4FD HISTORY2022	7/16～10/10	19,685人																												
ねずみくんのチョコッキ展	10/22～R5/1/9	18,275人																												
「十二国記」山田章博原画展	R5/1/21～4/9	14,328人																												
成果	<p>石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化の発信に努めたことにより、観光誘客が促進され、地域経済の振興が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>うち有料入場者数</th> <th>入館料等収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>190,020人</td> <td>91,178人</td> <td>69,946,912円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>214,838人</td> <td>102,314人</td> <td>78,222,053円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>64,871人</td> <td>37,304人</td> <td>29,173,857円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>84,654人</td> <td>44,744人</td> <td>36,370,610円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>132,217人</td> <td>73,366人</td> <td>63,478,845円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入	H30	190,020人	91,178人	69,946,912円	R1	214,838人	102,314人	78,222,053円	R2	64,871人	37,304人	29,173,857円	R3	84,654人	44,744人	36,370,610円	R4	132,217人	73,366人	63,478,845円
年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入																											
H30	190,020人	91,178人	69,946,912円																											
R1	214,838人	102,314人	78,222,053円																											
R2	64,871人	37,304人	29,173,857円																											
R3	84,654人	44,744人	36,370,610円																											
R4	132,217人	73,366人	63,478,845円																											
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが緩和の方向に向かい、前年度より入館者数が約1.5倍の増となった。また、コロナ禍における入館者数の回復の鈍さ、物価や人件費の高騰などから従来の入館料では適切な運営が厳しい状況となったため、7月16日より入館料を値上げとした。入館者数の回復と合わせ、値上げの効果もあり、入館料収入がコロナ禍前の約8割程度まで回復した。</p> <p>年度内に4つの企画展を開催し集客回復に努めたほか、令和3年度に制作したアートアニメーションも新たに映像ホールで公開し、積極的に誘客に努めた。</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、新しい生活様式に対応したイベント実施を考え、集客を伸ばすことができるよう指定管理者へ働きかけていく。</p>																													
（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																								
	56,550,000	56,550,000				56,550,000																								

予算科目	7 款	商工費	事業名	マンガアイランド管理運営事業						
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち					
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興					
	事業	マンガアイランド管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する					
担当部課	産産部観光課	実施計画掲載ページ								
目的及び事業内容		田代島の豊かな自然環境に親しみ、マンガとふれあう場を設けることにより、市民の自然と文化への理解を深め、心身の健康を増進するとともに、住民と来訪者との交流による島の活性化を図ることを目的とする。								
取組実績	1 マンガアイランド利用実績 内訳									
	年度		マンガロッジ		テントサイト		合計	使用料 (円)		
	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	
H30	296	350	110	55	69	33	351	419	143	1,193,290
R1	658	763	237	177	180	84	835	943	321	2,542,408
R2	444	514	137	65	69	35	509	583	172	1,598,740
R3	409	461	133	68	78	44	477	539	177	1,569,190
R4	611	698	237	166	175	89	777	873	326	2,732,960
取組実績	2 備品等貸出件数 内訳									
	種類		利用件数							
マウンテンバイク(大人用)		153								
マウンテンバイク(小人用)		22								
電動自転車		637								
釣竿		76								
天体望遠鏡		22								
合 計		910								
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えの社会的な傾向が落ち着きをみせ、観光客数が回復傾向となり、利用者の延べ人数がコロナ禍前の約9割まで回復した。また、日帰りで備品のみを借用する観光客が増加したことから、使用料収入自体はコロナ禍前よりも多くなり、震災以降で最大の使用料収入となった。特に電動自転車の利用者数はコロナ禍においても増加の一途をたどっており、令和元年度に比べて、令和3年度は90件の増、令和4年度は296件の増となっており、田代島の豊かな自然環境とマンガとのふれあいによる島の活性化が図られた。									
成果に係る評価	利用者数の急激な回復及び使用料収入の増加の主な要因としては、以下の理由が考えられる。 (1) コロナ禍を通して全国的にキャンプへの興味関心が高まり、需要が発生したこと。 (2) 猫島として、国内外問わず複数のメディアで田代島の取り上げが増加し、認知度が向上したこと。 (3) 平成30年度から施設の管理運営を民間に委託し、おもてなし体制がしっかりしたこと。 担当課によるリーフレット配布などの観光PRも成果を発揮しており、今後も継続的な情報発信や宿泊客数の増加に努めるとともに、利用客の利便性を向上させるよう適切に施設修繕を進めていく。									
(単位：円)										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
	13,616,012	13,473,302			2,738,552	10,734,750				

予算科目	7 款	商工費	事業名	いしのまき版DMO運営推進事業						
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち					
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興					
	事業	石巻圏DMO推進事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する					
担当部課	産産部観光課	実施計画掲載ページ		P 78						
目的及び事業内容		着地型観光を推進する「石巻圏観光推進機構」により、官民・地域間連携のもと、広域的な観光振興を推進するプラットフォームとして、地域資源を活用し戦略的に観光客の誘客を推進することで、石巻圏域への交流人口の拡大を図る。								
取組実績	1 公益事業									
	(1) インバウンド推進事業		ア 旅行代理店向けオンライン商談会 イ インバウンド観光コンテンツ開発				・台湾旅行代理店向けオンラインセミナー開催 24社36名参加 ・SAVOR JAPAN認定に係る推進業務実施			
取組実績	(2) サイクルツーリズム推進事業		ア サイクルイベント開催				・おいしいフリーライド(牡鹿半島) 50名参加 ・サイクルボール「おいしい」(牡鹿半島) 213名参加 ・牡鹿半島チャレンジライド(石巻市・女川町) 83名参加 ・松島基地ランウェイライド(東松島市) 179名参加			
	イ 受入環境整備		・サイクルステーションの設置・メンテナンス等 石巻市内26か所、東松島市内14か所、女川町内4か所設置							
取組実績	(3) 教育旅行事業		ア プロモーション・顧客管理				・東北地方公立小中高校等へのニュースレター送付 送付数：夏号(159校)、冬号(162校)、春号(162校) ・誘致キャラバンの実施(関東エリアの私立高校3校への訪問を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止) ・トップセールスの企画アテンド(2件)			
	イ 問合せ・受入れ対応		・受入れ(高校受入実績4校257名、企業受入実績2件34名)							
取組実績	(4) データ収集・分析事業		・必須KPI(観光消費額、満足度、リピート率)把握のためのアンケート調査と分析の実施							
	(5) 石巻エリアファンクラブ運営事業		・会員向けメルマガ配信等(メルマガ会員登録数 2,002名)							
取組実績	2 収益事業		(1) 旅行業				・各種イベント等と連動した旅行商品 28商品販売			
	(2) レンタサイクル事業		・2市1町・14か所の貸出ステーションで貸出 貸出実績1,522台							
取組実績	(3) 業務委託事業		・田代島マンガアイランド予約受付業務等							
	(4) ECサイト運営事業 他		・会員制ECサイトでの石巻エリア特産品の販売							
成 果	新型コロナウイルス感染症終息の兆しが見え、国内観光需要の回復基調への期待が高まる中、訪日外国人旅行者の誘致に向けたPR(商談会)実施やツアーコンテンツの開発など、アフターコロナを見据えた取組がなされており、次年度以降への事業展開に弾みがついた。また、本市の観光行政の大きな柱として捉えている「教育旅行」に係るトップセールスの実施により、訪問旅行会社との包括連携協定に向けた協議がスタートするなど、今後に繋がる成果が得られた。									
成果に係る評価	1 圏域観光政策における事業促進のプラットフォームとして、今後も自治体による運営支援を行うことにより、公益事業の推進や観光に係る高度な観光データの収集・分析を実施することで、当市において効果的な事業活動が実施出来ることから、事業を継続する必要がある。 2 収益事業における増収の確保が達成されることにより、自主財源による運営体制が可能となり、より充実した観光施策を2市1町の自治体や観光関連団体と協働で推進出来ることから、事業を継続する必要がある。 3 自治体では目の届かない観光コンテンツのブラッシュアップを実施していただく、また民間事業者との橋渡し役等を行うことによる事業推進の拡大に寄与することから、事業を継続する必要がある。									
(単位：円)										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
	15,020,000	15,020,000			5,000,000	10,020,000				

予算科目	7 款	商工費	事業名	北上観光物産交流センター管理運営事業																								
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																							
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																							
	事業	北上観光物産交流センター管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																							
実施計画掲載ページ																												
担当部課	産業部観光課																											
目的及び事業内容	三陸復興国立公園での自然体験活動を通してエコツーリズム及び環境教育を推進するために環境省が整備したフィールドミュージアムエリア及び石巻・川のビジターセンター敷地内に、市が整備を行い、平成30年2月11日に開館した石巻市北上観光物産交流センターは、石巻市北上観光物産交流センター条例に基づき、北上地域の観光物産情報の提供、地場産品等の展示及び販売を実施することにより、地場産業の振興及び地域交流の活性化を図る。																											
取組実績	<p>1 石巻市北上観光物産交流センター 所在地：石巻市北上町十三浜字東田1番地 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：火曜日及び年末年始</p> <p>2 指定管理者：未来環境株式会社 3 指定管理料：5,700,000円（令和4年度） 4 指定管理期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日 5 事業内容：(1) 北上の観光案内・情報の発信 (2) 北上の生産物及び加工品の展示販売 (3) 北上の風景写真の展示等 (4) 施設の適正な管理運営</p> <p>6 利用実績：入館者数 20,540人 7 イベント：令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を実施し、北上の生産物及び加工品の紹介、展示販売及び新規来場者獲得のためのイベントを以下のとおり開催した。 (1) きたかみ月の市：令和4年7月～、計11日開催 (2) 新わかめ即売会：令和5年1月～3月、計7日開催 (3) 開館5周年記念セール：令和5年2月、計1日開催 (4) 保育施設等の作品展示：令和4年6月～、計2回開催</p>																											
成果	<p>新型コロナウイルス感染予防対策を実施し、地元事業者及び関係機関と連携しイベントを開催することで、観光、物産、産業のPR及び施設利用者の増加が図られた。 また、地場産品や観光情報及び写真の展示方法の工夫や節電を行うなど施設の適正な管理と利用促進に努めた。</p> <p>※利用者数（年度別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数（日）</td> <td>310</td> <td>282</td> <td>268</td> <td>307</td> <td>310</td> <td>1,477</td> </tr> <tr> <td>入館者数（人）</td> <td>22,678</td> <td>17,934</td> <td>11,760</td> <td>16,840</td> <td>20,540</td> <td>89,752</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H30	R1	R2	R3	R4	計	開館日数（日）	310	282	268	307	310	1,477	入館者数（人）	22,678	17,934	11,760	16,840	20,540	89,752
年度	H30	R1	R2	R3	R4	計																						
開館日数（日）	310	282	268	307	310	1,477																						
入館者数（人）	22,678	17,934	11,760	16,840	20,540	89,752																						
成果に係る評価	イベントを開催することで、地域での周遊及び滞在時間を延長し、北上地区の観光物産振興を図ることができた。イベント開催に係る周知は、チラシの配布と併せインターネットを活用することで広く周知を行い、来館者の増加につなげることができた。 新型コロナウイルス感染拡大により臨時休館した令和元年度及び令和2年度と比較して、開館日数及び入館者数は新型コロナ前の水準への回復が見られることから、さらなる交流人口の増加を目指し継続して事業を実施していきたい。																											
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
	5,700,000	5,700,000				5,700,000																						

予算科目	7 款	商工費	事業名	牡鹿地域拠点エリア管理運営事業			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興		
	事業	牡鹿地域拠点エリア管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する		
実施計画掲載ページ							
担当部課	産業部観光課						
目的及び事業内容	おしかホエールランドや情報交流館の機能を併せ持った観光物産交流施設などを牡鹿地域拠点エリアとして運営し、環境省が整備する牡鹿半島ビジターセンターと連携しながら、牡鹿地域の水産・観光の振興、観光客と市民との交流の促進及び地域の活性化を図る。 また、環境省及び地域団体と共に牡鹿半島ビジターセンター運営協議会を設置し、ビジターセンターを拠点とした自然体験活動を通して、エコツーリズム及び環境教育を推進することにより、地域の自然環境保全及び活性化に寄与する。						
取組実績	<p>1 牡鹿地域拠点エリア 施設概要 (1) おしかホエールランド：鯨に関する資料の収集、展示及び歴史・文化の継承口 (2) 観光物産交流施設：地域特産品等の展示・販売、地域情報の発信及び交流促進</p> <p>2 牡鹿地域拠点エリア 管理業務 (1) 指定管理者：一般社団法人鮎川まちづくり協会 (2) 指定管理期間：令和元年9月1日～令和6年3月31日 (3) 指定管理料：42,000,000円 (4) 業務内容 ア 管理施設の利用の許可に関する業務 イ 利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 ウ 管理施設の維持管理に関する業務</p> <p>3 牡鹿地域拠点エリア 利用実績 (1) 牡鹿地域拠点エリア全体：204,147人 (2) インフォメーションコーナー：8,820人 (3) テナント（7事業者）合算人数：55,134人 (4) おしかホエールランド：11,832人 （令和4年3月16日発生地震被害を受け、復旧作業のため令和4年3月16日～5月29日まで閉館） (5) 指定管理業務によるイベント：5回 (6) 自主事業によるイベント：12回</p> <p>4 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業 (1) 活動拠点となる牡鹿半島ビジターセンターの運営に関する事業 (2) 自然体験活動プログラムの企画・実施に関する事業 (3) 三陸復興国立公園及びその周辺の各種情報の収集・提供に関する事業 (4) 運営協議会負担金：9,100,000円</p> <p>5 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業実績 (1) 各種研修会の実施：3回開催、11名参加 (2) イベント企画・コンテンツ企画・館内ワークショップ実施：32回開催、延べ446名参加</p> <p>6 牡鹿半島ビジターセンター 入館者数：40,077人</p>						
成果	令和4年度は、観光物産交流施設及びおしかホエールランドの管理運営を行い、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら、指定管理事業及び自主事業を実施し、また、牡鹿半島ビジターセンターが行う簡易プログラム等と連携することで、牡鹿地域の魅力発信と交流人口の拡大に努めた。 また、牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業として、牡鹿地域の魅力を再発見する簡易プログラムや環境教育につながる研修会・イベント等を企画し、コロナ禍であっても、できる範囲で事業を実施した。						
成果に係る評価	牡鹿地域拠点エリア指定管理者は適切な施設の運営管理に努めており、コロナ禍におけるイベントの開催も、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底しながら開催した。一般社団法人石巻観光協会と連携し、自主事業として「おしかまるごとはまっご祭り」等のイベントを通して牡鹿地域の魅力発信及び来館者数の増加に努めた。 年間の来館者数については、牡鹿地域拠点エリア全体で約20.2万人、うちおしかホエールランドで約1.2万人の来館実績であった。 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、規模を縮小してのイベント開催であったが、牡鹿地域拠点エリアへの誘客に貢献している。						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	51,100,000	51,100,000				20,000,000	31,100,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		雄勝地域拠点エリア管理運営事業																																					
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																					
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																					
	事業	雄勝地域拠点エリア管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																					
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ																																								
目的及び事業内容		雄勝地域における観光拠点施設である「雄勝硯伝統産業会館」及び「雄勝観光物産交流館」の適切な管理運営と、施設を活用した観光事業の充実を図るとともに、道の駅としての機能を活用し、来場者増による交流人口の増大を図るもの。																																								
取組実績		<p>雄勝地域の観光・物産・産業等に関するPRや適切な管理運営を行うことを目的に指定管理者制度を活用し、以下の事業を実施する。</p> <p>1 指定管理者 硯上の里おがつ運営協議会 会長 澤村 文雄</p> <p>2 指定管理料 51,000,000円</p> <p>3 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>(1) 観光イベント事業・・・おがつ縁日等の開催（おがつ復興市実行委員会との共催）</p> <p>(2) 物産PR事業・・・海産物直売所や雄勝硯伝統産業会館情報スタジオ等を活用した、海産物や伝統的工芸品である雄勝硯等の石製品のPR</p> <p>(3) 広告宣伝事業・・・各施設パンフレットの充実やデジタルコンテンツを活用した情報発信事業</p> <p>(4) 交流人口集客事業・・・企画展等の開催による文化的集客</p> <p>(5) 施設の適正な管理・・・法的基準を満たす適正な施設管理、効率的な施設活用の検討</p> <p>令和4年度実績</p> <p>来場者 雄勝硯伝統産業会館 25,743人 雄勝観光物産交流館 77,464人</p> <p>イベント 小規模イベントを実施 延べ10回 約22,500人来場</p> <p>企画展 書道、絵画、写真展等 5回開催 延べ17,950人来場</p>																																								
成果		<p>雄勝硯伝統産業会館は文房四宝まつりを開催したことで、入館者数は前年度比約4,000人の増加となったが、有料参観者数及び観覧料は年々減少傾向にある。</p> <p>一方、雄勝観光物産交流館は入館者数は前年度比約27,000人減少したものの、売上額は年々増加しており約370万円の増加となった。</p> <p>■入館者数、売上状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">雄勝硯伝統産業会館</th> <th colspan="2">雄勝観光物産交流館</th> </tr> <tr> <th>入館者数</th> <th>うち参観者数</th> <th>観覧料</th> <th>売上額</th> <th>入館者数</th> <th>売上額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>17,848人</td> <td>4,148人</td> <td>701,200円</td> <td>6,058,381円</td> <td>53,589人</td> <td>16,975,542円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>21,986人</td> <td>2,405人</td> <td>460,210円</td> <td>4,639,615円</td> <td>104,618人</td> <td>24,057,952円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>25,743人</td> <td>1,921人</td> <td>360,420円</td> <td>5,995,020円</td> <td>77,464人</td> <td>27,775,880円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度から指定管理による運営を開始</p> <p>※令和3年度に道の駅として登録</p> <p>※売上額については雄勝硯生産販売協同組合、海産物直売所（石巻観光協会）のもの</p>							年度	雄勝硯伝統産業会館				雄勝観光物産交流館		入館者数	うち参観者数	観覧料	売上額	入館者数	売上額	R2	17,848人	4,148人	701,200円	6,058,381円	53,589人	16,975,542円	R3	21,986人	2,405人	460,210円	4,639,615円	104,618人	24,057,952円	R4	25,743人	1,921人	360,420円	5,995,020円	77,464人	27,775,880円
年度	雄勝硯伝統産業会館				雄勝観光物産交流館																																					
	入館者数	うち参観者数	観覧料	売上額	入館者数	売上額																																				
R2	17,848人	4,148人	701,200円	6,058,381円	53,589人	16,975,542円																																				
R3	21,986人	2,405人	460,210円	4,639,615円	104,618人	24,057,952円																																				
R4	25,743人	1,921人	360,420円	5,995,020円	77,464人	27,775,880円																																				
成果に係る評価		<p>各種事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業自体が計画どおりに進まない部分はあったが、相応の効果を上げ、事業概要を含め概ね適正であった。</p> <p>今後も指定管理者と協力連携のもと、より快適な道の駅（地域の交流拠点、観光拠点）として、多くの来場者が訪れる魅力ある施設づくりを心掛け、なお一層のPR活動や情報発信に力を入れていきたい。</p> <p>なお、減少傾向にある雄勝硯伝統産業会館の有料参観者数について、増加させるための方策を検討する必要がある。</p>																																								
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51,000,000</td> <td>51,000,000</td> <td></td> <td></td> <td>20,000,000</td> <td>31,000,000</td> </tr> </tbody> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	51,000,000	51,000,000			20,000,000	31,000,000																		
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
51,000,000	51,000,000			20,000,000	31,000,000																																					

予算科目	7 款	商工費	事業名		道の駅「上品の郷」施設改修事業																			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																			
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																			
	事業	道の駅「上品の郷」管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																			
担当部課	産業部観光課	実施計画掲載ページ		P 79																				
目的及び事業内容		平成17年3月にオープンした道の駅「上品の郷」は、建築後17年が経過し、経年劣化が顕著となってきたため、計画的に修繕及び設備改築等を実施し、施設利用者の安全・安心かつ良好な施設環境の確保を図る。																						
取組実績		<p>道の駅「上品の郷」施設改修事業として、下記事業を実施した。</p> <p>1 道の駅「上品の郷」屋根改修工事</p> <p>(1) 工 期 令和4年6月13日から令和4年11月30日まで</p> <p>(2) 予算額 41,778,000円</p> <p>(3) 事業費 41,778,000円</p> <p>(4) 工事概要</p> <p>ア 既存鋼板製屋根塗装</p> <p>イ 既存鋼板製屋根の錆穴等劣化部の部分改修</p> <p>ウ 既存鋼板製屋根の漏水部改修</p> <p>エ 既存膜屋根の下膜材・仕切り膜の漏水部改修</p> <p>オ 既存アスファルト防水改修</p> <p>カ ガラストップライト改修</p> <p>キ メンテナンス用タラップの設置</p>																						
成果		道の駅「上品の郷」屋根部分の改修を実施したことにより、施設利用者の安全・安心かつ良好な施設環境の確保が図られた。																						
成果に係る評価		道の駅「上品の郷」屋根改修工事が完了し、事業の進捗が図られた。引き続き、利用者の利便性及び集客力の向上を図るため、道の駅「上品の郷」の施設整備を計画的、段階的に実施する必要がある。																						
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41,778,000</td> <td>41,778,000</td> <td></td> <td>41,700,000</td> <td></td> <td>78,000</td> </tr> </tbody> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	41,778,000	41,778,000		41,700,000		78,000
予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
41,778,000	41,778,000		41,700,000		78,000																			